



パフォーマンスカウンター 及びアラート

- システム カウンタ (1 ページ)
- 音声およびビデオ カウンタ (23 ページ)
- IM and Presence Service カウンタ (110 ページ)
- Cisco Unity Connection カウンタ (130 ページ)
- システム アラート (159 ページ)
- 音声およびビデオ アラート (183 ページ)
- IM and Presence Service アラート (238 ページ)
- Intercompany Media Engine アラート (267 ページ)
- Cisco Unity Connection のアラート (276 ページ)
- システム エラー メッセージ (284 ページ)

システム カウンタ

Cisco HAProxy

HAProxy オブジェクトは、HTTP ベースのアプリケーションにプロキシ機能を提供します。このオブジェクトは、着信 Web トラフィックをすべて、Unified Communication Manager と IM and Presence サービスにフロントエンドします。

HAProxy は、すべての HTTP/HTTPS リクエストを処理し、暗号化機能のオフロードによって Tomcat の安定性を向上させます。

次の表に、HAProxy カウンタについての情報を示します。

表 1: Cisco HAProxy

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------|-------------------------|
| TotalDeniedRequests | プロセス開始後に拒否されたリクエストの合計数。 |
| TotalDeniedResponse | プロセス開始後に拒否されたレスポンスの合計数。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-----------------------------|---|
| Econ | プロセスが開始されてからの、失敗したサーバ接続の合計数。 |
| TimeInQueue | キュー内のリクエストによる平均計測時間 (ミリ秒単位)。このメジャーは、バックエンドまたはサーバ上の最後の 1024 要求リクエストの平均です。 |
| TotalRequestAndResponseTime | エージェントリクエストと応答時間の処理にかかった合計時間。リクエスト時間、キュー内の接続数、応答、および合計処理時間です。このカウンターメジャーは、バックエンドまたはサーバ上の要求リクエストからの平均です。 |

Cisco Tomcat Connector

Tomcat Hypertext Transport Protocol (HTTP) および HTTP Secure (HTTPS) Connector オブジェクトは、Tomcat コネクタについての情報を提供します。

Tomcat HTTP コネクタは、要求を受信して応答を送信するエンドポイントを表します。このコネクタは、アプリケーションの Web ページにアクセスしたときに発生する HTTP/HTTPS 要求の処理と HTTP/HTTPS 応答の送信を行います。Web アプリケーション URL の Secure Socket Layer (SSL) ステータスは、各 Tomcat HTTP Connector のインスタンス名の基準を提供します。たとえば、SSL の場合は `https://<IP Address>:8443`、非 SSL の場合は `http://<IP Address>:8080` になります。

次の表に、Tomcat HTTP Connector カウンタに関する情報を示します。

表 2: Cisco Tomcat Connector

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------|---|
| Errors | コネクタで発生した HTTP エラー (たとえば、「401 未認証 (401 Unauthorized) 」) の合計数。 |
| MBytesReceived | コネクタが受信したデータの量。 |
| MBytesSent | コネクタが送信したデータの量。 |
| Requests | コネクタが処理した要求の総数。 |
| ThreadsTotal | 要求処理スレッドの現在の合計数、コネクタの使用可能/使用中の含みます。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------|---|
| ThreadsMax | コネクタの要求処理スレッドの最大数。 Web アプリケーションのウィンドウで着信する各要求は、その中、1つのスレッドを必要とします。現在使用可能な要求処理できる数を上回る同時要求を受信した場合は、このカウンタ設定最大数を上限として、追加のスレッドが作成されます。要求を受信すると、それらの要求は、内部で指定された最大コネクタで作成されたサーバソケット内に累積されます。要求は、それらの要求を処理するリソースが使用可能になるまでメッセージを受け取ります。 |
| ThreadsBusy | このカウンタは、コネクタのビジー状態/使用中の要求処理数を表します。 |

Cisco Tomcat JVM

Cisco Tomcat Java Virtual Machine (JVM) オブジェクトは、Cisco Unified Communications Manager の管理、Cisco Unified Serviceability、および Cisco Unity Connection の管理など、Web アプリケーションで使用する共通リソースメモリのプールに関する情報を提供します。動的メモリブロックには、Tomcat とその Web アプリケーションで作成されるすべてのオブジェクトが保存されます。

次の表に、Tomcat JVM カウンタに関する情報を示します。

表 3: Tomcat JVM

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------|---|
| KBytesMemoryFree | Tomcat Java Virtual Machine の動的メモリ ブロック（ヒープ）の動的メモリの空き容量が少なくなると、追加のメモリが自動的に、KbytesMemoryTotal カウンタに表示される合計メモリから削減されます。ただし、KbytesMemoryMax カウンタに表示される最大容量を超えます。 使用中のメモリ容量は、KbytesMemoryTotal から KBytesMemoryFree を減算することで判断できます。 |
| KBytesMemoryMax | Tomcat Java Virtual Machine の動的メモリ ブロック（ヒープ）の最大容量。 |
| KBytesMemoryTotal | 空きメモリと使用中メモリを含む、Tomcat Java Virtual Machine の動的メモリ ブロックの合計サイズ。 |

Cisco Tomcat Web Application

Cisco Tomcat Web Application オブジェクトは、の Web アプリケーションを実行する方法についての情報を提供します。

次の例で示すように、Web アプリケーションの URL は、各 Tomcat Web Application のインスタンス名の基準になります。

- Cisco Unified Communications Manager の管理ページ (<https://<IP Address>:8443/ccmadmin>) は、ccmadmin により識別されます。
- Cisco Unified Serviceability (<https://<IP Address>:8443/ccmservice>) は、ccmservice によって識別されます。
- Cisco Unified Communications Manager のユーザ オプション (<https://<IP Address>:8443/ccmuser>) は、ccmuser によって識別されます。
- Cisco Unity Connection の管理ページ (<https://<IP Address>:8443/cuadmin>) は、cuadmin によって識別されます。
- 拡張子を持たない URL (<https://<IP Address>:8443> や <http://<IP Address>:8080>) は _root によって識別されます。

次の表に、Tomcat Web Application カウンタについての情報を示します。

表 4: Tomcat Web Application

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------|--|
| Errors | Cisco Unified Communications Manager 関連、または Cisco Unity C 連の Web アプリケーションで発生した HTTP エラー（たとえば、など）の合計数を表します。 |
| Requests | Web アプリケーションが処理する要求の数の合計数。Requests カ Web アプリケーションにアクセスするたびに増加します。 |
| SessionsActive | Web アプリケーションでアクティブまたは使用中のセッションの |

Cisco UDS Tomcat Connector

UDS Tomcat Hypertext Transport Protocol (HTTP) および HTTP Secure (HTTPS) Connector オブジェクトは、Tomcat コネクタについての情報を提供します。

UDS Tomcat HTTP コネクタは、要求を受信して応答を送信するエンドポイントを表します。このコネクタは、アプリケーションの Web ページにアクセスしたときに発生する HTTP/HTTPS 要求の処理と HTTP/HTTPS 応答の送信を行います。Web アプリケーション URL の Secure Socket Layer (SSL) ステータスは、各 UDS Tomcat HTTP Connector のインスタンス名の基準を提供します。たとえば、SSL の場合は <https://<IP Address>:8443>、非 SSL の場合は <http://<IP Address>:8080> になります。

次の表に、UDS Tomcat HTTP Connector カウンタに関する情報を示します。

表 5: Cisco UDS Tomcat Connector

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------|--|
| Errors | コネクタで発生した HTTP エラー（たとえば、「401 未認証 Unauthorized）」の合計数。 |
| MBytesReceived | コネクタが受信したデータの量。 |
| MBytesSent | コネクタが送信したデータの量。 |
| Requests | コネクタが処理した要求の総数。 |
| ThreadsBusy | このカウンタは、コネクタのビジー状態/使用中の要求処理スレッド数を表します。 |
| ThreadsTotal | 要求処理スレッドの現在の合計数、コネクタの使用可能/使用含みます。 |
| ThreadsMax | コネクタの要求処理スレッドの最大数。 Web アプリケーションのウィンドウで着信する各要求は、その中で、1つのスレッドを必要とします。現在使用可能な要求処理できる数を上回る同時要求を受信した場合は、このカウンタ設定最大数を上限として、追加のスレッドが作成されます。要求を受信すると、それらの要求は、内部で指定された最大コネクタで作成されたサーバソケット内に累積されます。その要求は、それらの要求を処理するリソースが使用可能になるまでメッセージを受け取ります。 |

Cisco UDS Tomcat JVM

Cisco UDS Tomcat Java 仮想マシン (JVM) オブジェクトは、UDS Tomcat JVM に関する情報を提供します。これは、特に、UDS、tomcatstatsなどのCisco Unified Communications Manager 関連の Web アプリケーションによって使用される共通リソースメモリのプールを表します。

次の表に、UDS Tomcat JVM カウンタに関する情報を示します。

表 6: Cisco UDS Tomcat JVM

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------|---|
| KBytesMemoryFree | UDS Tomcat Java Virtual Machine の動的メモリブロック（ヒープ）の空き容量。 動的メモリの空き容量が少なくなると、追加のメモリが自動的に追加され、KbytesMemoryTotal カウンタに表示される合計メモリサイズが増加します。ただし、KbytesMemoryMax カウンタに表示される最大容量を超えないように制限されます。 使用中のメモリ容量は、KbytesMemoryTotal から KBytesMemoryFree を減算することで判断できます。 |
| KBytesMemoryMax | UDS Tomcat Java Virtual Machine の動的メモリブロック（ヒープ）の最大容量。 |
| KBytesMemoryTotal | 空きメモリと使用中メモリを含む、UDS Tomcat Java Virtual Machine の動的メモリブロックの合計サイズ。 |

Cisco UDS Tomcat Web アプリケーション

Cisco Tomcat Web Application オブジェクトは、Unified Communications Manager の Web アプリケーションを実行する方法についての情報を提供します。

次の例で示すように、Web アプリケーションの URL は、各 Tomcat Web Application のインスタンス名の基準になります。

- Cisco Unified Communications Manager の管理ページ (<https://<IP Address>:8443/ccmadmin>) は、ccmadmin により識別されます。
- Cisco Unified Serviceability (<https://<IP Address>:8443/ccmservice>) は、ccmservice によって識別されます。
- Cisco Unified Communications Manager のユーザオプション (<https://<IP Address>:8443/ccmuser>) は、ccmuser によって識別されます。
- Cisco Unity Connection の管理ページ (<https://<IP Address>:8443/cuadmin>) は、cuadmin によって識別されます。
- 拡張子を持たない URL (<https://<IP Address>:8443> や <http://<IP Address>:8080>) は、_root によって識別されます。

次の表に、UDS Tomcat Web Application カウンタについての情報を示します。

表 7: Cisco UDS Tomcat Web アプリケーション

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------|--|
| Errors | Cisco Unified Communications Manager 関連、または Cisco Unified Communications Manager 関連の Web アプリケーションで発生した HTTP エラー（たとえば、404 など）の合計数を表します。 |
| Requests | Web アプリケーションが処理する要求の数の合計数。Request 数は Web アプリケーションにアクセスするたびに増加します。 |
| SessionsActive | Web アプリケーションでアクティブまたは使用中のセッションの数。 |

Database Change Notification Client

Database Change Notification Client オブジェクトは、変更通知クライアントについての情報を提供します。次の表に、Database Change Notification Client カウンタに関する情報を示します。

表 8: Database Change Notification Client

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--------------------|---|
| MessagesProcessed | 処理されたデータベース変更通知の数。このカウンタは、15 秒ごとに更新されます。 |
| MessagesProcessing | 現在処理中、またはこのクライアントの変更通知キューで処理されている変更通知メッセージの数。このカウンタは、15 秒ごとに更新されます。 |
| QueueHeadPointer | 変更通知キューへのヘッドポインタ。ヘッドポインタは、キュー内の開始ポイントとして機能します。キュー内の通知数は、ヘッドポインタ値からテールポインタ値を減算することで判断できます。このカウンタは 15 秒ごとに更新されます。 |
| QueueMax | このクライアントで処理される変更通知メッセージの最大数は、Cisco Database Layer Monitor サービスの最後の再起動時から変更されません。 |
| QueueTailPointer | 変更通知キューのテールポインタ。テールポインタは、キュー内の終了ポイントを表します。キュー内の通知数は、ヘッドポインタ値からテールポインタ値を減算することで判断できます。デフォルトのカウンタは 15 秒ごとに更新されます。 |
| TablesSubscribed | このクライアントが登録しているテーブルの数。 |

Database Change Notification Server

Database Change Notification Server オブジェクトは、さまざまな変更通知関連の統計情報を提供します。次の表に、Database Change Notification Server カウンタに関する情報を示します。

表 9: Database Change Notification Server

| カウンタ | カウンタの説明 |
|------------------------|--|
| Clients | 変更を通知するために登録されている変更通知クライアント (サブレット) の数。 |
| CNProcessed | リポートしてからサーバによって処理される変更通知メッセージの数。 |
| Queue Delay | 変更通知プロセスで処理するメッセージがあるにもかかわらず、メッセージが処理されていない時間 (秒)。この条件は、次の場合に当てはまります。 <ul style="list-style-type: none"> Change Notification Requests Queued in Database (QueuedRequestsInDB) がゼロ以外に設定されている場合、または Latest Change Notification Messages Processed カウンタが変更された場合。 この条件は 15 秒ごとに確認されます。 |
| QueuedRequestsInDB | (共有メモリのキューに入らずに) TCP/IP 直接接続により Database Change Notification Queue (Database Change Notification Queue) テーブルに入れられた変更通知メッセージの数。このカウンタは、15 秒ごとに更新されます。 |
| QueuedRequestsInMemory | 共有メモリのキューに入る変更通知要求の数。 |

Database Change Notification Subscription

Database Change Notification Subscription オブジェクトは、クライアントが変更通知を受信するテーブルの名前を表示します。

SubscribedTable オブジェクトは、変更通知を受信するサービスまたはサブレットを含んだテーブルを表示します。カウンタは増加しないため、この表示は参考目的のみに使用されません。

Database Local DSN

Database Local Data Source Name (DSN) オブジェクトと LocalDSN カウンタは、ローカル マシンの DSN 情報を提供します。次の表に、Database Local DSN に関する情報を示します。

表 10: Database Local Data Source Name

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------|---------------------------------|
| CcmDbSpace_Used | 使用されている Ccm DbSpace の量。 |
| CcmtempDbSpace_Used | 使用されている Ccmtemp DbSpace の量。 |
| CNDbSpace_Used | 使用されている CN DbSpace の割合 (パーセント)。 |
| LocalDSN | ローカル マシンから参照されている DSN。 |
| SharedMemory_Free | 空いている共有メモリの合計。 |
| SharedMemory_Used | 使用されている共有メモリの合計。 |
| RootDbSpace_Used | 使用されている RootDbSpace の量。 |

DB User Host Information カウンタ

DB User Host Information オブジェクトは、DB User Host についての情報を提供します。

DB:User:Host Instance オブジェクトは、DB:User:Host の各インスタンスの接続数を表示します。

Enterprise Replication DBSpace Monitors

Enterprise Replication DBSpace Monitors オブジェクトは、さまざまな ER DbSpace の使用状況を表示します。次の表に、Enterprise Replication DB Monitors に関する情報を示します。

表 11: Enterprise Replication DBSpace Monitors

| カウンタ | カウンタの説明 |
|------------------|---|
| ERDbSpace_Used | 使用されている Enterprise Replication DbSpace の容量。 |
| ERSBDbSpace_Used | 使用されている ERDbSpace の容量。 |

Enterprise Replication Perfmon Counters

Enterprise Replication Perfmon Counter オブジェクトは、さまざまな複製カウンタについての情報を提供します。

ServerName:ReplicationQueueDepth カウンタは、サーバ名に続いて、複製キューの項目数を表示します。

IP

IP オブジェクトは、システムの IPv4 関連の統計についての情報を提供します。次の表に、IP カウンタについての情報を示します。

(注) また、このカウンタは、Unified Communications Manager をサポートし、システムの IPv6 関連の統計についての情報を提供する IPv6 オブジェクトの一部でもあります。

表 12: IP カウンタ

| カウンタ | カウンタの説明 |
|------------------|--|
| Frag Creates | このエンティティで生成された IP データグラム フラグメントの数。 |
| Frag Fails | Do not Fragment フラグが設定されたデータグラムの場合など、データをフラグメント化できなかったためにこのエンティティで破棄されたデータグラムの数。 |
| Frag OKs | このエンティティで正常にフラグメント化された IP データグラムの数。 |
| In Delivers | IP ユーザプロトコルに配信された入力データグラムの数。これには、ネットワーク制御メッセージプロトコル (ICMP) が含まれます。 |
| In Discards | 問題が発生しないものの廃棄された入力 IP データグラムの数。考慮される原因の 1 つに、バッファ領域の不足があります。このカウンタには、待機中に廃棄されたデータグラムの数は含まれません。 |
| In HdrErrors | ヘッダーエラーで廃棄された入力データグラムの数。これには、パケットサム、バージョン番号の不一致、他の形式エラー、存続可能時間および IP オプションの処理中に発見されたその他のエラーが含まれます。 |
| In Receives | すべてのネットワークインターフェイスから受信された入力データグラムの数。このカウンタには、エラーと共に受信されたデータグラムも含まれます。 |
| In UnknownProtos | 正常に受信されたものの、プロトコルが不明またはサポートされていない破棄されたローカルアドレス宛てのデータグラムの数。 |
| InOut Requests | 受信された着信 IP データグラムの数および送信された発信 IP データグラムの数。 |
| Out Discards | 送信されずに廃棄された出力 IP データグラムの数。考えられる原因として、バッファ領域の不足があります。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--------------|---|
| Out Requests | このカウンタは、ICMPを含むローカルIPユーザプロトコルIPに与えるIPデータグラムの総数を表します。このカウンタは、ForwDatagramsでカウントされたデータグラムの数は含まれません。 |
| Reasm Fails | タイムアウトやエラーなど、IP再構成アルゴリズムによって再構成の失敗の回数。 このカウンタは、破棄されたIPフラグメントの数を表します。一部のアルゴリズムでは、受信するときフラグメントを結合するので、フラグメントの数を追跡できなくなる可能性があります。 |
| Reasm OKs | 正常に再構成されたIPデータグラムの数。 |
| Reasm Reqds | このエンティティで再構成が必要だった受信IPフラグメントの数。 |

メモリ

Memoryオブジェクトは、サーバの物理メモリとスワップメモリの使用状況についての情報を提供します。次の表に、Memoryカウンタに関する情報を示します。

表 13: メモリ

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------|---|
| % Mem Used | システムの物理メモリの使用率をパーセントで表示します。値は次のように計算されます。 $\frac{\text{Total KBytes} - \text{Free KBytes} - \text{Buffers KBytes} - \text{Cached KBytes} + \text{Shared KBytes}}{\text{Total KBytes}}$ この値は、Used KBytes/Total KBytesに相当します。 |
| % Page Usage | アクティブなページの割合（パーセント）。 |
| % VM Used | システムの仮想メモリの使用率をパーセントで表示します。値は次のように計算されます。 $\frac{\text{Total KBytes} - \text{Free KBytes} - \text{Buffers KBytes} - \text{Cached KBytes} + \text{Shared KBytes} + \text{Used Swap KBytes}}{\text{Total KBytes} + \text{Used Swap KBytes}}$ この値は、Used VM KBytes/Total VM KBytesに相当します。 |
| Buffers KBytes | システムのバッファ容量（キロバイト単位）。 |
| Cached KBytes | キャッシュされたメモリの容量（キロバイト単位）。 |
| Free KBytes | システムで使用可能な合計メモリの総量（キロバイト単位）。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------------|--|
| Free Swap KBytes | システムで使用可能な空きスワップ領域の容量（キロバイト単位）。 |
| HighFree | 上部領域での空きメモリ容量。 Linux カーネルは、仮想メモリ アドレス空間を複数のメモリ領域に分割します。上位メモリは特定の物理アドレスより上位のメモリで、その総量はシステム全体の物理メモリとシステムのカーネルタイプによって異なります。 4 GB メモリを搭載した Unified Communications Manager システムの上位メモリはおおよそ 896M ~ 4096M のアドレスを指します。 |
| HighTotal | 上位領域のメモリの総量。 Linux カーネルは、仮想メモリ アドレス空間を複数のメモリ領域に分割します。上位メモリは特定の物理アドレスより上位のメモリで、その総量はシステム全体の物理メモリとシステムのカーネルタイプによって異なります。 4 GB メモリを搭載した Unified Communications Manager システムの上位メモリはおおよそ 896M ~ 4096M のアドレスを指します。 |
| Page Faults Per Sec | システムによるページフォールト（メジャーとマイナーの両方）の件数を表します（2.5 以降のカーネルのみ）。一部のページフォールトは I/O がなくても解決できるため、この値は入力および出力（I/O）の合計と一致しない場合があります。 |
| Low Total | カーネルの低（非ページ）メモリの合計。 |
| Low Free | カーネルの低（非ページ）メモリの空き容量の合計。 |
| Page Major Faults Per Sec | システムによる 1 秒あたりのメジャー フォールトの件数（2.5 以降のカーネルのみ）。メジャー ページフォールトとは、ディスクからメモリにページをロードする必要があるページフォールトを指します。 |
| Pages | ディスクからページインしたページの数と、ディスクにページアウトされたページの数との合計。 |
| Pages Input | ディスクからページインされたページの数。 |
| Pages Input Per Sec | ディスクからページインされた 1 秒あたりのページのサイズの合計（キロバイト単位）。 |
| Pages Output | ディスクにページアウトされたページの数。 |
| Pages Output Per Sec | ディスクにページアウトされた 1 秒あたりのページのサイズの合計（キロバイト単位）。 |
| Shared KBytes | システムの共有メモリの容量（キロバイト単位）。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------|---|
| SlabCache | プロセスの slabinfo のすべての個別エントリの合計を表す。このカウンタは、さまざまなカーネル コンポーネントによって作成された SlabCache で使用されるメモリ。 |
| SwapCached | キャッシュ メモリとして使用されたスワップ容量。これは、アウトされてからスワップバックされたが、まだスワップされているメモリです。 |
| Total KBytes | システムのメモリの総量 (キロバイト単位)。 |
| Total Swap KBytes | このカウンタは、システムのスワップ領域の総量 (キロバイト単位)。 |
| Total VM KBytes | 使用中のシステム物理メモリとスワップ領域 (Total Kbytes + Swap Kbytes) の総量 (キロバイト単位)。 |
| Used KBytes | <p>使用中のシステム物理メモリの容量。Used KBytes カウンタの値は、次の式で計算されます。</p> $\text{Used KBytes} = \text{Total KBytes} - \text{Free KBytes} - \text{Buffers KBytes} - \text{Cached KBytes} + \text{Shared KBytes}$ <p>Used KBytes の値は、top または free コマンド出力に表示される値とは異なります。top または free コマンド出力に表示される Used KBytes の値は、Used KBytes - Free KBytes で計算される値に等しく、Buffers KBytes の合計値も含まれます。</p> |
| Used Swap KBytes | このカウンタは、システムで使用中のスワップ領域の容量をキロバイト単位で表します。 |
| Used VM KBytes | <p>このカウンタは、システム物理メモリと、使用中のスワップ領域の容量をキロバイト単位で表します。値は次のように計算されます。</p> $\text{Used VM KBytes} = \text{Used KBytes} + \text{Used Swap KBytes}$ <p>この値は、Used Mem KBytes + Used Swap KBytes に相当します。</p> |

ネットワーク インターフェイス (Network Interface)

Network Interface オブジェクトは、システムのネットワーク インターフェイスについての情報を提供します。次の表に、Network Interface カウンタに関する情報を示します。

表 14: ネットワーク インターフェイス

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------|---|
| Rx Bytes | インターフェイスで受信したフレーミング文字を含めたバイト数。 範囲は $0 \sim 2^{64} - 1$ です。 |
| Rx Dropped | エラーは検出されなかったものの、破棄するように選択されたインバウンドパケットの数。これによって、上位層のプロトコルにパケットが送られなくなります。また、パケットの破棄によりバッファ領域が解放されます。 |
| Rx Errors | エラーのために上位層のプロトコルに配信できなかったインバウンド (パケット指向インターフェイス) の数と、インバウンド送信ユニット (文字指向または固定長インターフェイス) の数。 |
| Rx Multicast | このインターフェイスで受信したマルチキャストパケットの数。 |
| Rx Packets | このサブレイヤが上位サブレイヤに配信したパケットの数。このサブレイヤでマルチキャストまたはブロードキャストアドレス指定されたパケットは含まれていません。 範囲は $0 \sim 2^{64} - 1$ です。 |
| Total Bytes | 受信 (Rx) バイトと送信 (Tx) バイトの総数。 範囲は $0 \sim 2^{64} - 1$ です。 |
| Total Packets | Rx パケットと Tx パケットの総数。 範囲は $0 \sim 2^{64} - 1$ です。 |
| Tx Bytes | インターフェイスから送信されたフレーミング文字を含むオクテット数。 範囲は $0 \sim 2^{64} - 1$ です。 |
| Tx Dropped | エラーは検出されなかったものの、破棄するように選択されたアウトバウンドパケットの数。これによって、上位層のプロトコルにパケットが送られなくなります。また、パケットの破棄によりバッファ領域が解放されます。 |
| Tx Errors | エラーのために送信できなかったアウトバウンドパケット (パケット指向インターフェイス) の数と、アウトバウンド送信ユニット (文字指向または固定長インターフェイス) の数。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------|---|
| Tx Packets | 破棄されたものや送信されなかったものも含め、上位レベル送信を要求したパケットの総数。この値には、このサブレイストまたはブロードキャストアドレスにアドレス指定されていません。 範囲は $0 \sim 2^{64} - 1$ です。 |
| Tx QueueLen | The length of the output packet queue (in packets). |

Number of Replicates Created and State of Replication

Number of Replicates Created and State of Replication オブジェクトは、システムのリアルタイム複製についての情報を提供します。次の表に、Replication カウンタに関する情報を示します。

表 15: Number of Replicates Created and State of Replication

| カウンタ | カウンタの説明 |
|------------------------------|---|
| Number of Replicates Created | DB 表用に Informix によって作成されたレプリケーションの数は、複製のセットアップ中の情報を表示します。 |
| Replicate_State | レプリケーションの状態。次の値が使用されます。 0 初期化中。サーバが定義されていない場合、または、サ ていてもテンプレートが完了していない場合、カウンタ ます。 1 レプリケーションセットアップスクリプトがこのノード CLI で utils dbreplication status を実行し、エラーの場所 ることを推奨します。 2 良好なレプリケーション。 3 不正なレプリケーション。カウンタの値が 3 の場合、ク が正しく機能していないことを示します。これは、クラ サーバ上で複製が失敗したことを示すものではありません dbreplication status を実行し、エラーの場所と原因を判 奨します。 4 レプリケーションセットアップが失敗した。 |

パーティション

Partition オブジェクトは、システムのファイルシステムとその使用状況についての情報を提供します。次の表に、Partition カウンタに関する情報を示します。これらのカウンタは予備パーティション（存在する場合）でも使用できます。

表 16: パーティション

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------|---|
| % CPU Time | ディスクに対して発行された I/O 要求の処理にかかった CPU 時間（パーセンテージ）。 |
| % Used | このファイル システムで使用中のディスク領域のパーセンテージ。 |
| % Wait in Read | このカウンタは使用されません。このカウンタの代わりに Await Read Time カウンタが使用されます。このカウンタは、カウンタの値が -1 になります。 |
| % Wait in Write | このカウンタは使用されません。このカウンタの代わりに Await Write Time カウンタが使用されます。このカウンタは、カウンタの値が -1 になります。 |
| Await Read Time | サービス対象のデバイスに対して発行された読み取り要求の平均待ち時間（ミリ秒単位）。 |
| Await Time | サービス対象のデバイスに対して発行された入出力（I/O）要求の平均待ち時間（ミリ秒単位）。この値には、要求がキュー内に存在する時間と、処理する時間が含まれます。 |
| Await Write Time | サービス対象のデバイスに対して発行された書き込み要求の平均待ち時間（ミリ秒単位）。 |
| Queue Length | ディスクに対して発行された要求の平均キュー長。 |
| Read Bytes Per Sec | ディスクから読み取られた 1 秒あたりのデータ量（バイト単位）。 |
| Total Mbytes | このファイル システムのディスク領域全体の容量（メガバイト単位）。 |
| Used Mbytes | このファイルシステムで使用中のディスク領域の容量（メガバイト単位）。 |
| Write Bytes Per Sec | ディスクに書き込まれた 1 秒あたりのデータ量（バイト単位）。 |

プロセス

Process オブジェクトは、システムで実行されているプロセスについての情報を提供します。次の表に、Process カウンタに関する情報を示します。

表 17: プロセス

| カウンタ | カウンタの説明 |
|------------------|---|
| % CPU Time | このカウンタは、最後に更新してから経過した CPU 時間における率を、合計 CPU 時間に対する比率で表します。 |
| % MemoryUsage | このカウンタは、タスクが現在使用している物理メモリを比 |
| Data Stack Size | このカウンタは、タスク メモリ ステータスのスタック サイズ |
| Nice | このカウンタは、タスクの Nice 値を表します。 <ul style="list-style-type: none"> 負の Nice 値はプロセスの優先順位が高いことを示します。 正の Nice 値はプロセスの優先順位が低いことを示します。 (注) Nice 値が 0 の場合、タスクの割り当てを判断する。を調整しないでください。 |
| Page Fault Count | このカウンタは、タスクで発生し、データをメモリにロードになったメジャー ページフォールトの数を表します。 |
| PID | このカウンタは、タスク固有のプロセス ID を表します。このラッピングされますが、値が 0 になることはありません。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------|--|
| Process Status | <p>このカウンタは、次のプロセス ステータスを表示します。</p> <p>0 Running</p> <p>1 スリープ中</p> <p>2 割り込み不能ディスク スリープ</p> <p>3 ゾンビ</p> <p>4 停止 (Stopped)</p> <p>5 ページング</p> <p>6 不明</p> |
| Shared Memory Size | このカウンタは、タスクが使用している共有メモリの容量 (キロバイト) を表示します。他のプロセスが同じメモリを共有することも可能です。 |
| STime | このカウンタは、このプロセスがカーネルモードでスケジューリングされたシステム時間 (STime) を jiffy 単位で表示します。jiffy は CPU 時間とほぼ等しい値を返すため、測定単位として使用されます。1 秒は 100 jiffy です。 |
| Thread Count | このカウンタは、タスクで現在グループ化されているスレッドの数を返します。負の値 (-1) は、このカウンタが現在使用不可になっていることを示します。これは、システムのプロセスとスレッドの数の合計がラップしきい値を超過したために、スレッド統計情報 (Thread オブジェクトの Performance Counter、および Process オブジェクトの Thread Count) がオフになった場合に発生します。 |
| Total CPU Time Used | このカウンタは、タスクの開始以降、タスクがユーザーモードとカーネルモードで使用した合計 CPU 時間を jiffy 単位で表示します。 |
| UTime | このカウンタは、タスクがユーザーモードでスケジューリングされた時間を jiffy 単位で表示します。 |
| VmData | このカウンタは、タスクでのヒープの仮想メモリ使用状況をキロバイト単位で表示します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--------|---|
| VmRSS | このカウンタは、現在の物理メモリにおける仮想メモリ (Vm) サイズ (RSS) をキロバイト (KB) 単位で表示します。これにデータ、およびスタックが含まれます。 |
| VmSize | このカウンタは、タスクでの仮想メモリの合計使用量をキロバイト単位で表示します。この値はスワップアウトされたすべての共有ライブラリ、およびページが含まれます。 仮想イメージ = スワップされたサイズ + 常駐サイズ |
| Wchan | このカウンタは、プロセスが待機しているチャンネル (システムコール) を表示します。 |

プロセッサ

Processor オブジェクトは、さまざまなプロセッサ時間の使用状況を比率で提供します。次の表に、Processor カウンタについての情報を示します。

表 18: プロセッサ

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--------------------|---|
| % CPU Time | このカウンタは、最後に更新してから経過した中央処理装置における、アイドル時間を除いたプロセッサの占有率を表示します。率は、合計 CPU 時間に対する比率で表されます。 |
| Idle Percentage | このカウンタは、プロセッサがアイドル状態になっており、タスク入出力 (I/O) 要求がない時間を比率で表示します。 |
| IOwait Percentage | このカウンタは、システムに未処理のディスク I/O 要求が存在するときに、プロセッサがアイドル状態になっていた時間を比率で表示します。 |
| Irq Percentage | このカウンタは、デバイスに割り当てられる割り込み要求を処理するために、プロセッサが費やす時間 (プロセッサがコンピュータに信号を返すために費やす時間を含む) を比率で表示します。 |
| Nice Percentage | このカウンタは、プロセッサが、Nice 優先順位に従ってユーザーのために費やす時間を比率で表示します。 |
| Softirq Percentage | このカウンタは、プロセッサが、CPU のパフォーマンスを向上させるために、ソフト IRQ の実行とタスク切り替えの延期に費やす時間を比率で表示します。 |
| System Percentage | このカウンタは、プロセッサがシステム (カーネル) レベルで実行している時間を比率で表示します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-----------------|--|
| User Percentage | このカウンタは、プロセッサがユーザ（アプリケーション）レベルのプロセスを実行している時間を比率で表示します。 |

システム

System オブジェクトは、システムのファイル記述子についての情報を提供します。

次の表に、System カウンタについての情報を示します。

表 19: システム

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------------|---|
| Allocated FDs | 割り当てられたファイル記述子の数。 |
| Being Used FDs | システムで現在使用されているファイル記述子の数。 |
| Freed FDs | システム上で割り当てられているファイル記述子のうち、解放されたファイル記述子の数。 |
| IOPerSecond | このサーバのすべてのディスクパーティションでの1秒あたりの入出力操作の数。システムパフォーマンスの問題が発生した場合、このカウンタは約 I/O 操作の影響を測定するためにこのカウンタの情報を提供します。 |
| IOReadReqMergedPerSecond | このサーバ上でマージされ、すべてのデバイスにキューイングされた読み取り要求の1秒あたりの数。 |
| IOWriteReqMergedPerSecond | このサーバ上でマージされ、すべてのデバイスにキューイングされた書き込み要求の1秒あたりの数。 |
| IOReadReqPerSecond | このサーバ上ですべてのデバイスに対して発行された読み取り要求の1秒あたりの数。 |
| IOWriteReqPerSecond | このサーバ上ですべてのデバイスに対して発行された書き込み要求の1秒あたりの数。 |
| IOSectorsReadPerSecond | このサーバ上のすべてのデバイスから読み取られた1秒あたりのセクタの数。 |
| IOSectorsWrittenPerSecond | このサーバ上のすべてのデバイスに書き込まれた1秒あたりのセクタの数。 |
| IOKBytesReadPerSecond | このサーバ上のすべてのデバイスから読み取られた1秒あたりのキロバイトの数。 |
| IOKBytesWrittenPerSecond | このサーバ上のすべてのデバイスに書き込まれた1秒あたりのキロバイトの数。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------|--|
| IOSectorsReqSizeAvg | このサーバ上のすべてのデバイスに対して発行された要求のサイズ。 |
| IOReqQueueSizeAvg | このサーバ上のすべてのデバイスに対して発行された要求の長さ。 |
| IOAwait | サービス対象のすべてのデバイスに対して発行される I/O 要求 (ミリ秒)。これには、要求がキュー内に存在する時間と、要求が含まれます。 |
| IOServiceTime | このサーバ上のすべてのデバイスに対して発行される I/O 要求のサービス時間 (ミリ秒)。 |
| IOCpuUtil | I/O 要求がこのサーバ上のデバイスに対して発行される間 (フル幅利用) の CPU 時間の割合。 |
| Max FDs | システムで許可されているファイル記述子の最大数。 |
| Total CPU Time | システムが稼働している合計時間 (jiffy 単位)。 |
| Total Processes | システムのプロセス数。 |
| Total Threads | システムのスレッドの数。 |

TCP

TCP オブジェクトは、システムの TCP 統計についての情報を提供します。

次の表に、TCP カウンタについての情報を示します。

表 20: TCP

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------|--|
| Active Opens | このカウンタは、TCP 接続が CLOSED 状態から SYN-SENT 状態に移った回数を表示します。 |
| Attempt Fails | このカウンタは、TCP 接続が、SYN-RCVD または SYN-RCVD 状態から CLOSED 状態に直接遷移した回数を表示します。また、SYN-RCVD 状態から LISTEN 状態へ直接遷移した回数も表示します。 |
| Curr Estab | このカウンタは、現在 ESTABLISHED 状態または CLOSE-WAIT 状態にある TCP 接続の数を表示します。 |
| Estab Resets | このカウンタは、TCP 接続が、ESTABLISHED または CLOSE-WAIT 状態から CLOSED 状態に直接遷移した回数を表示します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------|---|
| In Segs | このカウンタは、受信したセグメント（エラー受信したセグメントの総数を表示します。この数には、現在確立されている接続で受信したセグメントのみが含まれます。 |
| InOut Segs | このカウンタは、送信したセグメントの総数と受信したセグメントの総数を表示します。 |
| Out Segs | このカウンタは、送信したセグメントの総数を表示します。このカウンタは、現在確立されている接続で送信されるセグメントのみが含まれます。再送信されたオクテットは除外されます。 |
| Passive Opens | このカウンタは、TCP 接続が LISTEN 状態から SYN-RCVD 状態に移行した回数を表示します。 |
| RetransSegs | このカウンタは、以前に送信されたオクテットが 1 つ以上含まれるセグメントに再送信されたセグメントの総数を表示します。 |

Thread

Thread オブジェクトは、システムで実行されているスレッドの一覧を表示します。

次の表に、Thread カウンタについての情報を示します。

表 21: Thread

| カウンタ | カウンタの説明 |
|------------|---|
| % CPU Time | このカウンタは、前回の更新以降に経過した CPU 時間におけるスレッドの CPU 占有率を表示します。このカウンタは、占有率を合計 CPU 時間に表現します。 |
| PID | このカウンタは、スレッドリーダー プロセス ID を表示します。 |

AXL Web サービス

AXL Web Service オブジェクトは、システムで実行されている AXL Web Service に関する情報を提供します。次の表に、AXL Web Service カウンタについての情報を示します。

表 22: AXL Web サービス

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------|--|
| ThrottleCount | このカウンタは、前回の Cisco AXL Web Service の呼び出しから、AXL Web Service の呼び出しがロットリングの回数を表示します。AXL サービスが呼び出され、ロットリングが発生します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------|--|
| ThrottleState | このカウンタは、Administrative XML Layer (AXL) がかどうかを表します。このカウンタの値が1の場合、アプリケーションが AXL を介して Cisco UI を呼び出しています。読み込み要求の許可と処理は、AXL のロットリングがこの時点で発生しておらず、許可されています。 |

Ramfs

Ramfs オブジェクトは、ram ファイル システムに関する情報を提供します。次の表に、Ramfs カウンタについての情報を示します。

表 23: Ramfs

| カウンタ | カウンタの説明 |
|------------|--|
| FilesTotal | このカウンタは、RAM ベースのファイル システム (ramfs) のファイルの総数を示します。 |
| SpaceFree | このカウンタは、ram ベースのファイル システム (ramfs) 内の空き容量を示します。これは、ファイル システム用に統一されたデータ ストレージシステムがデータの読み取りおよび書き込みに使用するシステムでは、ブロック サイズは 4096 バイトです。 範囲は $0 \sim 2^{64} - 1$ です。 |
| SpaceUsed | このカウンタは、ram ベースのファイル システム (ramfs) 内の使用済み容量を示します。これは、ファイル システム用に統一されたデータ ストレージサイズがデータの読み取りおよび書き込みに使用するサイズが指す、ブロック サイズは 4096 バイトです。 範囲は $0 \sim 2^{64} - 1$ です。 |

音声およびビデオ カウンタ

Cisco Analog Access

Cisco Analog Access オブジェクトは、登録済みの Cisco アナログ アクセス ゲートウェイについての情報を提供します。次の表に、Cisco Analog Access カウンタに関する情報を示します。

表 24: Cisco Analog Access

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------------|--|
| OutboundBusyAttempts | このカウンタは、すべてのポートがビジー状態だったときに、Unified Communications Manager がアナログアクセス ゲートウェイ経由で行した回数の合計を示します。 |
| PortsActive | このカウンタは、現在使用中の（アクティブな）ポートの数を示します。ポートは、そのポートでコールが進行中のときにアクティブ表示されます。 |
| PortsOutOfService | このカウンタは、現在アウト オブ サービスのポートの数を示します。このカウンタは、ループスタート トランクおよびグラウンドスタート トランクに適用されます。 |

Cisco Annunciator Device

Cisco Annunciator Device オブジェクトは、登録済みの Cisco アナウンシエータ デバイスについての情報を提供します。次の表に、CiscoAnalogAccess カウンタに関する情報を示します。

表 25: Cisco Annunciator Device

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------|--|
| OutOfResources | このカウンタは、Unified Communications Manager がアナウンシエータからアナウンシエータ リソースの割り当てを試行して、すべてのリソースが使用中であるなどの理由で失敗した回数の合計を表します。 |
| ResourceActive | このカウンタは、アナウンシエータデバイスに対して現在アクティブな（使用中の）アナウンシエータ リソースの総数を表します。 |
| ResourceAvailable | このカウンタは、非アクティブで、現時点ではアナウンシエータから使用可能なリソースの総数を表します。 |
| ResourceTotal | このカウンタは、アナウンシエータデバイスに対して設定されているアナウンシエータ リソースの総数を表します。 |

Cisco Call Restriction

Cisco Call Restriction オブジェクトは、論理パーティション ポリシー制限による失敗の数を表します。次の表に、Cisco Call Restriction カウンタに関する情報を示します。

表 26 : Cisco Call Restriction

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------------------|--|
| AdHocConferenceFailures | このカウンタは、会議にすでに存在するデバイスのジオロケーションに招待されているデバイス間のコールパスが論理パーティションによって制限されたために、アドホック会議に参加者を追加する試行回数を表示します。 |
| BasicCallFailures | このカウンタは、着信側と発信側のジオロケーション間の論理パーティションポリシー制限のために、失敗した基本コールの回数を表示します。これは、転送などの補足サービスを利用しないコールです。 |
| ForwardingFailures | このカウンタは、関与する2者のジオロケーション間の論理パーティションポリシー制限のために、着信コールの転送に失敗した試行回数を表示します。 |
| LogicalPartitionFailuresTotal | このカウンタは、発信側と着信側のジオロケーション間のコールの試行の合計回数を表示します。これには、アドホック会議、ミーティング会議、ピックアップ、コールパーク、基本コールの失敗の回数が含まれます。 |
| MeetMeConferenceFailures | このカウンタは、会議にすでに存在するデバイスのジオロケーションへの参加を試行しているデバイス間のコールパスが、論理パーティションのために制限されたために参加者をミーティング会議に追加する試行回数を表示します。 |
| MidCallFailures | このカウンタは、着信側または接続先のジオロケーション間に、初期ポリシーチェック後に失敗したコールの回数を表示します。 |
| ParkRetrievalFailures | このカウンタは、コールの取得を試行していたデバイスに、通話者のジオロケーションを含む論理パーティションポリシー制限のために、コールパーク操作の実行に失敗した試行回数を表示します。 |
| PickUpFailures | このカウンタは、ピックアップが試行されているデバイス間のジオロケーションを含む論理パーティションポリシー制限のために、ピックアップ操作の実行に失敗した試行回数を表示します。 |
| SharedLineFailures | このカウンタは、発信者または着信側に、共有回線を持つデバイスのジオロケーションを含む論理パーティションポリシー制限があるため、使用に失敗した試行回数を表示します。 |
| TransferFailures | このカウンタは、転送された通話者のジオロケーションと転送先の制限のために失敗したコール転送の試行の回数を表示します。 |

Cisco CallManager

CiscoCallManager オブジェクトは、Unified Communications Manager に登録されたコール、アプリケーション、およびデバイスに関する情報を提供します。次の表には、CiscoCallManager カウンタについての情報が含まれます。

表 27: CiscoCallManager

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------------------------|---|
| AnnunciatorOutOfResources | このカウンタは、使用可能なアナウンシエータ リソースがなかった Unified Communications Manager が Unified Communications Manager に登録されているリソースからアナウンシエータ リソースの割り当てを試みたものの失敗した試みの合計を表します。 |
| AnnunciatorResourceActive | このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されているアナウンシエータ デバイスで現在使用されているアナウンシエータ リソースの総数を表します。 |
| AnnunciatorResourceAvailable | このカウンタは、非アクティブで、現在使用可能なアナウンシエータ リソースの総数を表します。 |
| AnnunciatorResourceTotal | このカウンタは、Unified Communications Manager に現在登録されているアナウンシエータ デバイスから提供されているアナウンシエータ リソースの総数を表します。 |
| AuthenticatedCallsActive | このカウンタは、Unified Communications Manager で現在アクティブな（認証済みコールの数）を示します。認証済みコールとは、コールするすべてのエンドポイントが認証されているコールを意味します。認証済み電話機は、トランスポート層セキュリティ (TLS) 認証された Skinny プロトコルシグナリングを Unified Communications Manager で使用します。 |
| AuthenticatedCallsCompleted | このカウンタは、Unified Communications Manager を介して接続が正常に終了された認証済みコールの数を表します。認証済みコールとは、コールするすべてのエンドポイントが認証されているコールを意味します。認証済み電話機は、TLS 認証された Skinny プロトコルシグナリングを Unified Communications Manager で使用します。 |
| AuthenticatedPartiallyRegisteredPhone | このカウンタは、部分的に登録された認証済み SIP 電話機の数を表します。 |
| AuthenticatedRegisteredPhones | このカウンタは、Unified Communications Manager に登録された認証済み電話機の総数を表します。認証済み電話機は、TLS 認証された Skinny プロトコルシグナリングを Unified Communications Manager で使用します。 |
| BRISpansActive | このカウンタは、この Unified Communications Manager 上で現在アクティブな BRI 音声チャンネルの数を表します。 |
| BRISpansInService | このカウンタは、現在使用可能な BRI スパンの数を表します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------------------------|--|
| CallManagerHeartBeat | このカウンタは、Unified Communications Manager のハートビートを示します。この増分カウントは、Unified Communications Manager がハートビートを生成していることを示します。このカウントが増加していない場合、Unified Communications Manager がダウンしていることを示します。 |
| CallsActive | このカウンタは、現在使用中の（アクティブな）音声ストリーミングまたはビデオストリーミング接続の数、つまり、Unified Communications Manager に接続されている音声パスが実際に存在するコールの数を表します。 |
| CallsAttempted | このカウンタは、試行されたコールの総数を表します。試行は、どの番号がダイヤルされたか、または宛先に接続された電話機がオフフックになるとき、およびオンフックに戻るとき、機能操作（たとえば、転送や会議）中のコールの試行コールと見なされる場合があります。 |
| CallsCompleted | このカウンタは、Unified Communications Manager を介して実行された（音声パスまたはビデオストリームが確立された）コールの総数を表します。この数は、コールが終了したときに増加します。 |
| CallsInProgress | <p>このカウンタは、Unified Communications Manager 上で現在進行中またはビデオ コールの数を表示します。すべてのアクティブなコールがカウントされます。</p> <p>Skinny Client Control Protocol (SCCP) に登録されている電話機になると、CallsInProgress progress カウンタが増加します。電話機がオンフックに戻るまで保持されます。</p> <p>SIP 電話機として登録される Cisco Unified IP Phone 7940 および SIP 電話機は、ダイヤルソフトキーが押されたときに CallsInProgress カウンタが増加します。</p> <p>その他のすべての SIP を実行している電話機の場合は、最初にダイヤルされたときに CallsInProgress カウンタが増加します。</p> <p>進行中のすべての音声コールまたはビデオ コールが接続されると、CallsInProgress の数は CallsActive の数を表します。電話機がオンフックに戻ったときに、カウンタは1つ減少します。</p> |
| CM_MediaTermPointsRequestsThrottled | このカウンタは、制御のために拒否されたメディアターミネーション (MTP) リソース要求の総数を表します (MTP が Cisco Unified Communications Manager のデフォルトの MTP and Transcoder Resource Throttling 設定された設定済みの制御比率を超えて使用されていたため、MTP のリソースを割り当てることができませんでした)。このカウンタは Unified Communications Manager ノード上の MTP が要求されたときに増加し、MTP 制御によって拒否されるたびに増分します。カウンタの値は CallManager サービスが開始されてから現在までの実行の合計を示します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|------------------------------------|---|
| CM_TranscoderRequestsThrottled | このカウンタは、制御のために拒否されたトランスコーダ リソースの総数を表します (トランスコーダが Cisco CallManager サービスで指定された MTP and Transcoder Resource Throttling Percentage で指定されたみの制御比率を超えて使用されていたため、このトランスコーダ リソースを割り当てることができませんでした)。このカウンタは Unified Communications Manager ノード上のトランスコーダが要求された要求がトランスコーダ制御によって拒否されるたびに増分します。この値は Cisco CallManager サービスが開始されてから現在までの値を反映しています。 |
| EncryptedCallsActive | このカウンタは、この Unified Communications Manager で現在アクティブ (使用中) の暗号化済みコールの数を表します。暗号化済みコールには関係するすべてのエンドポイントが暗号化されています。 |
| EncryptedCallsCompleted | このカウンタは、この Unified Communications Manager を介して完了した後で接続解除された暗号化済みコールの数を表します。暗号化済みコールは、コールに関係するすべてのエンドポイントが暗号化されていることを意味します。 |
| EncryptedPartiallyRegisteredPhones | このカウンタは、部分的に登録された暗号化済み SIP 電話機の数を表します。 |
| EncryptedRegisteredPhones | このカウンタは、この Unified Communications Manager に登録された暗号化済み電話機の総数を表します。 |
| FXOPortsActive | このカウンタは、Unified Communications Manager で現在使用中の (ブナ) FXO ポートの数を表します。 |
| FXOPortsInService | このカウンタは、システムで現在使用可能な FXO ポートの数を表します。 |
| FXSPortsActive | このカウンタは、Unified Communications Manager で現在使用中の (ブナ) FXS ポートの数を表します。 |
| FXSPortsInService | このカウンタは、システムで現在使用可能な FXS ポートの数を表します。 |
| HuntListsInService | このカウンタは、Unified Communications Manager で現在稼働中の Hunt Lists の数を表します。 |
| HWConferenceActive | このカウンタは、Unified Communications Manager に現在登録されたハードウェア会議ブリッジデバイスから提供されているハードウェア会議リソースの総数を表します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------------------|--|
| HWConferenceCompleted | このカウンタは、Unified Communications Manager から割り当てられたハードウェア会議ブリッジ（Cisco Catalyst 6000、Cisco Catalyst 4000、Cisco シリーズ 26xx、36xx などのハードウェアベースの会議ブリッジ）を使用して完了した会議の総数を表します。つまり、会議ブリッジが解放されています。会議は、最初のコールがブリッジにアクティブになります。会議は、最後のコールがブリッジされたときに完了します。 |
| HWConferenceOutOfResources | このカウンタは、使用可能なハードウェア会議リソースがない Unified Communications Manager が Unified Communications Manager から割り当てられているリソースからハードウェア会議リソースの割り当ての合計を表します。 |
| HWConferenceResourceActive | このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されたハードウェア会議デバイス（Cisco Catalyst 6000、Catalyst 4000、Cisco シリーズ 26xx、36xx など）上で使用中の会議リソース数を表します。1 つ以上のコールがブリッジに接続されている場合、このカウンタは増えます。 |
| HWConferenceResourceAvailable | このカウンタは、Unified Communications Manager から割り当てられたハードウェア会議デバイス（Cisco Catalyst 6000、Catalyst 4000、Cisco シリーズ 26xx、36xx など）に割り当てられていないハードウェア会議リソースの数を表します。つまり、このカウンタは割り当てられて、解放されています。会議は、最初のコールがブリッジに接続されたときにアクティブになります。会議は、最後のコールがブリッジから接続解除されたときに完了します。 |
| HWConferenceResourceTotal | このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されたハードウェア会議デバイスのアクティブな会議の数を表します。 |
| InitializationState | このカウンタは、Unified Communications Manager の現在の初期化状態を示します。Unified Communications Manager には、次の初期化状態があります。 1 : Database、2 : Regions、3 : Locations、4 : QoS Policy、5 : AAR Neighborhoods、7 : Digit Analysis、8 : Route Plan、9 : RSVP Session Manager、11 : Supplementary Services、12 : SDL Link、14 : Device、100 : Initialization Complete このカウンタを使用しても、すべての状態が表示されるわけではありません。このカウンタはエラーの発生を示すものではなく、単にシステム モニタのリフレッシュ期間内に状態が初期化され完了したことを示すものです。 |
| IVRResourceActive | これは、ユニファイドコミュニケーションマネージャに登録されている IVR デバイスで現在使用されている IVR リソースの合計数を表します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------------------|---|
| IVROutOfResources | このカウンタは、使用可能な IVR リソースがなかった場合に、Unified Communications Manager が Unified Communications Manager に登録されているリソースから IVR リソースの割り当てを試行した回数の合計を表します。 |
| IVRResourceAvailable | このカウンタは、Unified Communications Manager に現在登録されている IVR デバイスから提供されている IVR リソースの総数を表します。 |
| IVRResourceTotal | このカウンタは、Unified Communications Manager に現在登録されている IVR デバイスから提供されている IVR リソースの総数を表します。 |
| LocationOutOfResources | このカウンタは、その場所を経由したコールが帯域幅不足のため失敗した回数の合計を表します。 |
| MCUConferencesActive | このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されている Cisco TelePresence MCU 会議ブリッジデバイス上のアクティブな会議の総数を表します。 |
| MCUConferencesCompleted | このカウンタは、Unified Communications Manager から割り当てられている Cisco TelePresence MCU 会議ブリッジを使用し、完了した（つまり、会議が割り当てられ、解放された）会議の総数を表します。会議は、コールがブリッジに接続されたときにアクティブになります。会議は、コールがブリッジから接続解除されたときに終了します。 |
| MCUHttpConnectionErrors | このカウンタは、Unified Communications Manager が、Cisco TelePresence MCU 会議ブリッジデバイスへの HTTP 接続を作成しようとした際に発生した Cisco TelePresence MCU 会議ブリッジ側の接続エラーが原因で失敗した接続の総数を表します。 |
| MCUHttpNon200OKResponse | このカウンタは、送信された HTTP クエリーに対して、Unified Communications Manager が Cisco TelePresence MCU 会議ブリッジから [200 OK HTTP] 応答を受信した回数の合計を表します。 |
| MCUOutOfResources | このカウンタは、Unified Communications Manager が Cisco TelePresence MCU 会議ブリッジデバイスから会議リソースを割り当てようとしたときに失敗した割り当ての総数を表します。たとえば、他のすべてのリソースが使われている場合、会議リソースの割り当ては失敗します。 |
| MOHMulticastResourceActive | このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されている MOH サーバで現在使用中の（アクティブな）マルチキャストの MOH リソースの総数を表します。 |
| MOHMulticastResourceAvailable | このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されている MOH サーバで使用されていないアクティブなマルチキャスト MOH リソースの総数を表します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-----------------------------|---|
| MOHOutOfResources | このカウンタは、Unified Communications Manager に登録された MOH サーバ上で使用可能なすべてのリソースがすでにアクティブな場合に、Media Resource Manager が MOH リソースの割り当て可能な数の合計を表します。 |
| MOHTotalMulticastResources | このカウンタは、Unified Communications Manager に現在登録されている MOH サーバから提供されているマルチキャスト MOH リソースの総数を表します。 |
| MOHTotalUnicastResources | このカウンタは、Unified Communications Manager に現在登録されている MOH サーバから提供されているユニキャスト MOH リソースの総数を表します。各 MOH リソースは、1 つのストリームを使用します。 |
| MOHUnicastResourceActive | このカウンタは、Unified Communications Manager に登録された MOH サーバで現在使用中の（アクティブな）ユニキャスト MOH リソースの総数を表します。各 MOH ユニキャスト リソースは、1 つのストリームを使用します。 |
| MOHUnicastResourceAvailable | このカウンタは、Unified Communications Manager に登録された MOH サーバで現在使用可能なユニキャスト MOH リソースの総数を表します。各 MOH ユニキャスト リソースは、1 つのストリームを使用します。 |
| MTPOutOfResources | このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されたターミネーションポイント（MTP）デバイスから MTP リソースが Unified Communications Manager が試みて失敗した回数合計を表します。これは、MTP として動作する使用可能なトランスコードがないことを意味しています。 |
| MTPResourceActive | このカウンタは、Unified Communications Manager に登録された MTP デバイス上で現在使用中の（アクティブな）MTP リソースの総数を表します。各 MTP リソースは、2 つのストリームを使用します。各 MTP リソースは、コールで使用するために割り当てられている 1 つの MTP リソースを表します。 |
| MTPResourceAvailable | このカウンタは、Unified Communications Manager に登録された MTP デバイス上に割り当て可能な、現在使用されていない MTP リソースの総数を表します。各 MTP リソースは、2 つのストリームを使用している MTP は、コールで使用するために割り当てられている MTP リソースを表します。 |
| MTPResourceTotal | このカウンタは、Unified Communications Manager に現在登録されている MTP デバイスから提供されている MTP リソースの総数を表します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---|---|
| MTP_RequestsThrottled | このカウンタは、制御のために拒否された MTP リソース要求の数です (MTP が Cisco CallManager サービス パラメータである MTP Transcoder Resource Throttling Percentage で指定された設定済みのリソースを超えて使用されていたため、この MTP からのリソースを割り当てできませんでした)。このカウンタは、この MTP からリソースが割り当てられなかったその要求が制御によって拒否されるたびに増分します。このカウンタは、MTP デバイスが Cisco CallManager サービスに登録されてから実行の合計を反映しています。 |
| PartiallyRegisteredPhone | このカウンタは、部分的に登録された SIP を実行している電話機の数です。 |
| PRChannelsActive | このカウンタは、Unified Communications Manager で現在アクティブな PRI 音声チャンネルの数を表します。 |
| PRISpansInService | このカウンタは、現在使用可能な PRI スパンの数を表します。 |
| RegisteredAnalogAccess | このカウンタは、システムに登録されている、登録済み Cisco アナログアクセスゲートウェイの数を表します。カウントには、Cisco アナログポートの数は含まれません。 |
| RegisteredHardwarePhones | このカウンタは、現在システムに登録されている Cisco ハードウェア電話機 (Cisco Unified IP Phone 7960、7940 など) の数を表します。 |
| RegisteredMGCPGateway | このカウンタは、現在システムに登録されている MGCP ゲートウェイの数を表します。 |
| RegisteredOtherStationDevices | このカウンタは、現在システムに登録されている Cisco ハードウェア以外の端末デバイス (Cisco IP SoftPhone、CTI ポート、CTI ルーター、Cisco ボイスメールポートなど) の数を表します。 |
| RegisteredTCTJabberNonMRA 重要 リリース 14SU1 以降に適用されます。 | これは、システムに現在オンプレミスで登録されている iPhone の Cisco Jabber の数を表します。 |
| RegisteredTCTJabberMRA 重要 リリース 14SU1 以降に適用されます。 | これは、モバイルおよびリモートアクセス経由でシステムに現在オンプレミスで登録されている iPhone デバイス上の Cisco Jabber の数を表します。 |
| RegisteredBOTJabberNonMRA 重要 リリース 14SU1 以降に適用されます。 | これは、システムに現在オンプレミスで登録されている Android の Cisco Jabber の数を表します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---|--|
| RegisteredBOTJabberMRA 重要 リリース 14SU1 以降に適用 されます。 | これは、モバイルおよびリモートアクセス経由でシステムに いる Android デバイス上の Cisco Jabber の数を表します。 |
| RegisteredTABJabberNonMRA 重要 リリース 14SU1 以降に適用 されます。 | これは、システムに現在オンプレミスで登録されている iPad Cisco Jabber の数を表します。 |
| RegisteredTABJabberMRA 重要 リリース 14SU1 以降に適用 されます。 | これは、モバイルおよびリモートアクセス経由でシステムに いる iPad デバイス上の Cisco Jabber の数を表 |
| RegisteredCSFJabberNonMRA 重要 リリース 14SU1 以降に適用 されます。 | これは、システムに現在オンプレミスで登録されているデス クトップ上の Cisco Jabber の数を表します。 |
| RegisteredCSFJabberMRA 重要 リリース 14SU1 以降に適用 されます。 | これは、モバイルおよびリモートアクセス経由でシステムに いるデスクトップデバイス上の Cisco Jabber の数を表します。 |
| RegisteredTCTWebexNonMRA 重要 リリース 14SU1 以降に適用 されます。 | これは、システムに現在オンプレミスで登録されている iPho の Webex アプリの数を表します。 |
| RegisteredTCTWebexMRA 重要 リリース 14SU1 以降に適用 されます。 | これは、モバイルおよびリモートアクセス経由でシステムに いる iPhone デバイス上の Webex アプリの数を表します。 |
| RegisteredBOTWebexNonMRA 重要 リリース 14SU1 以降に適用 されます。 | これは、システムに現在オンプレミスで登録されている And roid の Webex アプリの数を表します。 |
| RegisteredBOTWebexMRA 重要 リリース 14SU1 以降に適用 されます。 | これは、モバイルおよびリモートアクセス経由でシステムに いる Android デバイス上の Webex アプリの数を表します。 |
| RegisteredTABWebexNonMRA 重要 リリース 14SU1 以降に適用 されます。 | これは、システムに現在オンプレミスで登録されている iPac kage Webex アプリの数を表します。 |
| RegisteredTABWebexMRA 重要 リリース 14SU1 以降に適用 されます。 | これは、モバイルおよびリモートアクセス経由でシステムに いる iPad デバイス上の Webex アプリの数を表します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---|--|
| RegisteredCSFWebexNonMRA 重要 リリース 14SU1 以降に適用 されます。 | これは、システムに現在オンプレミスで登録されているデスク トップデバイス上の Webex アプリの数を表します。 |
| RegisteredCSFWebexMRA 重要 リリース 14SU1 以降に適用 されます。 | これは、モバイルおよびリモートアクセス経由でシステムに現在 いるデスクトップデバイス上の Webex アプリの数を表します。 |
| RegisteredHardwarePhonesMRA 重要 リリース 14SU1 以降に適用 されます。 | これは、モバイルおよびリモートアクセス経由でシステムに現在 オンプレミスで登録されている iPhone デバイス上の Cisco ハードウェア (カ タログ番号 7861、7841、8845、8865 など) の数を表します。 |
| RegisteredDualModeDevices 重要 リリース 14SU1 以降に適用 されます。 | このカウンタは、モバイルおよびリモートアクセス、オンプレミ スで登録されているデュアルモードデバイスの詳細を示します。TCT と BO T として登録されている唯一のデュアルモードデバイスです。 |
| RegisteredDevicesMRA 重要 リリース 14SU1 以降に適用 されます。 | これは、モバイルおよびリモートアクセス経由でシステムに現在 オンプレミスで登録されている iPhone デバイス上の Cisco IP 電話およびデ スクトップデバイスの数を表します。 |
| SIPLineServerAuthorizationChallenges | このカウンタは、Unified Communications Manager サーバが SIP を 使用する電話機に対して発行した着信 SIP 要求の認証確認の回数を表 します。認証確認は、ダイジェスト認証が有効な SIP を実行している電話機 から Unified Communications Manager に SIP 回線要求を送信したときに発生し |
| SIPLineServerAuthorizationFailures | このカウンタは、SIP 電話機から Unified Communications Manage r サーバに送信する着信 SIP 要求の認証確認の失敗回数を表します。認証の失敗 は、ダイジェスト認証が有効な SIP 電話機から Unified Communications M anager に SIP 回線要求を送信したときに発生しま |
| SIPTrunkAuthorization | このカウンタは、Unified Communications Manager が SIP トランク から送信する着信 SIP 要求のアプリケーションレベルの認証チェックの 失敗回数を表します。アプリケーションレベルの認証チェックは、Unified Com munications Manager が、着信 SIP 要求を Cisco Unified Communications Manag er に送信するときに実行されます。このカウンタは、Cisco Unified Communications Manag er [SIP トランク セキュリティ プロファイルの設定 (SIP Trunk Sec urity Profile Configuration)] ウィンドウのアプリケーションレベルの設定と 一致して実行されます。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--|--|
| SIPTrunkAuthorizationFailures | このカウンタは、Unified Communications Manager SIP トランク 着信 SIP 要求のアプリケーションレベルの認証の失敗回数を表します。アプリケーションレベルの認証の失敗は、Unified Communications Manager SIP 要求と、Cisco Unified Communications Manager の管理の [Security Profile] キュリティ プロファイルの設定 (SIP Trunk Security Profile Configuration) ウィンドウのアプリケーションレベルの認証設定を比較し、上の 1 つ以上の SIP 機能に対する認証が許可されていない場合に発生します。 |
| SIPTrunkServerAuthenticationChallenges | このカウンタは、Unified Communications Manager が SIP トランク 着信 SIP 要求の認証確認の回数を表します。認証確認が有効な SIP トランクから Unified Communications Manager 要求を送信したときに発生します。 |
| SIPTrunkServerAuthenticationFailures | このカウンタは、SIP トランクから Unified Communications Manager 着信 SIP 要求で発生した認証確認の失敗回数を表します。認証確認が有効な SIP トランクから Unified Communications Manager にクレデンシャルが不正な SIP 要求を送信したときに発生します。 |
| SWConferenceActive | このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されたソフトウェア会議デバイスのアクティブな会議の数を表します。 |
| SWConferenceCompleted | このカウンタは、Unified Communications Manager から割り当てられたソフトウェア会議ブリッジを使用して完了した会議の総数を表します。会議ブリッジは割り当てられて、解放されています。会議は、ブリッジに接続されたときにアクティブになります。会議はブリッジから接続解除されたときに完了します。 |
| SWConferenceOutOfResources | このカウンタは、使用可能なソフトウェア会議リソースがない場合に発生します。Unified Communications Manager が Unified Communications Manager に割り当てられているリソースからソフトウェア会議リソースの割り当ての合計を表します。カウンタには、新規の参加者を既存の会議に追加しようとしたときに失敗した試行回数が含まれます。 |
| SWConferenceResourceActive | このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されたソフトウェア会議デバイス上で使用中の会議リソースの総数を表します。3 つ以上のコールがブリッジに接続されている場合、会議はアクティブと見なされます。1 つのリソースは 1 つのストリームと同等です。 |
| SWConferenceResourceAvailable | このカウンタは、Unified Communications Manager に対して新規のソフトウェアベースの会議の数を表します。新規の各会議は最低でも 3 つのストリームが使用可能である必要があります。1 つのストリームと同等です。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-----------------------------|---|
| SWConferenceResourceTotal | このカウンタは、Unified Communications Manager に現在登録されているソフトウェア会議ブリッジデバイスから提供されているソフトウェア会議リソースの総数を表します。 |
| SystemCallsAttempted | このカウンタは、サーバから発信されたコールと Unity メッセージゲータ (MWI) に試行されたコールの総数を表します。 |
| T1ChannelsActive | このカウンタは、Unified Communications Manager で現在アクティブな T1 CAS 音声チャンネルの数を表します。 |
| T1SpansInService | このカウンタは、現在使用可能な T1 CAS スパンの数を表します。 |
| TLSConnectedSIPTrunks | このカウンタは、トランスポート層セキュリティ (TLS) で設定された SIP トランクの数を表します。 |
| TLSConnectedWSM | このカウンタは、トランスポート層セキュリティ (TLS) で設定された Motorola WSM に接続された WSM コネクタの数を表します。 |
| TranscoderOutOfResources | このカウンタは、使用可能なトランスコーダ リソースがなかった Unified Communications Manager が Unified Communications Manager に登録されているトランスコーダ デバイスからトランスコーダ リソースを試行した回数の合計を表します。 |
| TranscoderResourceActive | このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されているトランスコーダ デバイス上で使用中のトランスコーダの総数を表します。使用中のトランスコーダは、コールで使用するために割り当てられたトランスコーダ リソースを表します。各トランスコーダ リソースは、2 つのストリームを使用します。 |
| TranscoderResourceAvailable | このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されているトランスコーダ デバイスに割り当て可能な、現在使用されていないトランスコーダの総数を表します。各トランスコーダ リソースは、2 つのストリームを使用します。 |
| TranscoderResourceTotal | このカウンタは、Unified Communications Manager に現在登録されているトランスコーダ デバイスから提供されているトランスコーダ リソースの総数を表します。 |
| VCBConferenceActive | このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されているビデオ会議ブリッジデバイス上のアクティブなビデオ会議の総数を表します。 |
| VCBConferenceAvailable | このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されているビデオ会議ブリッジデバイス上の新規ビデオ会議の総数を表します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|------------------------|---|
| VCBConferenceCompleted | このカウンタは、Unified Communications Manager から割り当てられた会議ブリッジを使用して完了したビデオ会議の総数を表します。会議ブリッジは割り当てられて、解放されています。会議は、ブリッジに接続されたときにアクティブになります。会議はブリッジから接続解除されたときに完了します。 |
| VCBConferenceTotal | このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されたビデオ会議ブリッジデバイス上でサポートされているビデオ会議の総数を表します。 |
| VCBOutOfConferences | このカウンタは、使用可能なビデオ会議リソースがなかった場合に、Unified Communications Manager が Unified Communications Manager からリソースからビデオ会議リソースの割り当てを試行した回数です。 |
| VCBOutOfResources | このカウンタは、失敗した新規ビデオ会議要求の総数を表している数の会議がすでに使用中であるなどの理由で、会議が完了できなかった場合があります。 |
| VCBResourceActive | このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されたビデオ会議デバイスで現在使用されているビデオ会議リソースの総数を表します。 |
| VCBResourceAvailable | このカウンタは、非アクティブで、現在使用可能なビデオ会議リソースの総数を表します。 |
| VCBResourceTotal | このカウンタは、Unified Communications Manager に現在登録されているビデオ会議ブリッジデバイスから提供されているビデオ会議リソースの総数を表します。 |
| VideoCallsActive | このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されたビデオ会議ブリッジデバイス上のアクティブなビデオストリームを持つアクティブなビデオ コールの総数を表します。 |
| VideoCallsCompleted | このカウンタは、ビデオ ストリームに実際に接続され、そのビデオ コールの数を表します。 |
| VideoOutOfResources | このカウンタは、使用可能なビデオストリーミング リソースが不足した場合に、Unified Communications Manager が Unified Communications Manager に登録されているビデオ会議ブリッジデバイスの 1 つからビデオストリーミング リソースの割り当てを試行した回数の合計を表します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------------|---|
| XCODE_RequestsThrottled | このカウンタは、制御のために拒否されたトランスコーダ リソースの総数を表します (トランスコーダが Cisco CallManager サービスである MTP and Transcoder Resource Throttling Percentage で指定されたみの制御比率を超えて使用されていたため、このトランスコーダ リソースを割り当てることができませんでした)。このカウンタは、トランスコーダからリソースが要求され、その要求が制御によって拒否された場合に増分します。このカウンタの値は、トランスコーダ デバイスが Cisco CallManager サービスに登録されてから現在までの実行の合計を表します。 |

Cisco CallManager System Performance

CiscoCallManager System Performance オブジェクトは、Unified Communications Manager に関するシステムパフォーマンスの情報を提供します。次の表には、CiscoCallManager システムパフォーマンスカウンターについての情報が含まれます。

表 28: CiscoCallManager システムパフォーマンス

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------------------|---|
| AverageExpectedDelay | このカウンタは、着信メッセージを処理する前の現在の平均予期される遅延を表します。 |
| CallsRejectedDueToICTThrottling | このカウンタは、CiscoCallManager サービスの開始以降に、クラッシュ (ICT) コール制御のため拒否されたコールの総数を表します。140 コールのしきい値制限に達すると、ICT は新しいコールの制御を開始します。ICT コール制御が発生する原因の 1 つは、ICT を制御するルータがルート ループ状態になることです。 |
| CallThrottlingGenericCounter3 | このカウンタは、コール制御で使用される汎用カウンタを表します。 |
| CodeRedEntryExit | このカウンタは、Unified Communications Manager が Code Red (緊急スロットリングモード) を開始したか、または終了したかを示す有効な値は、0 (Exit) および 1 (Entry) です。 |
| CodeYellowEntryExit | このカウンタは、Unified Communications Manager が Code Yellow (警告スロットリングモード) を開始したか、または終了したかを示す有効な値は、0 (Exit) および 1 (Entry) です。 |
| EngineeringCounter1 | Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは使用しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの情報を提供しません。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------------------|---|
| EngineeringCounter2 | Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは、診断の目的でこのカウンタの値を示します。シスコは、診断の目的でこのカウンタの値を示します。 |
| EngineeringCounter3 | Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは、診断の目的でこのカウンタの値を示します。シスコは、診断の目的でこのカウンタの値を示します。 |
| EngineeringCounter4 | Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは、診断の目的でこのカウンタの値を示します。シスコは、診断の目的でこのカウンタの値を示します。 |
| EngineeringCounter5 | Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは、診断の目的でこのカウンタの値を示します。シスコは、診断の目的でこのカウンタの値を示します。 |
| EngineeringCounter6 | Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは、診断の目的でこのカウンタの値を示します。シスコは、診断の目的でこのカウンタの値を示します。 |
| EngineeringCounter7 | Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは、診断の目的でこのカウンタの値を示します。シスコは、診断の目的でこのカウンタの値を示します。 |
| EngineeringCounter8 | Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは、診断の目的でこのカウンタの値を示します。シスコは、診断の目的でこのカウンタの値を示します。 |
| QueueSignalsPresent 1-High | このカウンタは、Unified Communications Manager のキューの数の高優先順位信号を表します。高優先順位信号には、主に、タイムアウト、Unified Communications Manager キープアライブ、特定のイベント、内部プロセスの作成などのイベントが含まれています。高優先順位イベントは、Unified Communications Manager のパフォーマンス低下、コール接続の遅延やダイヤルトーン消失の原因となり、このカウンタを QueueSignalsProcessed 1-High カウンタと併用して、Unified Communications Manager 上の処理の遅延を判別します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--------------------------------|---|
| QueueSignalsPresent 2-Normal | このカウンタは、Unified Communications Manager のキューの通常優先順位信号の数を表します。通常優先順位信号には、主に、コール処理操作、オンフックとオフフックの通知などのイベントが含まれています。このキュー内の通常優先順位のイベントは、Unified Communications Manager のパフォーマンスを低下させ、ダイヤルトーンの遅延、コール接続の遅延、ダイヤルトーンの消失の原因となる場合があります。このカウンタを QueueSignalsProcessed 2-Normal カウンタと併用して、Unified Communications Manager 上のコール処理の遅延を判別します。通常優先順位信号が開始する前に、高優先順位信号を完了する必要があることに注意してください。したがって、高優先順位カウンタを確認し、遅延の可能性のある状況を把握する必要があります。 |
| QueueSignalsPresent 3-Low | このカウンタは、Unified Communications Manager のキューの低優先順位信号の数を表します。低優先順位信号には、主に、端末デバイスの登録遅延（未登録要求メッセージは除く）などのイベントが含まれています。このキュー内の多数の信号は、特に、デバイス登録遅延のイベントの原因となります。 |
| QueueSignalsPresent 4-Lowest | このカウンタは、Communications Manager のキューの低優先順位信号の数を表します。最低優先順位信号には、主に、デバイス登録中の初期登録要求メッセージなどのイベントが含まれています。このキュー内の多数の信号は、特に、デバイス登録遅延のイベントの原因となります。 |
| QueueSignalsProcessed 1-High | このカウンタは、Unified Communications Manager によって 1 秒間隔で処理される高優先順位信号の数を表します。このカウンタを QueueSignalsPresent 1-High カウンタと併用して、このキューの処理の遅延を判別します。 |
| QueueSignalsProcessed 2-Normal | このカウンタは、Unified Communications Manager によって 1 秒間隔で処理される通常優先順位信号の数を表します。このカウンタを QueueSignalsPresent 2-Normal カウンタと併用して、このキューの処理の遅延を判別します。高優先順位信号は通常優先順位信号の前に処理されることに注意してください。 |
| QueueSignalsProcessed 3-Low | このカウンタは、Unified Communications Manager によって 1 秒間隔で処理される低優先順位信号の数を表します。このカウンタを QueueSignalsPresent 3-Low カウンタと併用して、このキューの処理の遅延を判別します。このカウンタで処理される信号の数は、この時間間隔でデバイス登録アクティビティの量の指標となります。 |
| QueueSignalsProcessed 4-Lowest | このカウンタは、Unified Communications Manager によって 1 秒間隔で処理される最低優先順位信号の数を表します。このカウンタを QueueSignalsPresent 4-Lowest カウンタと併用して、このキューの処理の遅延を判別します。このカウンタで処理される信号の数は、この時間間隔で Unified Communications Manager がサービスを開始したデバイスの数の指標となります。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-----------------------------|--|
| QueueSignalsProcessed Total | このカウンタは、高、通常、低、最低のすべてのキューレベルそれぞれ1秒間に Unified Communications Manager によって処理キュー信号の合計を表します。 |
| SkinnyDevicesThrottled | このカウンタは、制御される Skinny デバイスの総数を表します。デバイスが生成したイベントの総数が、設定されている最大しきり値は 2000 イベント) を 5 秒間隔内で上回ったとき、Skinny 制御されます (シャットダウンと再登録を求められます)。 |
| ThrottlingSampleActivity | このカウンタは、設定されたサンプルサイズのうち、average の値がゼロではないサンプルがいくつあるかを示します。この averageExpectedDelay の値が 0 のサンプルがあった場合にリセット。このプロセスは、サンプルのバッチごとに繰り返されます。設定されたサンプルサイズを表します。 |
| TotalCodeYellowEntry | このカウンタは、Unified Communications Manager コール処理状態に入る回数を表します。このカウンタは、Unified Communications Manager プロセスの開始時から累積されます。 |

Cisco CTIManager

Cisco CTI Manager オブジェクトは、Cisco CTI Manager についての情報を提供します。次の表には、CiscoCTIManager カウンタについての情報が含まれます。

表 29 : Cisco CTI Manager

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------|--|
| CcmLinkActive | このカウンタは、アクティブな Unified Communications Manager を表します。該当する場合、CTIManager は、1つのクラスターアクティブなサーバへのリンクを維持します。 |
| CTIConnectionActive | このカウンタは、現在 CTIManager に接続されている CTI クラスタ数を表します。このカウンタは、新しい接続が確立されると増え、接続が解放されると 1つ減少します。CTIManager の MaxCTIConnections パラメータは、アクティブな接続の最大数を設定します。 |
| DevicesOpen | このカウンタは、CTI アプリケーションによって制御または監視されている Unified Communications Manager に設定されているデバイスの数を表します。デバイスには、ハードウェア IP Phone、CTI ポート、CTI トリガーなどがあります。 |
| LinesOpen | このカウンタは、CTI アプリケーションを制御またはモニタリングされている回線の総数を表します。このカウンタは、Unified Communications Manager に設定されている回線の総数を表します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|------------|---|
| QbeVersion | このカウンタは、CTIManager が使用する Quick Buffer Encoding ターフェイスのバージョン番号を表します。 |

Cisco Dual-Mode Mobility

Cisco Dual-Mode Mobility オブジェクトは、Unified Communications Manager のデュアルモード モビリティ アプリケーションについての情報を提供します。次の表には、CiscoDual-Mode Mobility カウンタについての情報が含まれます。

表 30: Cisco Dual-Mode Mobility

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--------------------|---|
| CallsAnchored | このカウンタは、Unified Communications Manager 内で固定されたデュアルモード電話機で送信または受信するコールの数を表します。このカウンタは、デュアルモード電話機でコールが送信または受信されたときに増加します。デュアルモード電話機から別のデュアルモード電話機を呼び出す場合、カウンタは2つ増加します。 |
| DMMSRegistered | このカウンタは、無線 LAN (WLAN) に登録された Dual-mode Mobility (DMMS) 加入者の数を表します。 |
| FollowMeAborted | このカウンタは、失敗した follow-me 操作の数を表します。 |
| FollowMeAttempted | このカウンタは、Unified Communications Manager が試行した follow-me 操作の数を表します。このカウンタは、Wireless Service Manager (WSM) が SIP 302 (一時的に移動) メッセージが受信され、Unified Communications Manager が WLAN の DMMS にコールをリダイレクトしたときに増加します。 |
| FollowMeCompleted | このカウンタは、正常に完了した follow-me 操作の数を表します。このカウンタは、WLAN 内の DMMS がコールに応答し、発信側デバイス (音声パス) が正常に確立されたときに増加します。 |
| FollowMeInProgress | このカウンタは、現在進行中の follow-me 操作の数を表します。このカウンタは、follow-me 操作が試行されたときに増加し、follow-me 操作が完了したときに減少します。 |
| H1HandOutAttempted | このカウンタは、デュアルモード電話機が試行した H1 hand-out 操作の数を表します。このカウンタは、Unified Communications Manager が H1 の番号へのコールを処理したときに増加します。 |
| H1HandOutCompleted | このカウンタは、正常に完了した H1 hand-out 操作の数を表します。このカウンタは、WLAN 内の DMMS がメディア (音声パス) を正常に確立したときに増加します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------|--|
| H2HandOutCompleted | このカウンタは、正常に完了した H2 hand-out 操作の数を表します。このカウンタは、WLAN の DMMS がメディア（音声パス）を正常に再開するときに増加します。 |
| H2HandOutsAttempted | このカウンタは、デュアルモード電話機が試行した H2 hand-out 操作の数を表します。このカウンタは、Unified Communications Manager が H2 の番号へのコールを受信したときに増加します。 |
| HandInAborted | このカウンタは、失敗した hand-in 操作の数を表します。 |
| HandInAttempted | このカウンタは、デュアルモード電話機が試行した hand-in 操作の数を表します。 |
| HandInCompleted | このカウンタは、正常に完了した hand-in 操作の数を表します。このカウンタは、WLAN の DMMS がメディア（音声パス）を正常に再開するときに増加します。 |
| HandInInProgress | このカウンタは、現在進行中の hand-in 操作の数を表します。このカウンタは、hand-in 操作が試行されたときに増加し、hand-in 操作が中断されたときに減少します。 |
| HandOutAborted | このカウンタは、失敗した hand-out 操作の数を表します。 |
| HandOutInProgress | このカウンタは、現在進行中の H1 および H2 hand-out 操作の数を表します。このカウンタは、H1 または H2 hand-out 操作が試行されたときに増加し、H1 または H2 hand-out 操作が中断または完了したときに減少します。 |

Cisco エクステンション モビリティ

Cisco Extension Mobility オブジェクトは、エクステンションモビリティアプリケーションについての情報を提供します。次の表に、Cisco Extension Mobility カウンタに関する情報を示します。

表 31 : Cisco Extension Mobility アプリケーション

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-----------------|---|
| RequestsHandled | このカウンタは、CiscoCallManager サービスの最後の再起動以降、エクステンションモビリティアプリケーションが処理した HTTP リクエストの数を表します。リクエスト標準的なログインは、2つの HTTP 要求を必要とします。1つは、デバイスの初期ログイン状態の照会、もう1つは、デバイス上のユーザへのログインです。同様に、標準的なログアウト操作も必要になります。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------------------------|---|
| RequestsInProgress | このカウンタは、エクステンション モビリティ アプリケーションで処理している HTTP 要求の数を表します。標準的なログインは、2 つの HTTP 要求で構成されています。1 つは、デバイスの初期ログイン状態をリセットする要求です。もう 1 つは、デバイス上のユーザへのログインです。同様に、標準的なログアウトも 2 つの HTTP 要求になります。 |
| RequestsThrottled | このカウンタは、制御のために失敗したログイン要求またはログアウト要求の総数を表します。 |
| LoginsSuccessful | このカウンタは、エクステンション モビリティ サービスを使用した完了したログイン要求の総数を表します。 |
| LogoutsSuccessful | このカウンタは、エクステンション モビリティ サービスを使用した完了したログアウト要求の総数を表します。 |
| Total Login/LogoutRequestsAttempted | このカウンタは、このエクステンション モビリティ サービスを使用した完了したログイン要求およびログアウト要求の総数を表します。これは、成功した試行と失敗した試行の両方が含まれます。 |

Cisco ゲートキーパー

Cisco Gatekeeper オブジェクトは、登録済みの Cisco ゲートキーパー デバイスについての情報を提供します。次の表には、Cisco ゲートキーパーデバイスカウンタについての情報が含まれます。

表 32: Cisco ゲートキーパー

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------|--|
| ACFsReceived | このカウンタは、設定済みゲートキーパーとその代替ゲートキーパーから受信された RAS アドミッション確認メッセージの総数を表します。 |
| ARQsAttempted | このカウンタは、設定済みゲートキーパーとその代替ゲートキーパーから送信して試行された RAS アドミッション要求メッセージの総数を表します。 |
| RasRetries | このカウンタは、設定済みゲートキーパーとその代替ゲートキーパーからのすべての RAS 確認応答メッセージの消失や遅延による再試行回数を表します。 |
| VideoOutOfResources | このカウンタは、帯域幅の不足などが原因で失敗した、設定済みゲートキーパーまたはその代替ゲートキーパーへのビデオストリーム要求の数を表します。 |

Cisco H.323

Cisco H.323 オブジェクトは、登録済みの Cisco H.323 デバイスについての情報を提供します。次の表に、Cisco H.323 デバイス カウンタに関する情報を示します。

表 33 : Cisco H.323

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------------------------|---|
| CallsActive | このカウンタは、設定済みの H.323 デバイス上で現在アクティブ (ストリーミング接続の数、つまり、接続されている音声に存在するコールの数) を表します。 |
| CallsAttempted | このカウンタは、デバイス上で試行されたコールの総数を表したコールの試行と失敗したコールの試行の両方が含まれます。 |
| CallsCompleted | このカウンタは、デバイスから発信され成功したコールの総数を表します。 |
| CallsInProgress | このカウンタは、デバイス上で現在進行中のコールの数を表します。 |
| CallsRejectedDueToICTCallThrottling | このカウンタは、Cisco Call Manager サービスの開始以降に、トランク (ICT) コール制御のため拒否されたコールの総数を表します。140 コールのしきい値制限に達すると、ICT は新しいコールを開始します。ICT コール制御が発生する原因の 1 つは、ICT ルールがルートループ状態になることです。 |
| VideoCallsActive | このカウンタは、Unified Communications Manager に登録された H.323 トランク上で現在アクティブな (使用中の) ビデオストリーミング接続を持つビデオコールの数、つまり、Unified Communications Manager デオストリーミング接続が実際に存在するコールの数を表します。 |
| VideoCallsCompleted | このカウンタは、Unified Communications Manager に登録された H.323 トランクに対するビデオストリームに実際に接続されたビデオコールの数を表します。この数は、コールが終了したときに増加します。 |

Cisco Hunt Lists

Cisco Hunt Lists オブジェクトは、Cisco Unified Communications Manager の管理で定義されたハントラストについての情報を提供します。次の表には、Cisco Hunt List のカウンタについての情報が含まれます。

表 34 : Cisco Hunt Lists

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------|---|
| CallsAbandoned | このカウンタは、ハントラストを介して発生し、放棄されます。放棄されたコールとは、コールに応答する前に発信されたコールです。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------|---|
| CallsActive | このカウンタは、ハントリストを介して発生し、現在アクティブなコールの数を表示します。アクティブなコールとは、配布された、音声パスが接続されているコールを意味します。 |
| CallsBusyAttempts | このカウンタは、回線グループまたはルートグループのいずれか（またはその両方）のすべてのメンバーがビジー状態だったときに、ハントリストを介して試行されたコールの回数を表示します。 |
| CallsInProgress | このカウンタは、ハントリストを介して現在進行中のコールの数を表します。進行中のコールとは、着信呼分配機能によって回線グループまたはルートグループのメンバーへの拡張が試行され、まだ応答されていないコールを意味します。ハントリストメンバーの例としては、回線、端末ポート、トランク デバイス、トランク デバイスのポートやチャネルがあります。 |
| CallsRingNoAnswer | このカウンタは、ハントリストを介したコールのうち、着信側が応答しなかったコールの総数を表示します。 |
| HuntListInService | このカウンタは、特定のハントリストが現在イン サービスであることを示します。値 0 は、ハントリストがアウト オブ サービスであることを示します。値 1 は、ハントリストがイン サービスであることを示します。ハントリストがアウト オブ サービスになる理由として、ハントリストの Unified Communications Manager のグループに基づいて、プライマリ Unified Communications Manager で実行されていないか、または、ハントリストが Cisco Unified Communications Manager の管理で無効化されている場合があります。 |
| MembersAvailable | このカウンタは、イン サービス ハント リストに属している回線グループまたはルート グループの、使用可能なメンバーまたはアイドル メンバーの数を表示します。使用可能なメンバーは、現在コールを処理しており、コールを受け入れます。アイドルメンバーは、コールを処理せずにコールを受け入れます。ハントリストメンバーは、ルートグループ、回線グループ、またはそれらの組み合わせで構成することができます。回線グループメンバーとは、IP Phone またはボイスメール ポートの回線のデバイス ID を意味します。ルートグループのメンバーとは、ステーション ID、トランク ゲートウェイ、またはトランク ゲートウェイのポート ID を意味します。 |

Cisco HW Conference Bridge Device

Cisco HW Conference Bridge Device オブジェクトは、登録済みの Cisco ハードウェア会議ブリッジデバイスについての情報を提供します。次の表には、Cisco ハードウェア会議ブリッジデバイス カウンタについての情報が含まれます。

表 35: Cisco HW Conference Bridge Device

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-----------------------|---|
| HWConferenceActive | このカウンタは、ハードウェア会議ブリッジデバイス上で現在（使用中の）会議の数を表します。1つのリソースは1つの会議を表します。 |
| HWConferenceCompleted | このカウンタは、ハードウェア会議デバイス上に割り当てられた会議の総数を表します。会議は、最初のコールがブリッジに接続開始します。会議は、最後のコールがブリッジから接続解除完了します。 |
| OutOfResources | このカウンタは、ハードウェア会議デバイスから会議リソースをリクエストして、すべてのリソースがすでに使用中であるなどの理由で失敗した会議の数を表します。 |
| ResourceActive | このカウンタは、このハードウェア会議デバイスに対して現在アクティブな（使用中の）リソースの数を表します。1つのリソースは1つの会議を表します。 |
| ResourceAvailable | このカウンタは、非アクティブで、ハードウェア会議デバイスで利用可能なリソースの総数を表します。1つのリソースは1つの会議を表します。 |
| ResourceTotal | このカウンタは、ハードウェア会議ブリッジデバイスで利用可能な総リソースの数を表します。このカウンタは、ResourceAvailable カウンタと ResourceActive カウンタを合計した数になります。1つのリソースは1つの会議を表します。 |

Cisco IP マネージャーアシスタント

Cisco IP Manager Assistant (IPMA) Service オブジェクトは、Cisco Unified Communications Manager Assistant アプリケーションに関する情報を提供します。次の表には、Cisco IPMA カウンタについての情報が含まれます。

表 36: Cisco IP Manager Assistant サービス

| カウンタ | カウンタの説明 |
|------------------|--|
| AssistantsActive | このカウンタは、現在アクティブなアシスタント コンソールを管理しているアシスタントの数を表します。アクティブなアシスタント コンソールは、アシスタント Console デスクトップアプリケーションからログインする場合 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-----------------|---|
| LinesOpen | このカウンタは、Cisco Unified Communications Manager Assistant ションによってオープンされた電話回線の数を表します。オープンしている回線は、アプリケーションが CTI からの回線制御を前提としている場合があります。 |
| ManagersActive | このカウンタは、Cisco IPMA がサービスを提供しているマネージャの数を表します。 |
| SessionsCurrent | このカウンタは、現在 Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用しているマネージャとアシスタントの総数を表します。マネージャと各アシスタントは、アクティブセッションを構成し、1組のマネージャとアシスタントに対して、このカウンタはセッションを反映します。 |

Cisco LBM service

Cisco LBM service オブジェクトは、Unified Communications Manager で定義されている LBM サービスについての情報を提供します。次の表には、Cisco LBM service カウンタについての情報が含まれます。

表 37: Cisco LBM service

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------------------|---|
| Is Hub[1] or Spoke[0] | このカウンタは、ロケーション帯域幅マネージャの状態を表します。スポーク状態では 0、ハブ状態は 1 の値で表されます。 |
| LocalHubNodesConnected | このカウンタは、接続されたローカルハブノードの数を表します。 |
| LocalSpokesNodesConnected | このカウンタは、接続されたローカルスポークノードの数を表します。 |
| RemoteHubNodesConnectedInsecure | このカウンタは、接続されたセキュアでないリモートハブノードの数を表します。 |
| RemoteHubNodesConnectedSecure | このカウンタは、接続されたセキュアなリモートハブノードの数を表します。 |

Cisco Lines

Cisco Lines オブジェクトは、ダイヤルしてデバイスに接続できる Cisco 回線（ディレクトリ番号）の数を表します。回線は、エンドポイントで終了するすべてのディレクトリ番号を表します。割り当てられたディレクトリ番号は、回線を識別します。Cisco Lines オブジェクトには、デジタルアクセスゲートウェイまたはアナログアクセスゲートウェイのパターンなどのワイルドカードを含むディレクトリ番号は含まれていません。

Active カウンタは、回線の状態についてアクティブまたは非アクティブのいずれかを表します。0は、回線が使用されていないことを示します。数値が0より大きい場合、回線がアクティブであることを示します。数値はその回線で現在進行中のコールの数を表します。複数のコールがアクティブである場合、明確な保留状態（ユーザ保留）、またはネットワーク保留操作（たとえば、転送が進行中のため転送保留にされている状態）のいずれかの理由で、コールが保留状態であることを示します。これは、任意のデバイスに割り当てられるすべてのディレクトリ番号に適用されます。

Cisco Locations LBM

Cisco Location LBM オブジェクトは、Unified Communications Manager のクラスタで定義されているロケーションについての情報を提供します。次の表には、Cisco ロケーション カウンタについての情報が含まれます。

表 38 : Cisco Locations LBM

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------------------------|--|
| BandwidthAvailable | このカウンタは、1つのロケーション、またはロケーション間のリンクでの現在の音声帯域幅を示し、使用可能な音声帯域幅がないことを示します。 |
| BandwidthMaximum | このカウンタは、1つのロケーション、またはロケーション間のリンクで、現在使用可能な最大音声帯域幅を示します。値0は、使用可能な音声帯域幅がないことを示します。 |
| BandwidthOversubscription | このカウンタは、1つのロケーション、またはロケーション間のリンクで、現在オーバーサブスクリプションが発生している音声帯域幅を示します。値が0の場合は、オーバーサブスクリプションが発生していません。 |
| CallsInProgress | このカウンタは、特定の Cisco Location Bandwidth オブジェクトの現在進行中のコールの数を表します。 |
| ImmersiveOutOfResources | これは、イマーシブなビデオ帯域幅不足のため、1つのロケーション、または2つのロケーションに関連付けられている、イマーシブビデオ帯域幅予約の総数を表します。 |
| ImmersiveVideoBandwidthAvailable | このカウンタは、1つのロケーション、またはロケーション間のリンクで、ビデオに現在使用可能な帯域幅を示します。値0は、ビデオに割り当てられていないことを示します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---|--|
| ImmersiveVideoBandwidthMaximum | このカウンタは、1つのロケーション、または2つのロケーション間のリンクで、ビデオに現在使用可能な帯域幅を示します。値0は、使用可能な帯域幅がないことを示します。 |
| ImmersiveVideoBandwidthOversubscription | このカウンタは、1つのロケーション、または2つのロケーション間のリンクで、現在オーバーサブスクリプションが発生しているイマーシブビデオ帯域幅を示します。場合、帯域幅のオーバーサブスクリプションが発生することを示します。 |
| OutOfResources | このカウンタは、音声帯域幅不足のため障害が発生している1つの指定ロケーション、または2つのロケーション間のリンクに関連付けられている、音声コール帯域幅予約不足を示します。 |
| VideoBandwidthAvailable | このカウンタは、1つのロケーション、または2つのロケーション間のリンクで、ビデオに現在使用可能な帯域幅を示します。値0は、使用可能な帯域幅がないことを示します。 |
| VideoBandwidthMaximum | このカウンタは、1つのロケーション、または2つのロケーション間のリンクで、ビデオに使用可能な最大帯域幅を示します。値0は、ビデオに割り当てられている帯域幅を示します。 |
| VideoOversubscription | このカウンタは、1つのロケーション、または2つのロケーション間のリンクで、現在オーバーサブスクリプションが発生しているビデオ帯域幅容量を示します。値が0の場合、帯域幅のオーバーサブスクリプションが発生していることを示します。 |
| VideoOutOfResources | このカウンタは、ビデオ帯域幅不足のため障害が発生している1つの指定ロケーション、または2つのロケーション間のリンクに関連付けられている、ビデオコール帯域幅予約不足を表します。 |

Cisco Locations RSVP

Cisco Location RSVP オブジェクトは、Unified Communications Manager で定義されている RSVP についての情報を提供します。次の表に、Cisco location RSVP カウンタに関する情報を示します。

表 39 : Cisco Locations RSVP

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------------------------|---------------------------------------|
| RSVP AudioReservationErrorCounts | このカウンタは、オーディオストリーム内の RSVP 予約エラーです。 |
| RSVP MandatoryConnectionsInProgress | このカウンタは、必須の RSVP を使用した進行中の接続の数です。 |
| RSVP OptionalConnectionsInProgress | このカウンタは、オプションの RSVP を使用した進行中の接続の数です。 |
| RSVP TotalCallsFailed | このカウンタは、RSVP 予約の失敗によって失敗した全コールの数です。 |
| RSVP VideoCallsFailed | このカウンタは、RSVP 予約の失敗によって失敗したビデオコールの数です。 |
| RSVP VideoReservationErrorCounts | このカウンタは、ビデオストリーム内の RSVP 予約エラーの数です。 |

Cisco Media Streaming Application

Cisco IP Voice Media Streaming Application オブジェクトは、登録済みの MTP、MOH サーバ、会議ブリッジサーバ、およびアナウンサーについての情報を提供します。次の表に、Cisco IP Voice Media Streaming Application カウンタに関する情報を示します。



- (注) デバイス プールに関連付けられている Unified Communications Manager グループ内の Unified Communications Manager ごとに1つのオブジェクトが存在します。アナウンサー デバイスは、そのデバイス プールを使用するように設定されています。

表 40 : Cisco Media Streaming Application

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--------------------|---|
| ANNConnectionsLost | このカウンタは、Cisco IP Voice Media Streaming Application の登録中に Unified Communications Manager 接続が失われた回数です。 |
| ANNConnectionState | このカウンタは、アナウンサーに関連付けられている各 Unified Communications Manager について、Unified Communications Manager の登録状態を表します。0 は Unified Communications Manager に登録されていないことを示します。1 は、プライマリ Unified Communications Manager に登録されていることを示します。2 は、セカンダリ Unified Communications Manager に登録されていることを示します (Unified Communications Manager には接続されていません) Unified Communications Manager 接続が失敗するまでは登録されています。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------------|--|
| ANNConnectionsTotal | このカウンタは、Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスの起動時に開始されたアナンシエータ インスタンスの総数を表します。 |
| ANNInstancesActive | このカウンタは、アクティブに再生している（現在使用中の）アナンシエータ インスタンスの数を表します。 |
| ANNStreamsActive | このカウンタは、すべての接続に対して現在アクティブなシンプレックス（単方向）ストリームの総数を表します。各ストリームの方向は、ストリームの方向としてカウントされます。1つの内部ストリームがオーディオを提供し、別の出力ストリームがエンドポイントデバイスへのストリームを提供します。 |
| ANNStreamsAvailable | このカウンタは、アナンシエータデバイスに対して割り当てられた最大可能なストリームの残りの数を表します。このカウンタは、設定された最大接続の数（Cisco IP Voice Media Streaming App サービス パラメータ Annunciator、Call Count に対して定義されている）の2倍の数で、アクティブなストリームが開始されるたびに1つずつ減少します。 |
| ANNStreamsTotal | このカウンタは、Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスの起動時にアナンシエータ デバイスに接続されたシンプレックス（単方向）ストリームの総数を表します。 |
| CFBConferencesActive | このカウンタは、アクティブな（現在使用中の）会議の数を表します。 |
| CFBConferencesTotal | このカウンタは、Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスの起動時に開始された会議の総数を表します。 |
| CFBConnectionsLost | このカウンタは、Cisco IP Voice Media Streaming Application の最後の接続時に Unified Communications Manager 接続が失われた回数の合計を表します。 |
| CFBConnectionState | このカウンタは、SW Conference Bridge に関連付けられている各ストリームの Unified Communications Manager への登録状態を表します。0は Unified Communications Manager への登録が失敗したことを示します。1は、プライマリ Unified Communications Manager への登録を示します。2は、セカンダリ Unified Communications Manager への登録を示します（Unified Communications Manager には接続されていますが、セカンダリ Unified Communications Manager 接続が失敗するまでは登録されません）。 |
| CFBStreamsActive | このカウンタは、すべての会議に対して現在アクティブなシンプレックス（単方向）ストリームの総数を表します。各ストリームの方向は、ストリームの方向としてカウントされます。三者間会議では、アクティブなストリームの数は6になります。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-----------------------|--|
| CFBStreamsAvailable | このカウンタは、会議ブリッジに対して割り当てられているルームの残りの数を表します。このカウンタは、設定されて（Cisco IP Voice Media Streaming App サービス パラメータで、Bridge、Call Count に対して定義されている）の 2 倍の数で開ティブなストリームが開始されるたびに 1 つずつ減少します。 |
| CFBStreamsTotal | このカウンタは、Cisco IP Voice Media Streaming Application サ降に会議ブリッジに接続されたシンプレックス（単方向）スを表します。 |
| MOHAudioSourcesActive | <p>このカウンタは、この MOH サーバ用のアクティブな（現在オーディオソースの数）を表します。受信しているデバイスが存在これらのオーディオソースの一部はアクティブなストリーミンデータではない可能性があります。マルチキャスト オーディオにストリーミング オーディオとなるため、例外となります。</p> <p>オーディオソースが使用中の場合、受信側が切断された後では設定済みの MOH コーデックごとに常に 1 つの入力します。ユニキャストストリームでは、デバイスが接続して信するまでは、受信するオーディオデータがなく、ストリー態になる場合があります。各 MOH マルチキャストリソースとコーデックの組み合わせごとに 1 つのストリームをたとえば、マルチキャスト、G.711 mu-law、ワイドバンドコーデフォルトオーディオソースを設定した場合、2 つのストリートオーディオソースと G.711 mu-law、およびデフォルトオとワイドバンド) が使用されます。</p> |
| MOHConnectionsLost | このカウンタは、Cisco IP Voice Media Streaming Application の降に Unified Communications Manager 接続が失われた回数合 |
| MOHConnectionState | このカウンタは、MOH に関連付けられている各 Unified Com Manager について、Unified Communications Manager への現在します。0 は Unified Communications Manager への登録がないす。1 は、プライマリ Unified Communications Manager への登。2 は、セカンダリ Unified Communications Manager への接続を示 Communications Manager には接続されていますが、プライマ Communications Manager 接続が失敗するまでは登録されませ |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------|--|
| MOHStreamsActive | <p>このカウンタは、すべての接続に対してアクティブな（現在使用）プレックス（単方向）ストリームの総数を表します。ユニキャストソースを受信しているデバイスごとに1つの出力ストリームがアクティブオーディオソースごとに1つの入力ストリームが存在し、これは MOH コーデックの数で乗算されます。</p> <p>以前に使用されたことがあるオーディオソースには、設定済み MOH コーデックごとに必ず1つの入力ストリームが存在します。ユニキャストストリームでは、デバイスが接続してストリームを受信するまでは、オーディオデータがなく、ストリームが一時停止状態になる場合があります。各 MOH マルチキャストソースは、オーディオソースとユニキャストソースを組み合わせごとに1つのストリームを使用します。たとえば、マルチキャスト、G.711 mu-law、ワイドバンドコーデックに対してデフォルトのオーディオソースを設定した場合、2つのストリーム（デフォルトオーディオソースと G.711 mu-law、およびデフォルトオーディオソースとワイドバンドコーデック）が存在し、これは MOH コーデックの数で乗算されます。</p> |
| MOHStreamsAvailable | <p>このカウンタは、MOH デバイスに対して割り当てられている使用可能なストリームの残りの数を表します。このカウンタは、設定済み半ダブキャスト接続の数に 408 を加えた数で開始され、アクティブストリームが開始されるたびに1つずつ減少します。カウンタは、各マルチキャストソースに対して2つずつ減少します。値は設定済みの MOH コーデックの数で乗算されます。カウンタは、各ユニキャストオーディオソースに対して1つずつ減少します。値は設定済み MOH コーデックの数で乗算されます。</p> |
| MOHStreamsTotal | <p>このカウンタは、Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスタブに MOH サーバに接続されたシンプレックス（単方向）ストリームの総数を表します。</p> |
| MTPConnectionsLost | <p>このカウンタは、Cisco IP Media Streaming Application の最後の再試行後に Unified Communications Manager 接続が失われた回数の合計を表します。</p> |
| MTPConnectionState | <p>このカウンタは、MTPに関連付けられている各 Unified Communications Manager について、Unified Communications Manager への現在の登録状態を示します。0 は Unified Communications Manager への登録がないことを示します。1 はプライマリ Unified Communications Manager への登録を示します。2 はセカンダリ Unified Communications Manager への接続を示します（Unified Communications Manager には接続されていますが、プライマリ Unified Communications Manager 接続が失敗するまでは登録されません）。</p> |
| MTPConnectionsTotal | <p>このカウンタは、Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスタブに開始された MTP インスタンスの総数を表します。</p> |
| MTPInstancesActive | <p>このカウンタは、アクティブな（現在使用中の）MTP インスタンスの総数を表します。</p> |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------|---|
| MTPStreamsActive | このカウンタは、すべての接続に対して現在アクティブなシ (単方向) ストリームの総数を表します。各ストリームの方 トリームとしてカウントされます。 |
| MTPStreamsAvailable | このカウンタは、MTP デバイスに対して割り当てられている リームの残りの数を表します。このカウンタは、設定されて (Cisco IP Voice Media Streaming App サービスパラメータで、M に対して定義されている) の2倍の数で開始され、アクティ が開始されるたびに1つずつ減少します。 |
| MTPStreamsTotal | このカウンタは、Cisco IP Voice Media Streaming Application サ 降に MTP デバイスに接続されたシンプレックス (単方向) ス 数を表します。 |
| IVRInstancesActive | これは、現在アクティブな自動音声応答の数を表します。 |
| Ivrstreamactive | このカウンタは、すべての接続に対して現在アクティブなシ (単方向) ストリームの総数を表します。各ストリームの方 トリームとしてカウントされます。1つの内部ストリームが を提供し、別の出力ストリームがエンドポイントデバイスへ ます。 |
| Ivrstreamavailable | このカウンタは、IVR デバイスに対して割り当てられている リームの残りの数を表します。このカウンタは、設定されて (Cisco IP Voice Media Streaming App サービスパラメータで、 に対して定義されている) の3倍の数で開始され、アクティ が開始されるたびに1つずつ減少します。 |
| IVRConnectionsTotal | このカウンタは、Cisco IP Voice Media Streaming Application サ 降に開始された IVR インスタンスの総数を表します。 |
| IVRStreamsTotal | このカウンタは、Cisco IP Voice Media Streaming Application サ 降に IVR デバイスに接続されたシンプレックス (単方向) ス を表します。 |
| IVRConnectionsLost | このカウンタは、Cisco IP Voice Media Streaming Application の 降に Unified Communications Manager 接続が失われた回数 の合計を表します。 |
| IVRErrors | このカウンタは、Cisco IP Voice Media Streaming Application の 降に IVR が再生に失敗した回数の合計を表します。 |

Cisco Messaging Interface

Cisco Messaging Interface オブジェクトは、Cisco Messaging Interface (CMI) サービスについての情報を提供します。次の表には、Cisco Messaging Interface (CMI) カウンタについての情報が含まれます。

表 41: Cisco Messaging Interface

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--------------------------------|--|
| HeartBeat | このカウンタは、CMI サービスのハートビートを表します。このカウンタが増加している場合は、CMI サービスが稼働中であることを示します。カウンタが増加していない場合は、CMI サービスがダウンしていることを示します。 |
| SMDIMessageCountInbound | このカウンタは、CMI サービスの最後の再起動以降に発生したインバウンド SMDI メッセージの数を表します。 |
| SMDIMessageCountInbound24Hour | このカウンタは、最後の 24 時間以内に発生したインバウンド SMDI メッセージの数を表します。 |
| SMDIMessageCountOutbound | このカウンタは、CMI サービスの最後の再起動以降に発生したアウトバウンド SMDI メッセージの数を表します。 |
| SMDIMessageCountOutbound24Hour | このカウンタは、最後の 24 時間以内に発生したアウトバウンド SMDI メッセージの数を表します。 |
| StartTime | このカウンタは、CMI サービスが開始された時間をミリ秒単位で表します。コンピュータ内のリアルタイムクロックは、現在時刻とサービス開始時刻の経過時間をミリ秒単位で示す単なる参照ポイントであり、このカウンタは参照ポイントを提供しません。参照ポイントは、1970 年 1 月 1 日の午前 0 時に指定されています。 |

Cisco MGCP BRI Device

Cisco メディア ゲートウェイ コントロール プロトコル (MGCP) Foreign Exchange Office (FXO) Device オブジェクトは、登録済みの Cisco MGCP BRI デバイスについての情報を提供します。次の表には、Cisco MGCP BRI デバイスカウンタについての情報が含まれます。

表 42: Cisco MGCP BRI Device

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------|---|
| CallsCompleted | このカウンタは、この MGCP 基本速度インターフェイス (BRI) から発信され成功したコールの総数を表します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------------|--|
| Channel 1 Status | このカウンタは、MGCP BRI デバイスに関連付けられているチャンネルの状態を表します。次の値が使用されます。0 (Unknown) は、チャンネルの状態を判別できなかったことを示します。1 (Out of service) は、チャンネルが使用不可であることを示します。2 (Idle) は、このチャンネルにアクティブなコールがなく、使用可能な状態であることを示します。3 (In use) は、このチャンネルにアクティブ コールが存在することを示します。4 (Reserved) は、このチャンネルが D チャンネルとして、または D チャンネルとして使用されるように予約されていることを示します。 |
| Channel 2 Status | このカウンタは、MGCP BRI デバイスに関連付けられているチャンネルの状態を表します。次の値が使用されます。0 (Unknown) は、チャンネルの状態を判別できなかったことを示します。1 (Out of service) は、チャンネルが使用不可であることを示します。2 (Idle) は、このチャンネルにアクティブなコールがなく、使用可能な状態であることを示します。3 (In use) は、このチャンネルにアクティブ コールが存在することを示します。4 (Reserved) は、このチャンネルが D チャンネルとして、または D チャンネルとして使用されるように予約されていることを示します。 |
| DatalinkInService | このカウンタは、対応するデジタルアクセス ゲートウェイ上のデータリンク (D チャンネル) の状態を表します。この値は、データリンクサービス (DLS) の場合は 1 に設定され、データリンクがダウンしている場合は 0 に設定されます。 |
| OutboundBusyAttempts | このカウンタは、使用可能な音声チャンネルがない場合に、MGCP FXO デバイスを通じてコールが試行された回数の合計を表します。 |

Cisco MGCP FXO Device

Cisco メディア ゲートウェイ コントロール プロトコル (MGCP) Foreign Exchange Office (FXO) Device オブジェクトは、登録済みの Cisco MGCP FXO デバイスについての情報を提供します。次の表には、Cisco MGCP FXO デバイスカウンタについての情報が含まれます。

表 43: Cisco MGCP FXO Device

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------------|--|
| CallsCompleted | このカウンタは、MGCP FXO デバイス上のポートから発信されたコールの総数を表します。 |
| OutboundBusyAttempts | このカウンタは、使用可能な音声チャンネルがない場合に、このデバイス上のポートを介してコールが試行された回数の合計を表します。 |
| PortStatus | このカウンタは、この MGCP FXO デバイスに関連付けられているポートの状態を表します。 |

Cisco MGCP FXS Device

Cisco MGCP Foreign Exchange Station (FXS) Device オブジェクトは、登録済みの Cisco MGCP FXS デバイスについての情報を提供します。このオブジェクトのインスタンスは、Cisco Catalyst 6000 24 port FXS Analog Interface Module ゲートウェイ上の各ポートに対して1つずつ作成されます。たとえば、完全に設定された Catalyst 6000 Analog Interface Module の場合、このオブジェクトの個々の24のインスタンスが表現されます。次の表には、CiscoMGCPFXS デバイスカウンタについての情報が含まれます。

表 44: Cisco MGCP FXS Device

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------------|---|
| CallsCompleted | このカウンタは、MGCPFXS デバイス上のこのポートから発信されたコールの総数を表します。 |
| OutboundBusyAttempts | このカウンタは、使用可能な音声チャンネルがない場合に、このMGCPFXS デバイス上のポートを介してコールが試行された回数合計を表します。 |
| PortStatus | このカウンタは、MGCP FXS デバイスに関連付けられているFXSポートの状態を表します。 |

Cisco MGCP Gateways

Cisco MGCP Gateways オブジェクトは、登録済みの MGCP ゲートウェイについての情報を提供します。次の表に、CiscoMGCP Gateway カウンタに関する情報を示します。

表 45: Cisco MGCP Gateways

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------|--|
| BRChannelsActive | このカウンタは、ゲートウェイのコールで現在アクティブな BRI チャネルの数を表します。 |
| BRISpansInService | このカウンタは、ゲートウェイで現在使用可能な BRI スパンの数を表します。 |
| FXOPortsActive | このカウンタは、ゲートウェイのコールで現在アクティブな FXO ポートの数を表します。 |
| FXOPortsInService | このカウンタは、ゲートウェイで現在使用可能な FXO ポートの数を表します。 |
| FXSPortsActive | このカウンタは、ゲートウェイのコールで現在アクティブな FXS ポートの数を表します。 |
| FXSPortsInService | このカウンタは、ゲートウェイで現在使用可能な FXS ポートの数を表します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------|--|
| PRISpansActive | このカウンタは、ゲートウェイのコールで現在アクティブな PRI スパンの数を表します。 |
| PRISpansInService | このカウンタは、ゲートウェイで現在使用可能な PRI スパンの数を表します。 |
| T1ChannelsActive | このカウンタは、ゲートウェイのコールで現在アクティブな T1 CAS スパンの数を表します。 |
| T1SpansInService | このカウンタは、ゲートウェイで現在使用可能な T1 CAS スパンの数を表します。 |

Cisco MGCP PRI Device

Cisco MGCP Primary Rate Interface (PRI) Device オブジェクトは、登録済みの Cisco MGCP PRI デバイスについての情報を提供します。次の表には、CiscoMGCP PRI デバイスカウンタについての情報が含まれます。

表 46: Cisco MGCP PRI Device

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--|---|
| CallsActive | このカウンタは、この MGCP PRI デバイス上で現在アクティブなコールの数を表します。 |
| CallsCompleted | このカウンタは、この MGCP PRI デバイスから発信され成功したコールの数を表します。 |
| Channel 1 Status ~ Channel 15 Status (連続した番号) | このカウンタは、MGCP PRI デバイスに関連付けられている各チャンネルの状態を表します。次の値が使用されます。0 (Unknown) は、チャンネルの状態を判別できなかったことを示します。1 (Out of service) は、チャンネルが使用不可であることを示します。2 (Idle) は、このチャンネルにアクティブなコールがなく、使用可能な状態であることを示します。3 (Busy) は、このチャンネルにアクティブなコールが存在することを示します。4 (Reserved) は、このチャンネルが D チャンネルとして、または他の用途として使用されるように予約されていることを示します。 |
| Channel 16 Status | このカウンタは、MGCP PRI デバイスに関連付けられている各チャンネルの状態を表します。次の値が使用されます。0 : Unknown、1 : Out of service、2 : Idle、3 : Busy、4 : Reserved (E1 PRI インターフェイス)。このカウンタは、D チャンネルとして使用されるように予約されていることを示します。 |
| Channel 17 Status ~ Channel 31 Status (連続した番号) | このカウンタは、MGCP PRI デバイスに関連付けられている各チャンネルの状態を表します。0 : Unknown、1 : Out of service、2 : Idle、3 : Busy、4 : Reserved |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------------|--|
| DatalinkInService | このカウンタは、対応するデジタルアクセス ゲートウェイ上の D チャネル (D チャネル) の状態を表します。この値は、データリンクがアップ (サービス) の場合は 1 に設定され、データリンクがダウン (サービス) の場合は 0 に設定されます。 |
| OutboundBusyAttempts | このカウンタは、使用可能な音声チャネルがない場合に、MGCP を介してコールが試行された回数の合計を表します。 |

Cisco MGCP T1 CAS デバイス

Cisco MGCP T1 個別線信号方式 (CAS) Device オブジェクトは、登録済みの Cisco MGCP T1 CAS デバイスについての情報を提供します。次の表には、Cisco MGCP T1 CAS デバイスカウンタについての情報が含まれます。

表 47: Cisco MGCP T1 CAS デバイス

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---|--|
| CallsActive | このカウンタは、この MGCP T1 CAS デバイス上で現在アクティブ (中の) コールの数を表します。 |
| CallsCompleted | このカウンタは、この MGCP T1 CAS デバイスから発信され成功の総数を表します。 |
| Channel 1 Status ~ Channel 24 Status (連続した番号) | このカウンタは、MGCP T1 CAS デバイスに関連付けられている B チャネルの状態を表します。次の値が使用されます。0 (Unknown) は、このチャネルの状態を判別できなかったことを示します。1 (Out of Service) は、このチャネルが使用不可であることを示します。2 (Idle) は、このチャネルにはアクティブなコールがなく、使用可能な状態であることを示します。3 (Busy) は、このチャネルにアクティブコールが存在することを示します。4 (Reserved) は、このチャネルが D チャネルとして、または E-Channel として使用されるように予約されていることを示します。 |
| OutboundBusyAttempts | このカウンタは、使用可能な音声チャネルがない場合に、MGCP を介してコールが試行された回数の合計を表します。 |

Cisco Mobility Manager

Cisco Mobility Manager オブジェクトは、登録された Cisco Unified Mobility Manager デバイスに関する情報を提供します。次の表には、Cisco Unified Mobility Manager デバイスカウンタについての情報が含まれます。

表 48 : Cisco Mobility Manager

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--------------------------------|--|
| MobileCallsAnchored | このカウンタは、現在 Unified CM Manager 上で固定されているシングルモード電話機のコールに関連するパスの総数を表します。コールのパスが企業ゲートウェイに入り、モバイルアプリケーションに接続するときに実行されるリダイレクトアプリケーションは、このアプリケーションを使用してコールを企業ネットワークに返送します。たとえば、デュアルモードのコールの場合、このカウンタは1つ増加します。つまり、起点のコールで1つ増加し、コールが完了したときに減少します。 |
| MobilityHandinsAborted | このカウンタは、中断された hand-in 操作の総数を表します。 |
| MobileHandinsCompleted | このカウンタは、デュアルモードで完了した hand-in 操作の総数を表します。これは、コールが企業ネットワーク内から無線ネットワークに移動し、電話機が WAN から WLAN に完了します。 |
| MobilityHandinsFailed | このカウンタは、失敗した hand-in 操作の総数を表します。これは、ワイヤードネットワークから無線ネットワークに移動したモバイル デバイス上のコールが完了しなかったことを示します。 |
| MobilityHandoutsAborted | このカウンタは、中断された hand-out 操作の総数を表します。 |
| MobileHandoutsCompleted | このカウンタは、完了した hand-out 操作の総数を表します。これは、WLAN ネットワークからセルラーネットワークに移動したモバイル デバイス上のコールが完了したことを示します。hand-out 操作は、接続されたときに完了します。 |
| MobileHandoutsFailed | このカウンタは、失敗した hand-out 操作の総数を表します。これは、ワイヤードネットワークから無線ネットワークに移動したモバイル デバイス上のコールが完了しなかったことを示します。 |
| MobilityFollowMeCallsAttempted | このカウンタは、試行された follow-me コール操作の総数を表します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--|--|
| MobilityFollowMeCallsIgnoredDueToAnswerTooSoon | このカウンタは、AnswerTooSoon タイムアウトになる前に無視された follow-me コールを表します。 |
| MobilityIVRCallsAttempted | このカウンタは、試行された IVR コールを表します。 |
| MobilityIVRCallsFailed | このカウンタは、失敗した IVR コールを表します。 |
| MobilityIVRCallsSucceeded | このカウンタは、成功した IVR コールを表します。 |
| MobilitySCCPDualModeRegistered | このカウンタは、登録されているデュアルモード SCCP デバイスの総数を表します。 |
| MobilitySIPDualModeRegistered | このカウンタは、登録されているデュアルモード SIP デバイスの総数を表します。 |

Cisco Music On Hold (MoH) Device

Cisco Music On Hold (MoH) Device オブジェクトは、登録済みの Cisco MOH デバイスについての情報を提供します。次の表には、CiscoMOH デバイスカウンタについての情報が含まれます。

表 49: Cisco MOH Device

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------------------|---|
| MOHHighestActiveResources | このカウンタは、MOH サーバに対して同時にアクティブになる最大数を表します。この数には、マルチキャスト接続とユニキャスト接続の両方が含まれています。 |
| MOHMulticastResourceActive | このカウンタは、MOH サーバから提供されるマルチキャストアクティブなマルチキャスト接続の数を表します。 各 MOH マルチキャストリソースは、オーディオソースとコーデックを組み合わせごとに 1 つのストリームを使用します。たとえば、マルチキャスト G.711 mu-law、ワイドバンドコーデックに対してデフォルトオーディオソースを設定した場合、2 つのストリーム (デフォルトオーディオソースとワイドバンド) を使用します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------------------|--|
| MOHMulticastResourceAvailable | このカウンタは、MOH サーバから提供される、非アクティブな MOH サーバで使用可能なマルチキャスト アドレスへの、マルチキャスト接続の数を表します。 各 MOH マルチキャスト リソースは、オーディオソースとコーデックの組み合わせごとに 1 つのストリームを使用します。たとえば、マルチキャスト G.711 mu-law、ワイドバンドコーデックに対してデフォルトのストリームを設定した場合、2 つのストリーム（デフォルトオーディオソースと G.711 mu-law、およびデフォルトオーディオソースとワイドバンドコーデック）を使用します。 |
| MOHOutOfResources | このカウンタは、Unified Communications Manager に登録された MOH サーバ上で使用可能なすべてのリソースがすでにアクティブな MOH 接続の場合に、Media Resource Manager が MOH リソースの割り当て不足の合計を表します。 |
| MOHTotalMulticastResources | このカウンタは、MOH サーバから提供されるマルチキャスト アドレスとして許可されている、マルチキャスト MOH 接続の総数を表します。 各 MOH マルチキャスト リソースは、オーディオソースとコーデックの組み合わせごとに 1 つのストリームを使用します。たとえば、マルチキャスト G.711 mu-law、ワイドバンドコーデックに対してデフォルトのストリームを設定した場合、2 つのストリーム（デフォルトオーディオソースと G.711 mu-law、およびデフォルトオーディオソースとワイドバンドコーデック）を使用します。 |
| MOHTotalUnicastResources | このカウンタは、MOH サーバによって許可されているユニキャスト接続の総数を表します。 各 MOH ユニキャスト リソースは、1 つのストリームを使用します。 |
| MOHUnicastResourceActive | このカウンタは、MOH サーバへのアクティブなユニキャスト接続の数を表します。 各 MOH ユニキャスト リソースは、1 つのストリームを使用します。 |
| MOHUnicastResourceAvailable | このカウンタは、非アクティブで、MOH サーバで現在も使用可能なユニキャスト MOH 接続の数を表します。 各 MOH ユニキャスト リソースは、1 つのストリームを使用します。 |

Cisco MTP Device

Cisco Media Termination Point (MTP) Device オブジェクトは、登録済みの Cisco MTP デバイスについての情報を提供します。次の表には、Cisco MTP デバイスカウンタについての情報が含まれます。

表 50: Cisco MTP Device

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------|---|
| OutOfResources | このカウンタは、MTP デバイスから MTP リソースの割り当てをすべてのリソースがすでに使用中であるなどの理由で失敗した回を表します。 |
| ResourceActive | このカウンタは、MTP デバイスに対して現在使用中の（アクティブ）リソースの数を表します。 各 MTP リソースは、2つのストリームを使用します。使用中の MTP リソースは、2つのストリームを使用するために割り当てられている 1つの MTP リソースを消費します。 |
| ResourceAvailable | このカウンタは、非アクティブで、MTP デバイスに対して現在も利用可能な MTP リソースの総数を表します。 各 MTP リソースは、2つのストリームを使用します。使用中の MTP リソースは、2つのストリームを使用するために割り当てられている 1つの MTP リソースを消費します。 |
| ResourceTotal | このカウンタは、MTP デバイスが提供する MTP リソースの総数を表します。このカウンタは、ResourceAvailable カウンタと ResourceActive カウンタの合計した数になります。 |

Cisco Phones

Cisco Phones オブジェクトは、ハードウェアベースのデバイスとその他の端末デバイスの両方を含む、登録されている Cisco Unified IP Phone の数についての情報を提供します。

CallsAttempted カウンタは、この電話機から試行されたコールの数を表します。この数は、電話機がオフフックおよびオンフックになるたびに増加します。

Cisco Presence の機能

Cisco Presence オブジェクトは、短縮ダイヤルやコールリストのビジーランプフィールド（BLF）の登録に関連する統計など、プレゼンス登録についての情報を提供します。次の表には、CiscoPresence 機能についての情報が含まれます。

表 51: Cisco Presence

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------------------------|--|
| ActiveCallListAndTrunkSubscriptions | このカウンタは、コールリスト機能のアクティブなプレゼンスサブスクリプションを介したプレゼンス登録を表します。 |
| ActiveSubscriptions | このカウンタは、すべてのアクティブな着信と発信のプレゼンス登録を表します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--|---|
| CallListAndTrunkSubscriptionsThrottled | このカウンタは、コールリスト機能の制御のために拒否されたプレゼンス登録とトランク側のプレゼンス登録の累計数 |
| IncomingLineSideSubscriptions | このカウンタは、回線側で受信されたプレゼンス登録の累計 |
| IncomingTrunkSideSubscriptions | このカウンタは、トランク側で受信されたプレゼンス登録の |
| OutgoingTrunkSideSubscriptions | このカウンタは、トランク側で送信されたプレゼンス登録の |

Cisco QSIG Feature

Cisco QSIG Feature オブジェクトは、コール転送やパス置換など、さまざまな QSIG 機能の操作についての情報を提供します。次の表に、Cisco QSIG Feature カウンタに関する情報を示します。

表 52 : Cisco QSIG Feature

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------------------|--|
| CallForwardByRerouteCompleted | このカウンタは、再ルーティングにより自動転送され成功した表します。再ルーティングによる自動転送は、自動転送される、発信元の観点から最適化します（使用中の B チャネルの）。このカウンタは、CiscoCallManager の Call Forward by Reroute サービスパラメータが有効または無効にされたとき、または Cisco CallManager サービスが再起動されたときにリセットされます。 |
| PathReplacementCompleted | このカウンタは、正常に実行されたパス置換の数を表します。ワークにおけるパス置換は、コールに含まれる 2 つのエッジ間のパスを最適化します。このカウンタは、CiscoCallManager の Path Replacement Enabled サービスパラメータが有効または無効にされたとき、または Cisco CallManager サービスが再起動されたときにリセット |

Cisco Signaling Performance

Cisco Signaling Performance オブジェクトは、Unified Communications Manager の転送通信に関するコールシグナリングデータを提供します。次の表に、Cisco Signaling Performance カウンタに関する情報を示します。

表 53: Cisco Signaling Performance

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------|--|
| UDPPacketsThrottled | このカウンタは、1つのIPアドレスから許可されている毎秒あたりのUDPパケット数のしきい値を超過したことによって制御（ドロップ）されたUDPパケットの総数を表します。しきい値は、Cisco Unified Communications Manager Administration の SIP Station UDP Port Throttle Threshold と SIP Station UDP Port Throttle Threshold の各サービスパラメータで設定されます。このカウンタは、Cisco CallManager Service の最後の再起動以降、制御されたUDPパケットを受信するたびに増加します。 |

Cisco SIP

Cisco Session Initiation Protocol (SIP) オブジェクトは、設定済みの SIP デバイスについての情報を提供します。次の表に、CiscoSIP カウンタについての情報を示します。

表 54: Cisco SIP

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------|--|
| CallsActive | このカウンタは、この SIP デバイス上で現在アクティブな（使用中）コールの数を表します。 |
| CallsAttempted | このカウンタは、この SIP デバイス上で試行されたコールの数を表します。成功したコールの試行と失敗したコールの試行の両方が含まれます。 |
| CallsCompleted | このカウンタは、SIP デバイスから実際に接続された（音声パス）コールの数を表します。この数は、コールが終了したときに増加します。 |
| CallsInProgress | このカウンタは、SIP デバイス上で現在進行中の、すべてのアクティブコールを含むコールの数を表します。進行中のすべてのコールが接続されている場合、CallsInProgress の数は CallsActive の数と等しくなります。 |
| VideoCallsActive | このカウンタは、この SIP デバイス上で現在アクティブな（使用中）リーミング ビデオ接続を持つビデオ コール の数を表します。 |
| VideoCallsCompleted | このカウンタは、この SIP デバイスのビデオストリームに実際に接続されたビデオコールの数を表します。この数は、コールが終了すると増加します。 |

Cisco SIP Line Normalization

Cisco SIP line normalization パフォーマンス オブジェクトには、初期化エラー、実行時エラー、スクリプトステータスなどの SIP 回線正規化スクリプトの側面をモニタできるようにするカウンタが含まれています。SIP 回線では、パフォーマンス カウンタは各スクリプトに 1 セットの

み含まれます。これは、2つのエンドポイントが同じスクリプトを共有する場合も同様です。次の表に、Cisco SIP line normalization カウンタに関する情報を示します。

| 表示名 | 説明 |
|--------------------------|--|
| DeviceResetAutomatically | <p>このカウンタは、Unified Communications Manager がデバイス（SIP 電話）を自動的にリセットした回数を表示します。[スクリプト実行エラーの復旧処理（Script Execution Error Recovery Action）] フィールドまたは [システムリソースエラーの復旧処理（System Resource Error Recovery Action）] フィールドで指定された値が [デバイスのリセット（Reset Device）] に設定されている場合にのみ自動リセットが行われます。このカウンタは、エラーが原因で Unified Communications Manager がデバイス（SIP 電話）を自動的にリセットするたびに増加します。スクリプト設定を変更した後にスクリプトがリセットされると、このカウンタは再開されます。</p> |
| ErrorExecution | <p>このカウンタは、スクリプトの実行中に発生した実行エラーの数を表します。実行エラーは、メッセージハンドラの実行中に発生することがあります。実行エラーの原因として考えられるのは、リソースエラーや関数呼び出し内での引数の不一致などの問題です。</p> <p>実行エラーが発生すると、Unified Communications Manager は次の処理を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自動的にメッセージを元の内容に復元してから、追加のエラー処理アクションを適用します。 • カウンタの値を増分します。 • Cisco Unified Communications Manager の管理ページにある [スクリプト実行エラーの復旧処理（Script Execution Error Recovery Action）] フィールドと [システムリソースエラーの復旧処理（System Resource Error Recovery Action）] フィールドの値に基づいて、適切な処理を実行します。 <p>スクリプト内の失敗した行の番号などの詳細については、SIPNormalizationScriptError アラームを確認してください。スクリプトの問題を修正し、必要に応じて修正したスクリプトをアップロードし、スクリプトの設定ページの上にある [リセット（Reset）] ボタンをクリックしてスクリプトをリセットします。カウンタは、スクリプト設定の変更後、スクリプトが最後にリセットされて以降の実行エラーごとに増加します。カウンタを再起動するには、スクリプトの設定変更とスクリプトのリセットの両方を実行する必要があります。</p> <p>スクリプトの問題を修正した後もカウンタが増加し続ける場合は、スクリプトを調べ直してください。</p> |

| 表示名 | 説明 |
|---------------|---|
| ErrorInit | <p>このカウンタは、スクリプトがメモリに正常にロードされたが、Unified Communications Manager で初期設定されません回数スクリプトエラーが発生したことを示します。スクリプトが初期化に失敗する原因として考えられるのは、リソースエラー、関数呼び出し内での引数の不一致などです。</p> <p>スクリプト内の失敗した行の番号などの詳細については、SIPNormalizationScriptError アラームを確認してください。スクリプトの問題を修正し、必要に応じて修正したスクリプトをアップロードし、スクリプトの設定ページの上部にある [リセット (Reset)] ボタンをクリックしてスクリプトをリセットします。スクリプトのインスタンスのカウンタは、初期化エラーが発生するたびに増加します。このカウンタは、スクリプトの設定変更とともに行われた最新のスクリプトリセットからのカウントを提供します。カウンタを再起動するには、スクリプトの設定変更とスクリプトのリセットの両方を実行する必要があります。スクリプトの問題を修正した後でもカウンタが増加し続ける場合は、スクリプトを調べ直してください。初期化中にエラーが発生した場合、Unified Communications Manager は自動的にスクリプトを無効にします。</p> |
| ErrorInternal | <p>このカウンタは、スクリプトの実行中に発生した内部エラーの数を表します。内部エラーが発生することはほとんどありません。このカウンタの値がゼロより大きい場合は、スクリプトの内容または実行に関係のない不具合がシステム内に存在します。SDIトレースを収集し、テクニカルアシスタンスセンター (TAC) に問い合わせてください。</p> |
| ErrorLoad | <p>このカウンタは、スクリプトが Unified Communications Manager のメモリにロードされたときに発生したスクリプトエラーの数を表します。</p> <p>スクリプトはメモリの問題または構文エラーが原因でロードに失敗する可能性があります。構文エラーがある場合は、スクリプトライン番号などの詳細について SIPNormalizationScriptError アラームを確認し、構文エラーについてスクリプトを確認し、必要に応じて修正したスクリプトをアップロードして、スクリプトの設定ページの上部にある [リセット (Reset)] ボタンをクリックしてスクリプトをリセットします。</p> <p>スクリプトのインスタンスのカウンタは、スクリプト設定の変更後、スクリプトが最後にリセットされて以降のロードエラーごとに増加します。カウンタを再起動するには、スクリプトの設定変更とスクリプトのリセットの両方を実行する必要があります。スクリプトの問題を修正した後でもカウンタが増加し続ける場合は、スクリプトを調べ直してください。</p> |

| 表示名 | 説明 |
|---------------|--|
| ErrorResource | <p>このカウンタは、スクリプトでリソース エラーが発生したかどうかを示します。</p> <p>リソースエラーは2種類あります。1つは[メモリしきい値 (Memory Threshold)]フィールドの値を超えることで、もう1つは[Lua 命令しきい値 (Lua Instruction Threshold)]フィールドの値を超えることです。どちらのフィールドも、Cisco Unified Communications Manager の管理ページにある [SIP 正規化スクリプト設定 (SIP Normalization Script Configuration)]ウィンドウに表示されます。いずれかの状況が発生した場合、Unified Communications Manager はすぐにスクリプトを閉じて SIPNormalizationScriptError アラームを発行します。</p> <p>スクリプトのロード中または初期化中にリソース エラーが発生した場合は、スクリプトが無効になります。実行中にリソースエラーが発生した場合は、Cisco Unified Communications Manager の管理ページにある [SIP 正規化スクリプト設定 (SIP Normalization Script Configuration)]ウィンドウの [システム リソース エラーの復旧処理 (System Resource Error Recovery Action)]フィールドで設定した設定済みシステム リソース エラー復旧処理が実行されます。</p> |
| MemoryUsage | <p>このカウンタは、このスクリプトを使用するすべての SIP 電話への蓄積に基づいてこのスクリプトが消費するメモリ量をバイト単位で示します。このカウンタは、スクリプトが使用するメモリの量に合わせて増減します。このカウンタは、スクリプトを閉じるとクリアされ (閉じたスクリプトはメモリを使用しないため)、スクリプトを開くと (有効になると) 再開されます。このカウンタの数値が高い場合は、リソースの問題が発生していることを示します。</p> <p>MemoryUsagePercentage カウンタと SIPNormalizationResourceWarning アラームを確認してください。このアラームは、リソースの使用量が内部的に設定されたしきい値を超えた場合に発生します。</p> |

| 表示名 | 説明 |
|-----------------------|--|
| MemoryUsagePercentage | <p>このカウンタは、このスクリプトを使用するすべての SIP 電話への蓄積に基づいてこのスクリプトが消費するメモリの総量のパーセントを示します。</p> <p>このカウンタの値は、MemoryUsage カウンタの値を [メモリしきい値 (Memory Threshold)] フィールド ([SIP 正規化スクリプト設定 (SIP Normalization Script Configuration)] ウィンドウ内) の値で割り、その結果に 100 を掛けてパーセント値にすることで求められます。</p> <p>このカウンタは、MemoryUsage カウンタに合わせて増減します。このカウンタは、スクリプトを閉じるとクリアされ (閉じたスクリプトはメモリを使用しないため)、スクリプトを開くと (有効になると) 再開されます。このカウンタが内部的に制御されたリソースのしきい値に達すると、SIPNormalizationResourceWarning アラームが発行されます。</p> |
| MessageRollback | <p>このカウンタは、スクリプト実行中のエラーのためにメッセージがスクリプトによって変更されなかった回数を表します。これは、[スクリプト実行エラーの復旧処理 (Script Execution Error Recovery Action)] フィールドの値が [メッセージのロールバックのみ (Message Rollback Only)] に設定されている場合にのみ発生します。</p> <p>実行エラーが発生すると、Unified Communications Manager は自動的にメッセージを元のコンテンツに復元してから、追加のエラー処理アクションを適用します。エラー処理にロールバックしか指定されていない場合、正規化の試行の前に実行されるアクションは元のメッセージへのロールバックだけです。その他の設定可能な [スクリプト実行エラーの復旧処理 (Script Execution Error Recovery Action)] 設定に対しては、メッセージが元のコンテンツにリストアされてから指定されたアクションが発生します。</p> |
| msgAddContentBody | <p>このカウンタは、スクリプトがメッセージにコンテンツ本文を追加した回数を表します。スクリプト内で msg:addContentBody API を使用している場合 (「msg」は使用しているメッセージの変数名とする)、この API が正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。</p> |
| msgAddHeader | <p>このカウンタは、スクリプトがメッセージに SIP ヘッダーを追加した回数を表します。スクリプト内で msg:addHeader API を使用している場合 (「msg」は使用しているメッセージの変数名とする)、この API が正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。</p> |

| 表示名 | 説明 |
|----------------------------|--|
| msgAddHeaderUriParameter | このカウンタは、スクリプトがメッセージの SIP ヘッダーに SIP ヘッダー URI パラメータを追加した回数を表します。スクリプト内で msg:addHeaderUriParameter API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、この API が正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。 |
| msgAddHeaderValueParameter | このカウンタは、スクリプトがメッセージの SIP ヘッダーに SIP ヘッダー値パラメータを追加した回数を表します。スクリプト内で msg:addHeaderValueParameter API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、この API が正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。 |
| msgApplyNumberMask | このカウンタは、スクリプトがメッセージの SIP ヘッダーに番号マスクを適用した回数を表します。スクリプト内で msg:applyNumberMask API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、この API が正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。 |
| msgBlock | このカウンタは、スクリプトがメッセージをブロックした回数を表します。スクリプト内で msg:block API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、この API が正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。 |
| msgConvertDiversiontoHI | このカウンタは、スクリプトがメッセージの Diversion ヘッダーを History-Info ヘッダーに変換した回数を表します。スクリプト内で msg:convertDiversionToHI API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、この API が正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。 |

| 表示名 | 説明 |
|-------------------------|---|
| msgConvertHIToDiversion | このカウンタは、スクリプトがメッセージの History-Info ヘッダーを Diversion ヘッダーに変換した回数を表示します。スクリプト内で msg:convertHIToDiversion API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、このAPIが正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。 |
| msgModifyHeader | このカウンタは、スクリプトがメッセージの SIP ヘッダーを変更した回数を表示します。スクリプト内で msg:modifyHeader API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、このAPIが正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。 |
| msgRemoveContentBody | このカウンタは、スクリプトがメッセージからコンテンツ本文を削除した回数を表示します。スクリプト内で msg:removeContentBody API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、このAPIが正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。 |
| msgRemoveHeader | このカウンタは、スクリプトがメッセージから SIP ヘッダーを削除した回数を表示します。スクリプト内で msg:removeHeader API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、このAPIが正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。 |
| msgRemoveHeaderValue | このカウンタは、スクリプトがメッセージから SIP ヘッダー値を削除した回数を表示します。スクリプト内で msg:removeHeaderValue API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、このAPIが正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。 |
| msgRemoveUnreliableSdp | このカウンタは、スクリプトが信頼できない 18x SIP メッセージから SDP 本文を削除した回数を表示します。スクリプト内で msg:removeUnreliableSDP API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、このAPIが正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。 |

| 表示名 | 説明 |
|-------------------------|---|
| msgSetRequestUri | このカウンタは、スクリプトがメッセージの要求 URI を変更した回数を表します。スクリプト内で <code>msg:setRequestUri</code> API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、この API が正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。 |
| msgSetResponseCode | このカウンタは、スクリプトがメッセージの応答コードまたは応答フレーズを変更した回数を表します。スクリプト内で <code>msg:setResponseCode</code> API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、この API が正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。 |
| msgSetSdp | このカウンタは、スクリプトがメッセージの SDP をセットした回数を表します。スクリプト内で <code>msg:setSdp</code> API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、この API が正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。 |
| ptAddContentBody | このカウンタは、スクリプトが <code>PassThrough</code> オブジェクトにコンテンツ本文を追加した回数を表します。スクリプト内で <code>pt:addContentBody</code> API を使用している場合（「pt」は使用している <code>PassThrough</code> オブジェクトの名前とする）、この API が正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。 |
| ptAddHeader | このカウンタは、スクリプトが <code>PassThrough</code> オブジェクトに SIP ヘッダーを追加した回数を表します。パススルーオブジェクト名がポートを使用する場合、pt「です」:スクリプト、このカウンタに <code>addHeader</code> API はこの API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。 |
| ptAddHeaderUriParameter | このカウンタは、スクリプトが <code>PassThrough</code> オブジェクトに SIP ヘッダー URI パラメータを追加した回数を表します。パススルーオブジェクト名がポートを使用する場合、pt「です」:スクリプト、このカウンタに <code>addHeaderUriParameter</code> API はこの API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。 |

| 表示名 | 説明 |
|---------------------------|---|
| ptAddHeaderValueParameter | このカウンタは、スクリプトが PassThrough オブジェクトに SIP ヘッダー値パラメータを追加した回数を表示します。パススルーオブジェクト名がポートを使用する場合、pt「です」:スクリプト、このカウンタに addHeaderValueParameter API はこの API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。 |
| ptAddRequestUriParameter | このカウンタは、スクリプトが PassThrough オブジェクトに要求 URI パラメータを追加した回数を表示します。パススルーオブジェクト名がポートを使用する場合、pt「です」:スクリプト、このカウンタに addRequestUriParameter API はこの API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。 |
| ScriptActive | このカウンタは、スクリプトが現在アクティブになっている（SIP 電話で実行されている）かどうかを示します。値0は、スクリプトが閉じている（無効である）ことを示します。値1は、スクリプトが起動し、動作可能であることを示します。 実行する必要があるスクリプトを開くには、スクリプトが開かれていない理由を示している可能性があるアラームを確認し、エラーがある場合は修正し、必要に応じて新しいスクリプトをアップロードし、スクリプトをリセットします。 |
| ScriptClosed | このカウンタは、Unified Communications Manager がスクリプトを閉じた回数を表示します。スクリプトは、1 台の SIP 電話で閉じられていても、他の SIP 電話では有効な場合があります。最後にこのスクリプトを使用した SIP 電話が手動でリセットされたか、（エラーにより）自動的にリセットしたか、または削除された場合は、Unified Communications Manager はこのスクリプトを閉じます。このカウンタは、スクリプト設定が変更された後にそのスクリプトがリセットし、Cisco CallManager が再起動したときに再起動します。 |

| 表示名 | 説明 |
|-----------------------------|--|
| ScriptDisabledAutomatically | <p>このカウンタは、システムが自動的にスクリプトを無効にした回数を表示します。スクリプトが無効にされたかどうかは、Cisco Unified Communications Manager の管理ページにある [SIP 正規化スクリプト設定 (SIP Normalization Script Configuration)] ウィンドウの [スクリプト実行エラーの復旧処理 (Script Execution Error Recovery Action)] フィールドと [システムリソースエラーの復旧処理 (System Resource Error Recovery Action)] フィールドに指定した値によって決定されます。これらのフィールドのいずれかが [スクリプトの無効化 (Disable Script)] にセットされている場合、自動スクリプト無効化が発生します。スクリプトは、ロード中および初期化中にスクリプトエラー条件が発生した場合にも無効になります。</p> <p>このカウンタは、スクリプトの設定変更に伴うデバイスの最新の手動リセットからのカウントを提供します (デバイスのリセットだけではカウントはリセットされません。リセットが発生する前に、スクリプトが変更されている必要があります)。このカウンタは、Unified Communications Manager がスクリプトエラーにより自動的にスクリプトを無効にするたびに増加します。</p> <p>このカウンタの数値が予想よりも高い場合は、次の手順を実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SIPNormalizationScriptError アラームと SIPNormalizationAutoResetDisabled アラームを調べます。 • RTMT のリソース関連のアラームとカウンタを調べて、リソースの問題が発生しているかどうかを判断します。 • SDI トレース ファイルに予期しない SIP 正規化イベントがあるかどうかを調べます。 |

| 表示名 | 説明 |
|--------------|---|
| ScriptOpened | <p>このカウンタは、Unified Communications Manager がスクリプトを開こうとした回数を表します。スクリプトを開くには、Unified Communications Manager のメモリにスクリプトをロードし、初期化して、実行可能な状態にする必要があります。このカウンタの値が 1 より大きくなっている場合は、予期しない理由あるいはロード中または初期化中のエラーにより、Unified Communications Manager がこのスクリプトを 2 回以上開こうとしたことを意味します。このエラーは、実行エラー、リソース エラー、あるいはスクリプト内の無効な構文により発生する場合があります。ScriptResetAutomatically カウンタが増加する場合は、このカウンタが 1 より大きいことが予測されます。</p> <p>このカウンタの数値が予想よりも高い場合は、次の手順を実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SIPNormalizationScriptClosed、SIPNormalizationScriptError、SIPNormalizationResourceWarning などのアラームを調べます。 • RTMT のリソース関連のアラームとカウンタを調べて、リソースの問題が発生しているかどうかを判断します。 • SDI トレース ファイルに予期しない SIP 正規化イベントがあるかどうかを調べます。 <p>このカウントは、スクリプトの設定が変更された後にスクリプトがリセットされたとき、および Unified Communications Manager が再起動したときに再開されます。</p> |

| 表示名 | 説明 |
|--------------------------|---|
| ScriptResetAutomatically | <p>このカウンタは、システムが自動的にスクリプトをリセットした回数を表します。スクリプトのリセットは、Cisco Unified Communications Manager の管理ページにある [SIP 正規化スクリプト設定 (SIP Normalization Script Configuration)] ウィンドウの [スクリプト実行エラーの復旧処理 (Script Execution Error Recovery Action)] フィールドと [システムリソースエラーの復旧処理 (System Resource Error Recovery Action)] フィールドに指定した値に基づいて行われます。自動リセットは、これらのフィールドのいずれかの値が [スクリプトのリセット (Reset Script)] の場合に発生する可能性があります。</p> <p>このカウンタは、スクリプト設定の変更後にスクリプトが最後にリセットされた後でそのスクリプトが自動的にリセットされる回数を指定します。このカウンタは、Unified Communications Manager がスクリプトエラーにより自動的にスクリプトをリセットにするたびに増加します。</p> <p>このカウンタの数値が予想よりも高い場合は、次の手順を実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SIPNormalizationScriptError アラームを調べます。 • RTMT のリソース関連のアラームとカウンタを調べて、リソースの問題が発生しているかどうかを判断します。 • SDI トレース ファイルに予期しない SIP 正規化イベントがあるかどうかを調べます。 |
| ScriptResetManually | <p>このカウンタは、Cisco Unified Communications Manager の管理ページまたはその他の方法 (AXL、またはスクリプトを使用した最後の SIP 電話でのリセットなど) によりスクリプトが手動でリセットされた回数を表します。このカウンタは、スクリプトが設定変更によりリセットされると増加します。このカウンタは、スクリプトが削除されたとき、または Cisco CallManager が再起動したときにリセットされます。</p> |

Cisco SIP Normalization

Cisco SIP Normalization パフォーマンス オブジェクトには、初期化エラー、実行時エラー、スクリプトステータスなどの正規化スクリプトの側面をモニタできるようにするカウンタが含まれています。これらのカウンタのインスタンスは、スクリプトに関連付けられている各デバイスによって新規に作成されます。次の表に、CiscoSIPNormalization カウンタに関する情報を示します。

表 55 : Cisco SIP Normalization

| 表示名 | 説明 |
|--------------------------|---|
| DeviceResetAutomatically | <p>このカウンタは、Unified Communications Manager がデバイス (SIP トランク) を自動的にリセットした回数を表示します。デバイスのリセットは、Cisco Unified Communications Manager の管理の [SIP 正規化スクリプト設定 (SIP Normalization Script Configuration)] ウィンドウの [スクリプト実行エラーの復旧処理 (Script Execution Error Recovery Action)] フィールドと [システムリソースエラーの復旧処理 (System Resource Error Recovery Action)] フィールドに指定されたスクリプトに基づいて行われます。スクリプトエラーが原因でデバイス (SIP トランク) がリセットされると、カウンタの値が増加します。このカウンタは、デバイスが手動でリセットするとリセットされます。</p> |
| DeviceResetManually | <p>このカウンタは、Cisco Unified Communications Manager の管理でデバイス (SIP トランク) が手動でリセットされた回数、または AXL などのその他の方法でリセットされた回数を表示します。設定変更が原因でスクリプトに関連したデバイスがリセットされると、カウンタの値が増加します。</p> <p>カウンタは、次の場合に再起動されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SIP トランクが削除された場合。 • トランクのスクリプトが変更または削除された場合。 • Unified Communications Manager が再起動した場合。 |

| 表示名 | 説明 |
|----------------|--|
| ErrorExecution | <p>このカウンタは、スクリプトの実行中に発生した実行エラーの数を表します。実行エラーは、メッセージハンドラの実行中に発生することがあります。エラーの原因として考えられるのは、リソースエラーや関数呼び出し数の不一致などです。</p> <p>実行エラーが発生すると、Unified Communications Manager は次の処置を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動的にメッセージを元の内容に復元してから、追加のエラーアクションを適用します。 カウンタの値を増分します。 Cisco Unified Communications Manager の管理ページにある [スクリプトの実行エラーの復旧処理 (Script Execution Error Recovery Action)] と [システム リソース エラーの復旧処理 (System Resource Error Recovery Action)] フィールドの値に基づいて、適切な処理を実行します。 <p>スクリプト内の失敗した行の番号などの詳細については、SIPNormalizationScriptError アラームを確認してください。スクリプトを修正し、必要に応じて修正したスクリプトをアップロードして、トランクリセットします。このカウンタは、実行エラーが発生するたびに増加します。このカウンタは、スクリプトの設定変更に伴う最新のトランクリセットを提供します (デバイスのリセットだけではカウントはリセットされません。リセットが発生する前に、スクリプトの設定も変更されています)。</p> <p>スクリプトの問題を修正した後もカウンタが増加し続ける場合は、スクリプトを調べ直してください。</p> |
| ErrorInit | <p>このカウンタは、スクリプトがメモリに正常にロードされたものの初期化に失敗した後に発生したスクリプトの実行エラーの数を表します。スクリプトが初期化に失敗する原因として考えられるのは、リソースエラー、関数呼び出し内での引数の不一致、必要なテーブルがなかったことなどです。</p> <p>スクリプト内の失敗した行の番号などの詳細については、SIPNormalizationScriptError アラームを確認してください。スクリプトを修正し、必要に応じて修正したスクリプトをアップロードして、トランクリセットします。このカウンタは、初期化エラーが発生するたびに増加します。このカウンタは、スクリプトの設定変更に伴う最新のトランクリセットを提供します (デバイスのリセットだけではカウントはリセットされません。リセットが発生する前に、スクリプトの設定も変更されています)。</p> <p>スクリプトの問題を修正した後もカウンタが増加し続ける場合は、スクリプトを調べ直してください。初期化中にエラーが発生した場合は、スクリプトを調べ直してください。Unified Communications Manager は自動的にスクリプトを無効にします。</p> |

| 表示名 | 説明 |
|---------------|---|
| ErrorInternal | <p>このカウンタは、スクリプトの実行中に発生した内部エラーの数を表し、内部エラーが発生することはほとんどありません。このカウンタの値が大きすぎる場合は、スクリプトの内容または実行に関係のない不具合が内に存在します。SDI トレースを収集し、テクニカル アシスタンス センター (TAC) に問い合わせてください。</p> |
| ErrorLoad | <p>このカウンタは、スクリプトが Unified Communications Manager のメモリにロードされたときに発生したスクリプトエラーの数を表します。スクリプトに失敗する原因として考えられるのは、メモリの問題または構文エラーです。</p> <p>詳細については、SIPNormalizationScriptError アラームを確認してください。スクリプトに構文エラーがないか確認し、必要に応じて修正したスクリプトをアップロードして、トランクをリセットします。このカウンタは、エラーが発生するたびに増加します。このカウンタは、スクリプトの設定に伴う最新のトランク リセットからのカウントを提供します (デバイスリセットだけではカウントはリセットされません。リセットが発生する前に、スクリプトの設定も変更されている必要があります)。スクリプトの問題を修正しても、カウンタが増加し続ける場合は、スクリプトを調べ直してください。</p> |
| ErrorResource | <p>このカウンタは、スクリプトでリソース エラーが発生したかどうかを表します。</p> <p>リソース エラーは 2 種類あります。1 つは [メモリしきい値 (Memory Threshold)] フィールドの値を超えることで、もう 1 つは [Lua 命令しきい値 (Lua Instruction Threshold)] フィールドの値を超えることです (どちらのフィールドも、Cisco Unified Communications Manager の管理ページにある [SIP 正規化スクリプト設定 (SIP Normalization Script Configuration)] ウィンドウに定義されます)。いずれかの状況が発生した場合、Unified Communications Manager はすぐにスクリプトを閉じて SIPNormalizationScriptError アラームを発行します。</p> <p>スクリプトのロード中または初期化中にリソースエラーが発生した場合、スクリプトが無効になります。実行中にリソースエラーが発生した場合、スクリプトがロードされたシステムリソースエラーの復旧処理が実行されます (この処理は Unified Communications Manager の管理の [SIP 正規化スクリプト設定 (SIP Normalization Script Configuration)] ウィンドウの [システムリソース復旧処理 (System Resource Error Recovery Action)] フィールドの設定で定義されます)。</p> |

| 表示名 | 説明 |
|-----------------------|--|
| MemoryUsage | <p>このカウンターは、スクリプトが使用するメモリの量をバイト単位で表します。このカウンターは、スクリプトが使用するメモリの量に合わせて増減します。このカウンターは、スクリプトが閉じるとクリアされ（閉じたスクリプトはメモリを使用しないため）、スクリプトが開くと（有効になると）再開されます。このカウンターの数値が高い場合は、リソースの問題が発生している可能性があります。MemoryUsagePercentage カウンタと SIPNormalizationResourceWarning アラームを確認してください。SIPNormalizationResourceWarning アラームは、リソースの使用量が内部的に設定されたしきい値を超えた場合に発生します。</p> |
| MemoryUsagePercentage | <p>このカウンターは、スクリプトが使用するメモリの総量のパーセント値を表します。</p> <p>このカウンターの値は、MemoryUsage カウンタの値を（[SIP 正規化スクリプト実行（SIP Normalization Script Configuration）] ウィンドウの）[メモリ使用量（Memory Threshold）] フィールドの値で割り、その結果に 100 を乗じてパーセント値にすることで求められます。</p> <p>このカウンターは、MemoryUsage カウンタに合わせて増減します。このカウンターは、スクリプトが閉じるとクリアされ（閉じたスクリプトはメモリを使用しないため）、スクリプトが開くと（有効になると）再開されます。このカウンターが内部的に制御されたリソースのしきい値に達すると、SIPNormalizationResourceWarning アラームが発行されます。</p> |
| MessageRollback | <p>このカウンターは、システムが自動的にメッセージをロールバックし、元のメッセージに復元します。システムによるメッセージのロールバックには、Cisco Unified Communications Manager Administrationにある [SIP 正規化スクリプト実行（SIP Normalization Script Configuration）] ウィンドウの [スクリプト実行エラー復旧処理（Script Execution Error Recovery Action）] フィールドに指定された処理が使用されます。</p> <p>実行エラーが発生すると、Unified Communications Manager は自動的にメッセージを元の内容に復元してから、追加のエラー処理アクションを適用します。エラー処理にロールバックしか指定されていない場合、正規化の試行されるアクションは元のメッセージへのロールバックだけです。スクリプト実行エラーの復旧処理（Script Execution Error Recovery Action）が指定されている場合は、メッセージのロールバックが必ず最初に実行され、その後、スクリプトの無効化、スクリプトの自動リセット、トランクの解放などの指定された処理が実行されます。</p> |
| msgAddContentBody | <p>このカウンターは、スクリプトがメッセージにコンテンツ本文を追加するたびに増加します。スクリプトで msg:addContentBody API を使用している場合、このカウンターは msg:addContentBody API が正常に実行されるたびに増加します。カウンターが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーが発生している可能性があります。エラーを調べてください。</p> |

| 表示名 | 説明 |
|----------------------------|--|
| msgAddHeader | このカウンタは、スクリプトがメッセージに SIP ヘッダーを追加した回数を表示します。スクリプトで msg:addHeader API を使用している場合、このカウンタは msg:addHeader API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。 |
| msgAddHeaderUriParameter | このカウンタは、スクリプトがメッセージの SIP ヘッダーに SIP ヘッダーパラメータを追加した回数を表示します。スクリプトで msg:addHeaderUriParameter API を使用している場合、このカウンタは msg:addHeaderUriParameter API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。 |
| msgAddHeaderValueParameter | このカウンタは、スクリプトがメッセージの SIP ヘッダーに SIP ヘッダーパラメータを追加した回数を表示します。スクリプトで msg:addHeaderValueParameter API を使用している場合、このカウンタは msg:addHeaderValueParameter API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。 |
| msgApplyNumberMask | このカウンタは、スクリプトがメッセージの SIP ヘッダーに番号マスクを適用した回数を表示します。スクリプトで msg:applyNumberMask API を使用している場合、このカウンタは msg:applyNumberMask API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。 |
| msgBlock | このカウンタは、スクリプトがメッセージをブロックした回数を表示します。スクリプトで msg:block API を使用している場合、このカウンタは msg:block API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。 |
| msgConvertDiversionToHI | このカウンタは、スクリプトがメッセージの Diversion ヘッダーを HI ヘッダーに変換した回数を表示します。スクリプトで msg:convertDiversionToHI API を使用している場合、このカウンタは msg:convertDiversionToHI API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。 |
| msgConvertHIToDiversion | このカウンタは、スクリプトがメッセージの Diversion ヘッダーを HI ヘッダーに変換した回数を表示します。スクリプトで msg:convertDiversionToHI API を使用している場合、このカウンタは msg:convertDiversionToHI API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。 |

| 表示名 | 説明 |
|----------------------|--|
| msgModifyHeader | このカウンタは、スクリプトがメッセージの SIP ヘッダーを変更します。スクリプトで msg:modifyHeader API を使用している場合、このカウンタは msg:modifyHeader API が正常に実行されるたびに増加します。予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。 |
| msgRemoveContentBody | このカウンタは、スクリプトがメッセージからコンテンツ本文を削除します。スクリプトで msg:removeContentBody API を使用している場合、このカウンタは msg:removeContentBody API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。 |
| msgRemoveHeader | このカウンタは、スクリプトがメッセージから SIP ヘッダーを削除します。スクリプトで msg:removeHeader API を使用している場合、このカウンタは msg:removeHeader API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。 |
| msgRemoveHeaderValue | このカウンタは、スクリプトがメッセージから SIP ヘッダー値を削除します。スクリプトで msg:removeHeaderValue API を使用している場合、このカウンタは msg:removeHeaderValue API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。 |
| msgSetRequestUri | このカウンタは、スクリプトがメッセージの要求 URI を変更した回数を表示します。スクリプトで msg:setRequestUri API を使用している場合、このカウンタは msg:setRequestUri API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。 |
| msgSetResponseCode | このカウンタは、スクリプトがメッセージの応答コードや応答フレームを設定した回数を表示します。スクリプトで msg:setResponseCode API を使用している場合、このカウンタは msg:setResponseCode API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。 |
| msgSetSdp | このカウンタは、スクリプトがメッセージの SDP を設定した回数を表示します。スクリプトで msg:setSdp API を使用している場合、このカウンタは msg:setSdp API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。 |

| 表示名 | 説明 |
|---------------------------|--|
| ptAddContentBody | このカウンタは、スクリプトが PassThrough (pt) オブジェクトにコンテンツを追加した回数を表します。スクリプトで pt:addContentBody API を使用している場合、このカウンタは pt:addContentBody API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトログにエラーがないか調べてください。 |
| ptAddHeader | このカウンタは、スクリプトが PassThrough (pt) オブジェクトに SIP-Header を追加した回数を表します。スクリプトで pt:addHeader API を使用している場合、このカウンタは pt:addHeader API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトログにエラーがないか調べてください。 |
| ptAddHeaderUriParameter | このカウンタは、スクリプトが PassThrough (pt) オブジェクトに SIP-Header URI パラメータを追加した回数を表します。スクリプトで pt:addHeaderUriParameter API を使用している場合、このカウンタは pt:addHeaderUriParameter API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトログにエラーがないか調べてください。 |
| ptAddHeaderValueParameter | このカウンタは、スクリプトが PassThrough (pt) オブジェクトに SIP-Header 値パラメータを追加した回数を表します。スクリプトで pt:addHeaderValueParameter API を使用している場合、このカウンタは pt:addHeaderValueParameter API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトログにエラーがないか調べてください。 |
| ptAddRequestUriParameter | このカウンタは、スクリプトが PassThrough (pt) オブジェクトに RequestUri パラメータを追加した回数を表します。スクリプトで pt:addRequestUriParameter API を使用している場合、このカウンタは pt:addRequestUriParameter API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトログにエラーがないか調べてください。 |

| 表示名 | 説明 |
|--------------|--|
| ScriptActive | <p>このカウンタは、スクリプトが現在アクティブになっている（トランクされている）かどうかを示します。カウンタに表示される値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0：スクリプトが閉じている（無効になっている）ことを示します。 • 1：スクリプトが開いていて実行可能な状態になっていることを示します。 <p>このトランクで実行されている必要があるスクリプトを開くには、実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スクリプトが開いていない理由を示している可能性があるアラートを確認します。 2. エラーをすべて修正します。 3. 必要に応じて新しいスクリプトをアップロードします。 4. トランクをリセットします。 |
| ScriptClosed | <p>このカウンタは、Unified Communications Manager がスクリプトを閉じ、アラートを表示します。</p> <p>スクリプトが閉じている場合、このデバイスでスクリプトを使用して Unified CM は、次の基準の 1 台にスクリプトを閉じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • デバイスが手動でリセットされた場合。 • デバイスが（エラーにより）自動的にリセットされた場合。 • デバイスが削除された場合。 <p>このカウンタは、スクリプトの設定が変更された後に SIP トランクがリセットされたとき、および Unified Communications Manager が再起動したときにアラートが生成されます。</p> |

| 表示名 | 説明 |
|-----------------------------|---|
| ScriptDisabledAutomatically | <p>このカウンタは、システムが自動的にスクリプトを無効にした回数です。スクリプトを無効にするかどうかは、Cisco Unified Communications Administrationにある[SIP 正規化スクリプト設定 (SIP Normalization Script Configuration)]ウィンドウの[スクリプト実行エラーの復旧処理 (Script Error Recovery Action)]フィールドと[システム リソース エラーの復旧 (System Resource Error Recovery Action)]フィールドに指定した値に設定されます。スクリプトは、ロード中および初期化中にスクリプトエラーが発生した場合にも無効になります。このカウンタは、スクリプトのロードに伴うデバイスの最新の手動リセットからのカウントを提供します（このリセットだけではカウントはリセットされません。リセットが発生後に、スクリプトが変更されている必要があります）。このカウンタは、Communications Managerがスクリプトエラーにより自動的にスクリプトを無効にするたびに増加します。</p> <p>このカウンタの数値が予想よりも高い場合は、次の操作を実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SIPNormalizationScriptError アラームと SIPNormalizationAutoReset アラームを調べます。 • RTMTのリソース関連のアラームとカウンタを調べて、リソースエラーが発生しているかどうかを判断します。 • SDI トレース ファイルに予期しない SIP 正規化イベントがあるかどうかを調べます。 |

| 表示名 | 説明 |
|--------------------------|--|
| ScriptOpened | <p>このカウンタは、Unified Communications Manager がスクリプトを開く回数を表示します。スクリプトを開くには、Unified Communications Manager がメモリにスクリプトをロードし、初期化して、実行可能な状態にする必要があります。このカウンタの値が1より大きくなっている場合は、予期しない理由でスクリプトが閉じたことにより、Unified Communications Manager がこの SIP トランクのスクリプトを2回以上開こうとしたことを意味します。このエラーは、実行エラー、リソースエラー、あるいはスクリプトの構文により発生する場合があります。DeviceResetManually、DeviceResetAutomatically、または ScriptResetAutomatically のいずれかのカウンタが増加すると、このカウンタは1より大きくなります。DeviceResetManually カウンタは、予期されたイベント（SIP トランクのメンテナンス期間）でスクリプトが閉じたときに増加します。</p> <p>このカウンタの数値が予期しない理由で高くなっている場合は、次の操作を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SIPNormalizationScriptClosed、SIPNormalizationScriptError、SIPNormalizationResourceWarning などのアラームを調べます。 • RTMT のリソース関連のアラームとカウンタを調べて、リソース不足が発生しているかどうかを判断します。 • SDI トレース ファイルに予期しない SIP 正規化イベントがあるかどうかを調べます。 <p>このカウンタは、スクリプトの設定が変更された後に SIP トランクが再起動されたとき、および Unified Communications Manager が再起動されたときに増加します。</p> |
| ScriptResetAutomatically | <p>このカウンタは、システムが自動的にスクリプトをリセットした回数を表示します。スクリプトのリセットは、Cisco Unified Communications Manager の設定にある [SIP 正規化スクリプト設定 (SIP Normalization Script Configuration)] ウィンドウの [スクリプト実行エラーの復旧処理 (Script Execution Error Recovery Action)] フィールドと [システムリソースエラーの復旧処理 (System Resource Error Recovery Action)] フィールドに指定した値に基づいて行われます。このカウンタは、デバイスの最後の手動リセットの後に実行されたスクリプトのリセットの回数を表示します。このカウンタは、Unified Communications Manager がスクリプトエラーにより自動的にスクリプトをリセットするたびに増加します。</p> <p>このカウンタの数値が予想よりも高い場合は、次の操作を実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SIPNormalizationScriptError アラームを調べます。 • RTMT のリソース関連のアラームとカウンタを調べて、リソース不足が発生しているかどうかを判断します。 • SDI トレース ファイルに予期しない SIP 正規化イベントがあるかどうかを調べます。 |

Cisco SIP Stack

Cisco SIP Stack オブジェクトは、Session Initiation Protocol (SIP) デバイス (SIP プロキシ、SIP リダイレクトサーバ、SIP レジストラ、SIP ユーザエージェントなど) で生成または使用される SIP スタックの統計についての情報を提供します。次の表には、Cisco SIP Stack カウンタについての情報が含まれます。

表 56: Cisco SIP Stack

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-----------------------|--|
| AckIns | このカウンタは、SIP デバイスが受信した ACK 要求の総数を表 |
| AckOuts | このカウンタは、SIP デバイスが送信した ACK 要求の総数を表 |
| ByeIns | このカウンタは、SIP デバイスが受信した BYE 要求の総数を表し、この数には再送信が含まれます。 |
| ByeOuts | このカウンタは、SIP デバイスが送信した BYE 要求の総数を表し、この数には再送信が含まれます。 |
| CancelIns | このカウンタは、SIP デバイスが受信した CANCEL 要求の総数を表し、この数には再送信が含まれます。 |
| CancelOuts | このカウンタは、SIP デバイスが送信した CANCEL 要求の総数を表し、この数には再送信が含まれます。 |
| CCBsAllocated | このカウンタは、SIP スタックで現在使用中の呼制御ブロック (CCB) の総数を表します。アクティブな各 SIP ダイアログは、1つの CCB を使用します。 |
| GlobalFailedClassIns | このカウンタは、SIP デバイスが受信した 6xx クラス SIP 応答の総数を表し、この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、クォータ機能を提供する SIP デバイスが失敗応答メッセージを受信したことを示します。一般に、こうした応答は、サーバが Request-URI の特定のインスタンスだけでなく、特定の着信側に関する明確な情報を保持していることを示します。 |
| GlobalFailedClassOuts | このカウンタは、SIP デバイスが送信した 6xx クラス SIP 応答の総数を表し、この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、クォータ機能を提供する SIP デバイスが失敗応答メッセージを受信したことを示します。一般に、こうした応答は、サーバが Request-URI の特定のインスタンスだけでなく、特定の着信側に関する明確な情報を保持していることを示します。 |
| InfoClassIns | このカウンタは、SIP デバイスが受信した 1xx クラス SIP 応答の総数を表し、この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、SIP 行についての情報を提供します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------|---|
| InfoClassOuts | このカウンタは、SIP デバイスが送信した 1xx クラス SIP 応答の数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、処理の進行についての情報を提供します。 |
| InfoIns | このカウンタは、SIP デバイスが受信した INFO 要求の総数。この数には再送信が含まれます。 |
| InfoOuts | このカウンタは、SIP デバイスが送信した INFO 要求の総数。この数には再送信が含まれます。 |
| InviteIns | このカウンタは、SIP デバイスが受信した INVITE 要求の総数。この数には再送信が含まれます。 |
| InviteOuts | このカウンタは、SIP デバイスが送信した INVITE 要求の総数。この数には再送信が含まれます。 |
| NotifyIns | このカウンタは、SIP デバイスが受信した NOTIFY 要求の総数。この数には再送信が含まれます。 |
| NotifyOuts | このカウンタは、SIP デバイスが送信した NOTIFY 要求の総数。この数には再送信が含まれます。 |
| OptionsIns | このカウンタは、SIP デバイスが受信した OPTIONS 要求の総数。この数には再送信が含まれます。 |
| OptionsOuts | このカウンタは、SIP デバイスが送信した OPTIONS 要求の総数。この数には再送信が含まれます。 |
| PRAckIns | このカウンタは、SIP デバイスが受信した PRACK 要求の総数。この数には再送信が含まれます。 |
| PRAckOuts | このカウンタは、SIP デバイスが送信した PRACK 要求の総数。この数には再送信が含まれます。 |
| PublishIns | このカウンタは、SIP デバイスが受信した PUBLISH 要求の総数。この数には再送信が含まれます。 |
| PublishOuts | このカウンタは、SIP デバイスが送信した PUBLISH 要求の総数。この数には再送信が含まれます。 |
| RedirClassIns | このカウンタは、SIP デバイスが受信した 3xx クラス SIP 応答の数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、達成可能なアドレスへのリダイレクションについての情報を提供します。 |
| RedirClassOuts | このカウンタは、SIP デバイスが送信した 3xx クラス SIP 応答の数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、達成可能なアドレスへのリダイレクションについての情報を提供します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------------|--|
| ReferIns | このカウンタは、SIP デバイスが受信した REFER 要求の総数を表す。この数には再送信が含まれます。 |
| ReferOuts | このカウンタは、SIP デバイスが送信した REFER 要求の総数を表す。この数には再送信が含まれます。 |
| RegisterIns | このカウンタは、SIP デバイスが受信した REGISTER 要求の総数を表す。この数には再送信が含まれます。 |
| RegisterOuts | このカウンタは、SIP デバイスが送信した REGISTER 要求の総数を表す。この数には再送信が含まれます。 |
| RequestsFailedClassIns | このカウンタは、SIP デバイスが受信した 4xx クラス SIP 応答の総数を表す。この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、サービスを提供する SIP デバイスによる要求の失敗を示します。 |
| RequestsFailedClassOuts | このカウンタは、SIP デバイスが送信した 4xx クラス SIP 応答の総数を表す。この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、サービスを提供する SIP デバイスによる要求の失敗を示します。 |
| RetryByes | このカウンタは、SIP デバイスが送信した BYE 再試行の総数を表す。最初の BYE の試行回数を判別するには、sipStatsByeOuts カウンタの値からこのカウンタの値を減算します。 |
| RetryCancels | このカウンタは、SIP デバイスが送信した CANCEL 再試行の総数を表す。最初の CANCEL の試行回数を判別するには、sipStatsCancelOuts カウンタの値からこのカウンタの値を減算します。 |
| RetryInfo | このカウンタは、SIP デバイスが送信した INFO 再試行の総数を表す。最初の INFO の試行回数を判別するには、sipStatsInfoOuts カウンタの値からこのカウンタの値を減算します。 |
| RetryInvites | このカウンタは、SIP デバイスが送信した INVITE 再試行の総数を表す。最初の INVITE の試行回数を判別するには、sipStatsInviteOuts カウンタの値からこのカウンタの値を減算します。 |
| RetryNotify | このカウンタは、SIP デバイスが送信した NOTIFY 再試行の総数を表す。最初の NOTIFY の試行回数を判別するには、sipStatsNotifyOuts カウンタの値からこのカウンタの値を減算します。 |
| RetryPRAck | このカウンタは、SIP デバイスが送信した PRACK 再試行の総数を表す。最初の PRACK の試行回数を判別するには、sipStatsPRAckOuts カウンタの値からこのカウンタの値を減算します。 |
| RetryPublish | このカウンタは、SIP デバイスが送信した PUBLISH の再試行回数を表す。最初の PUBLISH の試行回数を判別するには、sipStatsPublishOuts カウンタの値からこのカウンタの値を減算します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|------------------------|--|
| RetryRefer | このカウンタは、SIP デバイスが送信した REFER 再試行の総最初の REFER の試行回数を判別するには、sipStatsReferOuts からこのカウンタの値を減算します。 |
| RetryRegisters | このカウンタは、SIP デバイスが送信した REGISTER 再試行です。最初の REGISTER の試行回数を判別するには、sipStatsRegisters からこのカウンタの値を減算します。 |
| RetryRel1xx | このカウンタは、SIP デバイスが送信した Reliable 1xx の再試行を表します。 |
| RetryRequestsOut | このカウンタは、SIP デバイスが送信した Request の再試行回数を表します。 |
| RetryResponsesFinal | このカウンタは、SIP デバイスが送信した Final Response の再試行回数を表します。 |
| RetryResponsesNonFinal | このカウンタは、SIP デバイスが送信した非 Final Response の再試行回数を表します。 |
| RetrySubscribe | このカウンタは、SIP デバイスが送信した SUBSCRIBE 再試行回数を表します。最初の SUBSCRIBE の試行回数を判別するには、sipStatsSubscribes からこのカウンタの値を減算します。 |
| RetryUpdate | このカウンタは、SIP デバイスが送信した UPDATE 再試行回数を表します。最初の UPDATE の試行回数を判別するには、sipStatsUpdates からこのカウンタの値を減算します。 |
| SCBsAllocated | このカウンタは、SIP スタックで現在使用中の Subscription Context (SCB) の数を表します。各登録で 1 つの SCB を使用します。 |
| ServerFailedClassIns | このカウンタは、SIP デバイスが受信した 5xx クラス SIP 応答回数を表します。この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は機能を提供する SIP デバイスが失敗応答を受信したことを示します。 |
| ServerFailedClassOuts | このカウンタは、SIP デバイスが送信した 5xx クラス SIP 応答回数を表します。この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は機能を提供する SIP デバイスが失敗応答を受信したことを示します。 |
| SIPGenericCounter1 | Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは使用しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの値を監視します。 |
| SIPGenericCounter2 | Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは使用しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの値を監視します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------------------------|---|
| SIPGenericCounter3 | Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは、このカウンタの情報を表示しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの情報を表示します。 |
| SIPGenericCounter4 | Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは、このカウンタの情報を表示しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの情報を表示します。 |
| SIPHandlerSDLQueueSignalsPresent | このカウンタは、SIPHandler コンポーネントの 4 つの SDL プラケットキューに現在ある SDL 信号の数を表します。SIPHandler コンポーネントの SIP スタックが含まれます。 |
| StatusCode1xxIns | このカウンタは、SIP デバイスが受信した 1xx 応答メッセージ (1xx) の総数を表します。このカウントには、次の 1xx 応答が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • 100 Trying • 180 Ringing • 181 Call is being forwarded • 182 Queued • 183 セッション中 |
| StatusCode1xxOuts | このカウンタは、SIP デバイスが送信した 1xx 応答メッセージ (1xx) の総数を表します。このカウントには、次の 1xx 応答が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • 100 Trying • 180 Ringing • 181 Call is being forwarded • 182 Queued • 183 セッション中 |
| StatusCode2xxIns | このカウンタは、SIP デバイスが受信した 2xx 応答メッセージ (2xx) の総数を表します。このカウントには、次の 2xx 応答が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • 200 OK • 202 受理成功 |
| StatusCode2xxOuts | このカウンタは、SIP デバイスが送信した 2xx 応答メッセージ (2xx) の総数を表します。このカウントには、次の 2xx 応答が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • 200 OK • 202 受理成功 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------|---|
| StatusCode3xxins | <p>このカウンタは、SIP デバイスが受信した 3xx 応答メッセージ（再送信を含む）の総数を表します。このカウントには、次の 3xx 応答が</p> <ul style="list-style-type: none">• 300 複数の選択肢• 301 Moved Permanently• 302 Moved Temporarily• 303 非互換の帯域幅ユニット• 305 Use Proxy• 380 Alternative Service |
| StatusCode302Outs | <p>このカウンタは、SIP デバイスが送信した 302（一時的に移動）（再送信を含む）の総数を表します。</p> |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|------------------|---|
| StatusCode4xxIns | <p>このカウンタは、SIP デバイスが受信した 4xx 応答メッセージ (含む) の総数を表します。このカウントには、次の 4xx 応答が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 400 Bad Request • 401 Unauthorized • 402 Payment Required • 403 Forbidden • 404 Not Found • 405 Method Not Allowed • 406 Not Acceptable • 407 Proxy Authentication Required • 408 Request Timeout • 409 Conflict • 410 Gone • 413 Request Entity Too Large • 414 Request-URI Too Long • 415 Unsupported Media Type • 416 Unsupported URI Scheme • 417 Unknown Resource Priority • 420 Bad Extension • 422 Session Expires Value Too Small • 423 Interval Too Brief • 480 Temporarily Unavailable • 481 Call/Transaction Does Not Exist • 482 Loop Detected • 483 Too Many Hops • 484 Address Incomplete • 485 Ambiguous • 486 Busy Here • 487 Request Terminated • 488 Not Acceptable Here • 489 Bad Subscription Event • 491 Request Pending |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------|--|
| StatusCode4xxOuts | <p>このカウンタは、SIP デバイスが送信した 4xx 応答メッセージ(含む) の総数を表します。このカウントには、次の 4xx 応答が</p> <ul style="list-style-type: none"> • 400 Bad Request • 401 Unauthorized • 402 Payment Required • 403 Forbidden • 404 Not Found • 405 Method Not Allowed • 406 Not Acceptable • 407 Proxy Authentication Required • 408 Request Timeout • 409 Conflict • 410 Gone • 413 Request Entity Too Large • 414 Request-URI Too Long • 415 Unsupported Media Type • 416 Unsupported URI Scheme • 417 Unknown Resource Priority • 420 Bad Extension • 422 Session Expires Value Too Small • 423 Interval Too Brief • 480 Temporarily Unavailable • 481 Call/Transaction Does Not Exist • 482 Loop Detected • 483 Too Many Hops • 484 Address Incomplete • 485 Ambiguous • 486 Busy Here • 487 Request Terminated • 488 Not Acceptable Here • 489 Bad Subscription Event • 491 Request Pending |
| StatusCode5xxIns | <p>このカウンタは、SIP デバイスが受信した 5xx 応答メッセージ(含む) の総数を表します。このカウントには、次の 5xx 応答が</p> <ul style="list-style-type: none"> • 500 Server Internal Error • 501 Not Implemented • 502 Bad Gateway • 503 Service Unavailable • 504 Server Timeout • 505 Version Not Supported • 580 Precondition Failed |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------|--|
| StatusCode5xxOuts | このカウンタは、SIP デバイスが送信した 5xx 応答メッセージ (含む) の総数を表します。このカウントには、次の 5xx 応答が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • 500 Server Internal Error • 501 Not Implemented • 502 Bad Gateway • 503 Service Unavailable • 504 Server Timeout • 505 Version Not Supported • 580 Precondition Failed |
| StatusCode6xxIns | このカウンタは、SIP デバイスが受信した 6xx 応答メッセージ (含む) の総数を表します。このカウントには、次の 6xx 応答が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • 600 Busy Everywhere • 603 Decline • 604 Does Not Exist Anywhere • 606 Not Acceptable |
| StatusCode6xxOuts | このカウンタは、SIP デバイスが送信した 6xx 応答メッセージ (含む) の総数を表します。このカウントには、次の 6xx 応答が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • 600 Busy Everywhere • 603 Decline • 604 Does Not Exist Anywhere • 606 Not Acceptable |
| SubscribeIns | このカウンタは、SIP デバイスが受信した SUBSCRIBE 要求の総数を表します。この数には再送信が含まれます。 |
| SubscribeOuts | このカウンタは、SIP デバイスが送信した SUBSCRIBE 要求の総数を表します。この数には再送信が含まれます。 |
| SuccessClassIns | このカウンタは、SIP デバイスが受信した 2xx クラス SIP 応答の総数を表します。この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、SIP 要求の正常な完了についての情報を提供します。 |
| SuccessClassOuts | このカウンタは、SIP デバイスが送信した 2xx クラス SIP 応答の総数を表します。この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、SIP 要求の正常な完了についての情報を提供します。 |
| SummaryRequestsIn | このカウンタは、SIP デバイスが受信した SIP 要求メッセージの総数を表します。この数には再送信が含まれます。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------|---|
| SummaryRequestsOut | このカウンタは、デバイスが送信した SIP 要求メッセージの総数。この数には、このデバイスから発信するメッセージと、このメッセージをリレーするメッセージが含まれます。特定のメッセージが複数回送信され、再送信として、または分岐（転送）の結果として再送信されたメッセージなどのそれぞれの送信は、別々にカウントされます。 |
| SummaryResponsesIn | このカウンタは、SIP デバイスが受信した SIP 応答メッセージの総数。この数には再送信が含まれます。 |
| SummaryResponsesOut | このカウンタは、SIP デバイスが送信（発信およびリレー）した SIP 応答メッセージの総数を表します。この数には再送信が含まれます。 |
| UpdateIns | このカウンタは、SIP デバイスが受信した UPDATE 要求の総数。この数には再送信が含まれます。 |
| UpdateOuts | このカウンタは、SIP デバイスが送信した UPDATE 要求の総数。この数には再送信が含まれます。 |

Cisco SIP Station

Cisco SIP Station オブジェクトは、SIP 回線側デバイスについての情報を提供します。次の表に、Cisco SIP Station カウンタに関する情報を示します。

表 57: Cisco SIP Station

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------------------|---|
| ConfigMismatchesPersistent | このカウンタは、Unified Communications Manager の最後の再起動以降、TFTP サーバと Unified Communications Manager との設定バージョンが一致しないことが原因で、SIP を実行している電話機を永続的に登録できなかった回数。このカウンタは、Unified Communications Manager が再起動され、手動操作（設定の更新やデバイスのリセットなど）が行われるたびに増加します。 |
| ConfigMismatchesTemporary | このカウンタは、CallManager サービスの最後の再起動以降、Cisco Unified Communications Manager との設定バージョンが一致しないことが原因で、SIP を実行している電話機を一時的に登録できなかった回数。このカウンタは、Unified Communications Manager が自動的に再起動されるたびに増加します。 |
| DBTimeouts | このカウンタは、システムがデータベースからデバイス設定を読み取っている間に、タイムアウトが発生したために失敗した新規登録の回数。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------|---|
| NewRegAccepted | このカウンタは、Cisco CallManager サービスの最後の再起動以降 NewRegistration キューから削除されて処理された新しい REGISTRATION 要求の総数を表します。 |
| NewRegQueueSize | このカウンタは、現在 NewRegistration キューにある REGISTRATION 要求の数を表します。デバイスから受信され、現在このキューに登録された REGISTRATION 要求は、処理される前にこのキューに配置されます。 |
| NewRegRejected | このカウンタは、Cisco CallManager サービスの最後の再起動以降（これは通話中）応答によって拒否され、NewRegistration キューに置かれた新しい REGISTRATION 要求の総数を表します。NewRegistration がプログラムされたサイズを超えると、REGISTRATION 要求は拒否されます。 |
| TokensAccepted | このカウンタは、Unified Communications Manager の最後の再起動以降 されたトークン要求の総数を表します。Unified Communications Manager 未処理のトークンの数が Cisco CallManager の Maximum Phone Failure Depth サービス パラメータに指定された数を下回る限り、トークンが許可されます。 |
| TokensOutstanding | このカウンタは、トークンが許可されていても、まだ登録されていないトークンの数を表します。登録する前に、より優先順位の高い Unified Communications Manager サーバに再接続しているデバイスに対して トークンを許可する必要があります。トークンは、Unified Communications Manager が、フェールオーバー後にオンラインに戻ったときに、登録要求が 負荷にならないように保護します。 |
| TokensRejected | このカウンタは、Unified Communications Manager の最後の再起動以降 されたトークン要求の総数を表します。Unified Communications Manager 未処理のトークンの数が Cisco CallManager の Maximum Phone Failure Depth サービス パラメータに指定された数を超えた場合に、トークンが拒否されます。 |

Cisco SW Conf Bridge Device

Cisco SW Conference Bridge Device オブジェクトは、登録済みの Cisco ソフトウェア会議ブリッジデバイスについての情報を提供します。次の表には、Cisco ソフトウェア会議ブリッジデバイスのカウンタについての情報が含まれます。

表 58 : Cisco SW Conf Bridge Device

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-----------------------|--|
| OutOfResources | このカウンタは、ソフトウェア会議デバイスから会議リソースを試行して、すべてのリソースがすでに使用中であったために合計を表します。 |
| ResourceActive | このカウンタは、ソフトウェア会議デバイスで現在使用中の（な）リソースの数を表します。1つのリソースは1つのストリームを表します。 |
| ResourceAvailable | このカウンタは、非アクティブで、ソフトウェア会議デバイスで利用可能なリソースの総数を表します。1つのリソースは1つのストリームを表します。 |
| ResourceTotal | このカウンタは、ソフトウェア会議デバイスが提供する会議リソースの総数を表します。1つのリソースは1つのストリームを表します。このカウンタは、ResourceAvailable カウンタと ResourceActive カウンタを合計します。 |
| SWConferenceActive | このカウンタは、ソフトウェア会議デバイス上で現在アクティブな（な）ソフトウェアベースの会議の数を表します。 |
| SWConferenceCompleted | このカウンタは、ソフトウェア会議デバイス上に割り当てられた会議の総数を表します。会議は、最初のコールがブリッジに接続されたときに開始します。会議は、最後のコールがブリッジから接続解除されたときに完了します。 |

Cisco Telepresence MCU Conference Bridge Device

Cisco Telepresence MCU Conference Bridge Device オブジェクトは、登録された MCU 会議ブリッジデバイスについての情報を提供します。次の表に、Cisco Telepresence MCU Conference Bridge Device カウンタに関する情報を示します。

表 59 : Cisco Telepresence MCU Conference Bridge Device

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------------|--|
| ConferencesActive | このカウンタは、Unified Communications Manager に登録された Cisco Telepresence MCU 会議ブリッジデバイス上のアクティブな会議の数を表します。 |
| ConferencesCompleted | このカウンタは、Unified Communications Manager から割り当てられた Cisco Telepresence MCU 会議ブリッジを使用し、完了した（つまり、割り当てられ、解放された）会議の総数を表します。会議は、コールがブリッジに接続されたときにアクティブになります。会議は、コールがブリッジから接続解除されたときに終了します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------------|--|
| HttpConnectionErrors | このカウンタは、Unified Communications Manager が、Cisco Telepresence MCU 会議ブリッジデバイスへの HTTP 接続を作成しようとした際に、Cisco Telepresence MCU 会議ブリッジ側の接続エラーが原因で失敗した回数を表示します。 |
| HttpNon200OKResponse | このカウンタは、送信された HTTP クエリーに対して、Unified Communications Manager が Cisco Telepresence MCU 会議ブリッジから [200 OK HTTP] 応答を受信した回数の合計を表示します。 |
| OutOfResources | このカウンタは、Unified Communications Manager が Cisco Telepresence MCU 会議ブリッジデバイスから会議リソースを割り当てようとした際に失敗した回数を表示します。たとえば、他のすべてのリソースが使われている場合、会議リソースの割り当ては失敗します。 |

Cisco TFTP Server

Cisco トリビアルファイル転送プロトコル (TFTP) Server オブジェクトは、Cisco TFTP サーバについての情報を提供します。次の表に、Cisco TFTP サーバのカウンタに関する情報を示します。

表 60: Cisco TFTP Server

| カウンタ | カウンタの説明 |
|------------------|---|
| BuildAbortCount | このカウンタは、Build all 要求を受信したときに、構築プロセスが中止された回数を表示します。このカウンタは、グループレベル変更通知を受信したときに、デバイス/ユニット/ソフトキー/ダイヤル規則の構築が中断された回数が増加します。 |
| BuildCount | このカウンタは、TFTP サービスの開始以降に、TFTP サーバが、デバイスに影響するデータベース変更通知に対応してすべての設定を構築した回数を表示します。このカウンタは、TFTP サーバがすべての設定ファイルを新しく構築するたびに 1 つずつ増加します。 |
| BuildDeviceCount | このカウンタは、すべての設定ファイルの最後の構築時に処理されたデバイスの数を表示します。このカウンタは、デバイス変更通知の処理中に増減します。このカウンタは、新しいデバイスが追加されたときに増え、削除されたデバイスが削除されたときに減少します。 (注) 11.5 以上では、コンフィギュレーション ファイルをビルドする代わりにキャッシングの代わりに提供することができます。 ビルドが行われると、BuildDeviceCount が増分します。このカウンタは、リクエストがあると、カウンタが増加し、減少はしません。TFTP の安定したモニタリングは必要ありません。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-----------------------------|--|
| BuildDialruleCount | このカウンタは、設定ファイルの最後の構築時に処理された数を表します。このカウンタは、ダイヤル規則変更通知の処理されます。このカウンタは、新しいダイヤル規則が追加された既存のダイヤル規則が削除されたときに減少します。 |
| BuildDuration | このカウンタは、設定ファイルの最後の構築時に要した時間を表します。 |
| BuildSignCount | このカウンタは、セキュリティが有効な電話デバイスの数を表します。電話デバイスの設定ファイルは、全設定ファイルの最後の構築時に、 Communications Manager サーバキーでデジタル署名されています。このカウンタは、セキュリティが有効な電話デバイス変更通知の処理されます。 |
| BuildSoftKeyCount | このカウンタは、設定ファイルの最後の構築時に処理されたソフトキーを表します。このカウンタは、新しいソフトキーが追加され、既存のソフトキーが削除されたときに減少します。 |
| BuildUnitCount | このカウンタは、すべての設定ファイルの最後の構築時に処理されたユニットの数を表します。このカウンタは、ユニット変更通知の処理されます。このカウンタは、新しいゲートウェイが追加され、既存のゲートウェイが削除されたときに減少します。 |
| ChangeNotifications | このカウンタは、TFTP サーバが受信したすべての Unified Communications Manager データベース変更通知の総数を表します。Unified Communications Manager でデバイス設定が更新されるたびに、TFTP サーバに更新通知が送信され、更新されたデバイス用の XML ファイルを生成します。 |
| DeviceChangeNotifications | このカウンタは、TFTP サーバがデータベース変更通知を受信したデバイスの設定ファイルの作成、更新、削除を行った回数を表します。 |
| DialruleChangeNotifications | このカウンタは、TFTP サーバがデータベース変更通知を受信したダイヤル規則の設定ファイルの作成、更新、削除を行った回数を表します。 |
| EncryptCount | このカウンタは、暗号化された設定ファイルの数を表します。このカウンタは、設定ファイルが正常に暗号化されるたびに更新されます。 |
| GKFoundCount | このカウンタは、キャッシュ内で検出された GK ファイルの数を表します。このカウンタは、キャッシュ内で GK ファイルが検出されるときに更新されます。 |
| GKNotFoundCount | このカウンタは、キャッシュ内で検出されなかった GK ファイルの数を表します。このカウンタは、GK ファイル取得要求に対して、キャッシュで見つからないことを示す結果が出るたびに更新されます。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-----------------------|---|
| HeartBeat | このカウンタは、TFTP サーバのハートビートを表します。このカウンタが増加している場合は、TFTP サーバが稼働中であることを示します。カウンタが増加していない場合は、TFTP サーバがダウンしていることを示します。 |
| HttpConnectRequests | このカウンタは、現在 HTTP GET ファイル要求を行っているクライアントの数を表します。 |
| HttpRequests | このカウンタは、HTTP サーバが処理したファイル要求（XML 要求、電話機ファームウェア ファイル、オーディオ ファイルなど）の総数を表します。このカウンタは、HTTP サービス開始以来の RequestsProcessed、RequestsNotFound、RequestsOverflow、RequestsInProgress の各カウンタを合計した数になります。 |
| HttpRequestsAborted | このカウンタは、HTTP サーバが予期せずに取り消した（中断した）要求の総数を表します。（装置の電源が入っていないなどの理由で）デバイスに到達できない場合、またはネットワーク接続の問題によりファイル転送が中断された場合は、要求が中断される可能性があります。 |
| HttpRequestsNotFound | このカウンタは、要求されたファイルが検出されなかった場合の HTTP 要求の総数を表します。HTTP サーバが要求されたファイルを検出しなかった場合、メッセージが要求側デバイスに送信されます。 |
| HttpRequestsOverflow | このカウンタは、許容されるクライアント接続が最大数に達したときに発生した HTTP 要求の総数を表します。TFTP サーバが設定ファイルに要求を受信したか、他のリソース制限による拒否の可能性が Cisco TFTP 拡張サービス パラメータの Maximum Serving Count によって定義される接続の最大数を設定します。 |
| HttpRequestsProcessed | このカウンタは、HTTP サーバが正常に処理した HTTP 要求の総数を表します。 |
| HttpServedFromDisk | このカウンタは、ディスク上に存在し、メモリにキャッシュされなかったファイルに関して HTTP サーバが完了した要求の数を表します。 |
| LDFoundCount | このカウンタは、キャッシュ内で検出された LD ファイルの数を表します。このカウンタは、キャッシュ メモリ内で LD ファイルが検出されなかった場合に更新されます。 |
| LDNotFoundCount | このカウンタは、キャッシュ メモリ内で検出されなかった LD ファイルの数を表します。このカウンタは、LD ファイル取得要求に対して、キャッシュ内でファイルが見つからないことを示す結果が出るたびに更新されます。 |
| MaxServingCount | このカウンタは、TFTP で同時に処理できるクライアント接続の最大数を表します。Cisco TFTP 拡張サービス パラメータの Maximum Serving Count の値を設定します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------------|--|
| リクエスト | このカウンタは、TFTP サーバが処理するファイル要求（XML、電話機ファームウェア ファイル、オーディオ ファイルなど）の総数を表します。このカウンタは、TFTP サービス開始時に 0 にリセットされ、RequestsProcessed、RequestsNotFound、RequestsOverflow、RequestsInProgress の各カウンタを合計した数になります。 |
| RequestsAborted | このカウンタは、TFTP サーバが予期せずに取り消した（中断）ファイル要求の総数を表します。（装置の電源が入っていないなどの理由でデバイスに到達できない場合、またはネットワーク接続の問題により転送が中断された場合は、要求が中断される可能性があります。 |
| RequestsInProgress | このカウンタは、TFTP サーバが現在処理しているファイル要求の数を表します。このカウンタは、新しいファイル要求のたびに増加し、完了するたびに減少します。このカウンタは、TFTP サービス開始時に 0 にリセットされ、0 を示します。 |
| RequestsNotFound | このカウンタは、要求されたファイルが検出されなかった場合の総数を表します。TFTP サーバが要求されたファイルを検出できなかった場合、エラーメッセージが要求側デバイスに送信されます。このカウンタは、設定されたクラスタ内で増加する場合、通常、このイベントは発生しません。ただし、クラスタが非セキュアに設定されている場合、このイベントは発生します。ただし、クラスタが非セキュアに設定されている場合、このイベントは発生し、デバイスにメッセージが送信され、このカウンタがそれに対応して増加します。非セキュアに設定されたクラスタの場合、これは通常の状態を示すものではありません。 |
| RequestsOverflow | このカウンタは、許容されるクライアント接続の最大数を超過した TFTP 要求、TFTP サーバが設定ファイルを構築中に拒否された TFTP 要求、または他のリソース制限により拒否された TFTP 要求の総数を表します。Cisco TFTP 拡張サービスパラメータ <code>Serving Count</code> は、許容される接続の最大数を設定します。 |
| RequestsProcessed | このカウンタは、TFTP サーバが正常に処理した TFTP 要求の総数を表します。 |
| SegmentsAcknowledged | このカウンタは、クライアント デバイスが確認応答したデータセグメントの総数を表します。ファイルは 512 バイトのデータセグメントに分割され、デバイスに送信され、デバイスは、512 バイトの各セグメントにメッセージを TFTP サーバに送信します。先行データセグメントの受信時に追加の各データセグメントが送信されます。これらが要求側デバイスに正常に転送されるまで続きます。 |
| SegmentsFromDisk | このカウンタは、TFTP サーバがファイルを処理する間にディスクから読み取ったデータセグメントの数を表します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------------------|--|
| SegmentSent | このカウンタは、TFTP サーバが送信したデータ セグメントの総数です。ファイルは、512 バイトのデータ セグメントで要求側デバイスに送信されます。 |
| SEPFoundCount | このカウンタは、キャッシュ内で正常に検出された SEP ファイルの数です。このカウンタは、キャッシュ内で SEP ファイルが検出されたときに更新されます。 |
| SEPNotFoundCount | このカウンタは、キャッシュ内で検出されなかった SEP ファイルの数です。このカウンタは、SEP ファイル取得要求に対して、キャッシュ内でファイルが検出されないことを示す結果が出るたびに更新されます。 |
| SIPFoundCount | このカウンタは、キャッシュ内で正常に検出された SIP ファイルの数です。このカウンタは、キャッシュ内で SIP ファイルが検出されたときに更新されます。 |
| SIPNotFoundCount | このカウンタは、キャッシュ内で検出されなかった SIP ファイルの数です。このカウンタは、SIP ファイル取得要求に対して、キャッシュ内でファイルが検出されないことを示す結果が出るたびに更新されます。 |
| SoftkeyChangeNotifications | このカウンタは、TFTP サーバがデータベース変更通知を受信し、キーの設定ファイルの作成、更新、削除を行った回数を表示します。 |
| UnitChangeNotifications | このカウンタは、TFTP サーバがデータベース変更通知を受信し、ユーニットの設定ファイルの作成、更新、削除を行った回数を表示します。 |

Cisco Transcode Device

Cisco Transcode Device オブジェクトは、登録済みの Cisco トランスコーディングデバイスについての情報を提供します。次の表には、Cisco トランスコーダ デバイスのカウンタについての情報が含まれます。

表 61 : Cisco Transcode Device

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------|--|
| OutOfResources | このカウンタは、トランスコーダ デバイスからトランスコーダ リソースの割り当てを試行して、すべてのリソースがすでに使用中である場合に失敗した回数の合計を表示します。 |
| ResourceActive | このカウンタは、トランスコーダ デバイスに対して現在使用中の（ブナ）トランスコーダ リソースの数を表します。 各トランスコーダ リソースは、2つのストリームを使用します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------|--|
| ResourceAvailable | このカウンタは、非アクティブで、トランスコーダデバイス可能なリソースの総数を表します。 各トランスコーダリソースは、2つのストリームを使用しま |
| ResourceTotal | このカウンタは、トランスコーダデバイスが提供したトランスコーダの総数を表します。ResourceActive カウンタと ResourceAvailable の合計数と等しい数になります。 |

Cisco Video Conference Bridge

Cisco Video Conference Bridge オブジェクトは、登録済みの Cisco ビデオ会議ブリッジデバイスについての情報を提供します。次の表に、Cisco Video Conference Bridge Device カウンタに関する情報を示します。

表 62: Cisco Video Conference Bridge

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------------|---|
| ConferencesActive | このカウンタは、ビデオ会議ブリッジデバイス上で現在アクティブなビデオ会議の総数を表します。システムでは、最初のビデオ会議に接続されたときに会議がアクティブになるよう指定され |
| ConferencesAvailable | このカウンタは、非アクティブで、ビデオ会議デバイス上でビデオ会議の数を表します。 |
| ConferencesCompleted | このカウンタは、ビデオ会議デバイス上に割り当てられ、開始されたビデオ会議の総数を表します。会議は、最初のコールがブリッジに開始されます。会議は、最後のコールがブリッジから接続解除完了します。 |
| ConferencesTotal | このカウンタは、ビデオ会議デバイスに対して設定されているビデオ会議の総数を表します。 |
| OutOfConferences | このカウンタは、ビデオ会議デバイスからビデオ会議の開始を拒否されているアクティブな会議の最大数 (TotalConferences カウンタをデバイスがすでに使用しているために失敗した回数) の合計 |
| OutOfResources | このカウンタは、ビデオ会議デバイスから会議リソースの割り当て、すべてのリソースがすでに使用中であるなどの理由で失敗した会議の数を表します。 |
| ResourceActive | このカウンタは、ビデオ会議ブリッジデバイス上で現在アクティブな会議のリソースの総数を表します。参加者 1 名につき、1つのリソースが使用されます。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------|--|
| ResourceAvailable | このカウンタは、非アクティブで、ビデオ会議ブリッジデバイス参加者を処理するデバイスでまだ使用可能なリソースの総数を表 |
| ResourceTotal | このカウンタは、ビデオ会議ブリッジデバイス上に設定されているリソースの総数を表します。参加者 1 名につき、1 つのリソースが使用さ |

Cisco Web Dialer

Cisco WebDialer オブジェクトは、Cisco Web Dialer アプリケーションと Redirector Servlet に関する情報を提供します。次の表に、CiscoWebDialer カウンタについての情報を示します。

表 63: Cisco Web Dialer

| カウンタ | カウンタの説明 |
|------------------------------|---|
| CallsCompleted | このカウンタは、Cisco Web Dialer アプリケーションが正常に完了した Make Call 要求と End Call 要求の数を表します。 |
| CallsFailed | このカウンタは、失敗した Make Call 要求と End Call 要求の数を表します。 |
| RedirectorSessionsHandled | このカウンタは、サービスを最後に開始してから Redirector Servlet が処理した HTTP セッションの総数を表します。 |
| RedirectorSessionsInProgress | このカウンタは、現在 Redirector Servlet によって処理されている HTTP セッションの数を表します。 |
| RequestsCompleted | このカウンタは、WebDialer Servlet が正常に完了した Make Call 要求と End Call 要求の数を表します。 |
| RequestsFailed | このカウンタは、失敗した Make Call 要求と End Call 要求の数を表します。 |
| SessionsHandled | このカウンタは、サービスを最後に開始してから Cisco Web Dialer が処理した CTI セッションの総数を表します。 |
| SessionsInProgress | このカウンタは、Cisco Web Dialer Servlet が現在処理している CTI セッションの数を表します。 |

Cisco WSM Connector

WSM オブジェクトは、Unified Communications Manager に設定されている WSMConnectors の情報を提供します。各 WSMConnector は、物理的な Motorola WSM デバイスを表します。次の表に、CiscoWSM Connector カウンタに関する情報を示します。

表 64 : Cisco WSM Connector

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-----------------|--|
| CallsActive | このカウンタは、WSMConnector デバイス上で現在アクティブコールの数を表します。 |
| CallsAttempted | このカウンタは、WSMConnector デバイス上で試行されたコールの数を表します。成功したコールの試行と失敗したコールの試行の両方を表します。 |
| CallsCompleted | このカウンタは、WSMConnector デバイスを介して接続され、確立された（コールが確立された）コールの数を表します。このカウンタは、コールが完了するたびに増加します。 |
| CallsInProgress | このカウンタは、WSMConnector デバイス上で現在進行中のコールの数を表します。この数にはすべてのアクティブコールが含まれます。この数と CallsActive の数が等しい場合は、すべてのコールが接続されていることを示します。 |
| DMMSRegistered | このカウンタは、WSM に登録された DMMS 加入者の数を表します。 |

IME Client

IME Client オブジェクトは、Unified Communications Manager サーバ上の Cisco IME クライアントに関する情報を提供します。次の表に、Cisco IME Client カウンタに関する情報を示します。

表 65 : Cisco IME Client

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------|--|
| CallsAccepted | このカウンタは、Unified Communications Manager が正常に受容した結果 IP コールが確立した Cisco IME コールの数を表します。 |
| CallsAttempted | このカウンタは、Unified Communications Manager が Cisco IME を通じて試行したコールの数を表します。この数には、受け入れられたコール、およびビジー、未応答のコールが含まれます。このカウンタは、Cisco IME を通じてコールが試行されるたびに増加します。 |
| CallsReceived | このカウンタは、Unified Communications Manager が Cisco IME を通じて受信したコールの数を表します。この数には、受け入れられたコール、およびビジー、未応答のコールが含まれます。このカウンタは、Cisco IME を通じてコールが開始したときに増加します。 |
| CallsSetup | このカウンタは、Unified Communications Manager が正常に発着した結果 IP コールが確立した Cisco IME コールの数を表します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------------|--|
| DomainsUnique | このカウンタは、Cisco IME クライアントによって検出されたディバイズの固有ドメイン名の数を表します。このカウンタは、IME の使用状況を示すインジケータの役割を果たします。 |
| FallbackCallsFailed | このカウンタは、失敗したフォールバックの試行の合計数を表します。 |
| FallbackCallsSuccessful | このカウンタは、品質の問題により PSTN ミッドコールにフォールバックした Cisco IME コールの合計数を表します。このカウンタには、Unified Communications Manager が開始したコールと受信したコールが含まれます。 |
| IMESetupsFailed | このカウンタは、Cisco IME ルートを使用できたにもかかわらずワーク経由でターゲットに接続できなかったために、PSTN を使用されたコールの試行の合計数を表します。 |
| RoutesLearned | このカウンタは、Cisco IME によって認識され、Unified Communications Manager のルーティングテーブルでルートとして提示される個々の電話番号を表します。この数が大きくなりすぎると、サーバがクラスター別、クラスタにサーバを追加する必要がある場合があります。 |
| RoutesPublished | このカウンタは、すべての Cisco IME クライアントインスタンスのキャッシュに正常にパブリッシュされた DID の合計数を表します。このカウンタは、定期的に測定を行うことで、自分でプロビジョニングしたサーバの稼働率、ネットワークで DID の格納が正常に実施された比率を把握することができます。 |
| RoutesRejected | このカウンタは、管理者が特定の番号またはドメインを制限したために認識済みルートの数を表します。このカウンタは、検証のために今後 VoIP コールが発生しない状況の数を示しています。 |
| VCRUploadRequests | このカウンタは、Unified Communications Manager が IME 分散キーの格納のために Cisco IME サーバに送信した音声コール レコードのアップロード要求の数を表します。 |

IME Client Instance

IME Client Instance オブジェクトは、Unified Communications Manager サーバ上の Cisco IME クライアントインスタンスに関する情報を示します。次の表に、Cisco IME Client Instance カウンタに関する情報を示します。

表 66: IME Client

| カウンタ | カウンタの説明 |
|------------------|--|
| IMEServiceStatus | <p>このカウンタは、特定の Cisco IME クライアント インスタンス (Cisco IME クライアント インスタンスの Cisco IME サービスに対する接続の健全性を表します。カウンタに表示される可能性がある値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0: 不明な状態であることを示します (Cisco IME サービスが正常に稼働していることを意味している場合があります)。 <p>この値が 0 の場合、接続が不明な状態になっている間、アラートが生成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1: 健全な状態であることを、つまり、Cisco IME サービスで、Unified Communications Manager が Cisco IME クライアント インスタンスのプライマリおよびバックアップサーバ (設定されたプライマリおよびバックアップサーバ) への接続を正常に確立していることを示します。 • 2: 不健全な状態であることを、つまり、Cisco IME サービスで、Unified Communications Manager が Cisco IME クライアント インスタンスのプライマリおよびバックアップサーバ (設定されたプライマリおよびバックアップサーバ) への接続を正常に確立していないことを示します。 |

SAML シングル サインオン

次の表に、SAML シングル サインオン カウンタに関する情報が掲載されています。

表 67: SAML シングル サインオン カウンタ

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------|--|
| SAML_REQUESTS | このカウンタは、設定済みの ID プロバイダーに送信される SAML 要求の総数を表します。 |
| SAML_RESPONSES | このカウンタは、設定済みの ID プロバイダーから受信した SAML 応答の総数を表します。 |

さらに、次の SAML SSO カウンタは、Unified RTMT に表示されますが、Unified Communications Manager 10.0(1) で機能しません。

- OAUTH_TOKENS_ISSUED
- OAUTH_TOKENS_ACTIVE
- OAUTH_TOKENS_VALIDATED
- OAUTH_TOKENS_EXPIRED
- OAUTH_TOKENS_REVOKED

Cisco IVR デバイス

このオブジェクトは、登録済みの Cisco Interactive Voice Response (IVR) デバイスに関する情報を提供します。

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------|--|
| ResourceTotal | このカウンタは、この IVR デバイスに設定された IVR リソースの合計数を表します。 |
| ResourceActive | このカウンタは、この IVR デバイスで現在アクティブな IVR リソースの合計数を表します。 |
| ResourceAvailable | このカウンタは、非アクティブで、IVR デバイスで現在まだ使用可能なリソースの合計数を表します。 |
| OutOfResources | このカウンタは、IVR デバイスから IVR リソースの割り当てを試行して、すべてのリソースが使用中であったために失敗した回数の合計を表します。 |

IM and Presence Service カウンタ

Cisco Client Profile Agent

このオブジェクトは Cisco Client Profile (SOAP) インターフェイスに関する情報を提供します。次の表に、クライアントプロフィールエージェントのカウンタについての情報が含まれます。

表 68 : Cisco Client Profile Agent カウンタ

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--------------------------|--|
| SoapCrossClusterRedirect | このカウンタは、Cisco UP SOAP インターフェイスでログイン要求の数を表します。 |
| SoapLoginFailures | このカウンタは、Cisco UP SOAP インターフェイスでログイン失敗の数を表します。 |
| SoapNodeRedirect | このカウンタは、Cisco UP SOAP インターフェイスでノードリダイレクトの数を表します。 |

Cisco Presence Engine

Cisco Presence Engine オブジェクトは、Presence Engine で送受信される SIP メッセージに関する情報を提供します。

次の表に、Cisco Presence Engine のパフォーマンスのカウンタについての情報が含まれます。

表 69 : Cisco Presence Engine カウンタ

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--|---|
| 登録 | |
| SubscribesReceived | このカウンタは、Presence Engine で受信された SUBSCRIBE メッセージ、ブスクライプ、更新、取得、およびサブスクライプ解除の数を表示します。 |
| SubscribesSent | このカウンタは、Presence Engine から送信された SUBSCRIBE メッセージの数を表示します。 |
| SubscribesReceivedPresence | このカウンタは、イベントタイプ presence を使用した SUBSCRIBE メッセージの数を表示します。 |
| SubscribesReceivedProfileConfig | このカウンタは、イベントタイプ profileconfig を使用した SUBSCRIBE メッセージの数を表示します。 |
| SubscribesInitial | このカウンタは、受信された初回 SUBSCRIBE メッセージの数を表示します。 |
| SubscribesRefresh | このカウンタは、受信された更新 SUBSCRIBE メッセージの数を表示します。 |
| SubscribesFetch | このカウンタは、受信された取得 SUBSCRIBE メッセージの数を表示します。 |
| SubscribesRemove | このカウンタは、受信された削除 SUBSCRIBE メッセージの数を表示します。 |
| ActiveSubscriptions | このカウンタは、現在アクティブなサブスクリプションの数を表示します。 |
| SubscribesRedirect3xx | このカウンタは、3xx 応答によってリダイレクトされた SUBSCRIBE メッセージの数を表示します。 |
| SubscribesRejected4xx | このカウンタは、4xx 応答によって拒否された SUBSCRIBE メッセージの数を表示します。 |
| SubscribesRejected5xx | このカウンタは、5xx 応答によって拒否された SUBSCRIBE メッセージの数を表示します。 |
| SubscribesRejected6xx | このカウンタは、6xx 応答によって拒否された SUBSCRIBE メッセージの数を表示します。 |
| SubscribesRejectedWith503 | このカウンタは、503 応答によって拒否された SUBSCRIBE メッセージの数を表示します。 |
| SubscriptionActiveSentForeign | このカウンタは、Presence Engine から外部ドメインへ送信されたアクティブなサブスクリプションの数を表示します。 |
| SubscriptionActiveReceivedFrom Foreign | このカウンタは、Presence Engine が外部ドメインから受信したアクティブなサブスクリプションの数を表示します。 |
| WatcherInfoPresenceSubscriptions | このカウンタは、ウォッチャ情報プレゼンスサブスクリプションの数を表示します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------------------|---|
| カレンダー | |
| ActiveCalendarSubscriptions | このカウンタは、現在アクティブなカレンダー サブスクリプションの数を表します。 |
| SubscribesSentCalendarInitial | このカウンタは、Presence Engine からカレンダー サーバに送信された最初の PUBLISH メッセージの数を表します。 |
| SubscribesSentCalendarRefresh | このカウンタは、Presence Engine からカレンダー サーバに送信された更新 PUBLISH メッセージの数を表します。 |
| SubscribesSentCalendarRetry | このカウンタは、Presence Engine からカレンダー サーバに送信された再試行 PUBLISH メッセージの数を表します。 |
| SubscribesReceivedCalendar | このカウンタは、イベント タイプ calendar を使用して Presence Engine が受信した PUBLISH メッセージの数を表します。 |
| NotifiesReceivedCalendar | このカウンタは、イベント タイプ calendar を使用した Presence Engine が受信した PUBLISH メッセージの数を表します。 |
| NotifiesSentCalendar | このカウンタは、イベント タイプ calendar を使用して Presence Engine が送信した PUBLISH メッセージの数を表します。 |
| MeetingsStarted | このカウンタは、カレンダーの統合によって開始された会議の数を表します。 |
| MeetingsEnded | このカウンタは、カレンダーの統合によって終了した会議の数を表します。 |
| パブリッシュ | |
| PublicationsProcessed | このカウンタは、Presence Engine で正常に処理されたパブリッシュ メッセージの数を表します。 |
| PublishInitial | このカウンタは、受信された初回 PUBLISH メッセージの数を表します。 |
| PublishRefresh | このカウンタは、受信された更新 PUBLISH メッセージの数を表します。 |
| PublishModify | このカウンタは、受信された変更 PUBLISH メッセージの数を表します。 |
| PublishRemove | このカウンタは、受信された削除 PUBLISH メッセージの数を表します。 |
| 通知 | |
| NotificationsInQueue | このカウンタは、Presence Engine によってキューイングされた通知の数を表します。 |
| NotifiesSent | このカウンタは、Presence Engine から正常に送信された通知の数を表します。 |
| NotifiesReceived | このカウンタは、Presence Engine がバックエンドサブスクリプションから受信した通知の数を表します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------------------------|--|
| NotifiesSentPresence | このカウンタは、イベントタイプ <code>presence</code> を使用した NOTIFY メッセージの数を表示します。 |
| NotifiesSentProfileConfig | このカウンタは、イベントタイプ <code>profileconfig</code> を使用した NOTIFY メッセージの数を表示します。 |
| NotifiesRetried | このカウンタは、送信が再試行された NOTIFY メッセージの数を表示します。 |
| NotifiesTimeouts | このカウンタは、タイムアウトした NOTIFY メッセージの数を表示します。 |
| NotifiesRejected3xx | このカウンタは、3xx 応答によって拒否された NOTIFY メッセージの数を表示します。 |
| NotifiesRejected4xx | このカウンタは、4xx 応答によって拒否された NOTIFY メッセージの数を表示します。 |
| NotifiesRejected5xx | このカウンタは、5xx 応答によって拒否された NOTIFY メッセージの数を表示します。 |
| NotifiesRejected503 | このカウンタは、503 応答によって拒否された NOTIFY メッセージの数を表示します。 |
| NotifiesRejected6xx | このカウンタは、6xx 応答によって拒否された NOTIFY メッセージの数を表示します。 |
| WatcherInfoPresenceNotifications | このカウンタは、ウォッチャ情報プレゼンス通知の数を表示します。 |
| WatcherInfoPresenceSubscriptions | このカウンタは、ウォッチャ情報プレゼンスサブスクリプションの数を表示します。 |
| HighWaterMark | |
| HighWaterMark | このカウンタは、負荷が上限値に達した回数を表示します。 |
| アクティブ ビュー | |
| ActiveViews | このカウンタは、Presence Engine のアクティブ ビューの数を表示します。 |
| アクティブ リソース | |
| ActiveResources | このカウンタは、Presence Engine のアクティブ リソースの数を表示します。 |
| JSM | |
| ActiveJsmSessions | このカウンタは、Presence Engine と JSM 間のアクティブセッションの数を表示します。 |
| XMPP | |
| XMPPPresenceReceived | このカウンタは、受信された XMPP プレゼンス パッケージの数を表示します。 |
| XMPPPresenceFiltered | このカウンタは、受信されたフィルタリング済み XMPP プレゼンス パッケージの数を表示します。 |
| XMPPPresenceNotificationsSent | このカウンタは、構成されたプレゼンスの更新が JSM に送信された回数を表示します。 |
| XMPPIMReceived | このカウンタは、Presence Engine で受信された XMPP IM パッケージの数を表示します。 |
| XMPPIMSent | このカウンタは、Presence Engine から送信された XMPP IM パッケージの数を表示します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|------------------------------|--|
| XMPPIMTcInviteErrors | このカウンタは、Presence Engine によって拒否された XMPP インスタントメッセージの数を表します。 |
| XMPPIMResourceNotFoundErrors | このカウンタは、未登録の SIP リソースに関する XMPP インスタントメッセージの数を表します。 |
| XMPPIMIgnored | このカウンタは、Presence Engine によってドロップされた XMPP インスタントメッセージの数を表します。 |
| XMPPIMGoneGenerated | このカウンタは、プレゼンス イベントで RFI に送信された XMPP インスタントメッセージの数を表します。 |
| RFIErrors | このカウンタは、XMPP メッセージを RFI レイヤに送信するときに発生したエラーの数を表します。 |
| RFIMessageQueueSize | このカウンタは、RFI が一時停止しているためキューに蓄積されたメッセージの数を表します。 |
| SIP | |
| SIPIMReceived | このカウンタは、Presence Engine で受信された SIP インスタントメッセージの数を表します。 |
| SIPIMSent | このカウンタは、Presence Engine から送信された SIP インスタントメッセージの数を表します。 |
| SIPIMGoneGenerated | このカウンタは、プレゼンス イベントでプロキシに送信された SIP インスタントメッセージの数を表します。 |
| SIPIMRetry | このカウンタは、プロキシに再送された SIP インスタントメッセージの数を表します。 |
| SIPIMTimeout | このカウンタは、プロキシへの送信時にタイムアウトした SIP インスタントメッセージの数を表します。 |
| SIPIMReject3xx | このカウンタは、プロキシへの SIP インスタントメッセージが 3xx ステータスコードで拒否された数を表します。 |
| SIPIMReject4xx | このカウンタは、プロキシへの SIP インスタントメッセージが 4xx ステータスコードで拒否された数を表します。 |
| SIPIMReject5xx | このカウンタは、プロキシへの SIP インスタントメッセージが 5xx ステータスコードで拒否された数を表します。 |
| SIPIMReject6xx | このカウンタは、プロキシへの SIP インスタントメッセージが 6xx ステータスコードで拒否された数を表します。 |
| ActiveIMSessions | このカウンタは、SIP と XMPP 間のアクティブなインスタントメッセージセッションの数を表します。 |
| Roster Sync | |
| RosterSyncAddBuddySuccess | このカウンタは、Roster Sync Agent で正常に処理された Buddy の数を表します。 |
| RosterSyncAddBuddyFailure | このカウンタは、Roster Sync Agent での処理に失敗した Buddy の数を表します。 |
| RosterSyncUpdateBuddySuccess | このカウンタは、Roster Sync Agent で正常に処理された Buddy の数を表します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------------------|------------------------------------|
| RosterSyncUpdateBuddyFailure | このカウンタは、Roster Sync Agent での処理に失敗し |
| RosterSyncDeleteBuddySuccess | このカウンタは、Roster Sync Agent で正常に処理され |
| RosterSyncDeleteBuddyFailure | このカウンタは、Roster Sync Agent での処理に失敗し |
| RosterSyncSubscribeSuccess | このカウンタは、Roster Sync Agent で正常に処理され |
| RosterSyncSubscribeFailure | このカウンタは、Roster Sync Agent での処理に失敗し |
| RosterSyncUnSubscribeSuccess | このカウンタは、Roster Sync Agent で正常に処理され |
| RosterSyncUnSubscribeFailure | このカウンタは、Roster Sync Agent での処理に失敗し |
| PolicyUpdateSent | このカウンタは、XCP に送信されたプライバシー ポ |
| PolicyUpdateReceived | このカウンタは、XCP から受信したプライバシー ポ |
| RosterSyncUnSubscribedSuccess | このカウンタは、Roster Sync Agent で正常に処理され |
| RosterSyncUnSubscribedFailure | このカウンタは、Roster Sync Agent での処理に失敗し |

Cisco Server Recovery Manager

このオブジェクトは、Cisco Server Recovery Manager (SRM) の状態に関する情報を提供します。次の表には、SRM カウンタについての情報が含まれます。

表 70: Cisco Server Recovery Manager カウンタ

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------|---|
| SRMState | <p>このカウンタは、SRM の状態を表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0 = Unknown • 1 = Initializing • 2 = Idle • 3 = Active Normal • 4 = Backup Activated • 5 = Taking Over • 6 = Taking Back • 7 = Failing Over • 8 = Failed Over • 9 = Failed Over Affected Service • 10 = Falling Back • 11 = Failed • 12 = Down State |

Cisco SIP Proxy

次の表には、Cisco SIP Proxy カウンタについての情報が含まれます。

表 71: プロキシカウンタ

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------------|------------------------------------|
| CTIGWConferenceReq | このカウンタは、CTIGW で受信された会議コール要求の数 |
| CTIGWInboundCalls | このカウンタは、CTIGW で受信された着信コールの数 |
| CTIGWLineOpenRequest | このカウンタは、CTIGW で受信された LineOpen 要求の数 |
| CTIGWMakeCallRequest | このカウンタは、CTIGW で受信された MakeCall 要求の数 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------------------|---|
| CTIGWRefreshCount | このカウンタは、MOC クライアントから送信された数を表します。 |
| CTIGWRetrieveReq | このカウンタは、CTIGW で受信されたコール取得要求の数を表します。 |
| CTIGWSip4XXRes | このカウンタは、CTIGW から送信された SIP 4XX 応答の数を表します。 |
| CTIGWSip5XXRes | このカウンタは、CTIGW から送信された SIP 5XX 応答の数を表します。 |
| CTIGWSSXrefReq | このカウンタは、CTIGW で受信されたコールのシグナリング要求の数を表します。 |
| CTIGWUsersAuthorized | このカウンタは、CTIGW によって認証されたユーザーの数を表します。 |
| CTIGWUsersCurrentlyAuthorized | このカウンタは、リモート コール制御を行うため現在認証されたユーザーの数を表します。 |
| CTIGWXrefReq | このカウンタは、CTIGW で受信されたコール転送要求の数を表します。 |
| HttpRequests | このカウンタは、処理された HTTP 要求の数を表します。 |
| IMCTRLActiveSessions | このカウンタは、アクティブなフェデレーション IM セッションの数を表します。 |
| IMGWActiveSessions | このカウンタは、プロキシによって管理されているアクティブなセッションの数を表します。 |
| IMGWClientMessageSent | このカウンタは、XMPP IM ゲートウェイから SIP クライアントに送信されたメッセージの数を表します。 |
| IMGWPeMessageReceived | このカウンタは、XMPP IM ゲートウェイがローカル PE から受信したメッセージの数を表します。 |
| IMGWPeMessageSent | このカウンタは、ローカル PE に送信された、XMPP IM ゲートウェイからのメッセージの数を表します。 |
| Ipcc_Requests | このカウンタは、SCP プロセスからの IPC 要求の数を表します。 |
| NumIdleSipdWorkers | このカウンタは、現在のインスタンスでアイドル状態にある sipd worker の数を表します。 |
| NumSipdWorker | このカウンタは、現在のインスタンスにおける sipd worker の数を表します。 |
| Proxy_Due_Timer_Events | このカウンタは、キューに入れられた期限切れのタイマー イベントの数を表します。 |
| Proxy_Timer_Events | このカウンタは、期限切れのタイマー イベントの数を表します。 |
| PWSAppUserLoginRequest | このカウンタは、Presence Web Service モジュールで処理されたログイン要求の数を表します。 |
| PWSAppUserLogoutRequest | このカウンタは、Presence Web Service モジュールで処理されたログアウト要求の数を表します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------------------|---|
| PWSEndpointExpired | このカウンタは、更新前に期限が切れたサブスクリプション |
| PWSEndpointRefreshRequest | このカウンタは、Presence Web Service モジュールで受信 |
| PWSEndUserLoginRequest | このカウンタは、Presence Web Service モジュールで受信 |
| PWSEndUserLogoutRequest | このカウンタは、Presence Web Service モジュールで受信 す。 |
| PWSGetPolledPresenceRequest | このカウンタは、Presence Web Service モジュールで受信 |
| PWSGetSubscribedPresenceRequest | このカウンタは、Presence Web Service モジュールで受信 |
| PWSPresenceNotifies | このカウンタは、Presence Web Service モジュールから |
| PWSRegisterEndpointRequest | このカウンタは、Presence Web Service モジュールで受信 |
| PWSSetPresenceRequest | このカウンタは、Presence Web Service モジュールで受信 |
| PWSSipNotifies | このカウンタは、Presence Web Service モジュールで受信 |
| PWSSipPublishRequests | このカウンタは、Presence Web Service モジュールから |
| PWSSipSubscribeRequests | このカウンタは、Presence Web Service モジュールから |
| PWSSipUnpublishRequests | このカウンタは、Presence Web Service モジュールから す。 |
| PWSSipUnsubscribeRequests | このカウンタは、Presence Web Service モジュールから す。 |
| PWSSubscribeExpired | このカウンタは、更新前に期限が切れたエンドポイン |
| PWSSubscribeRefreshRequest | このカウンタは、Presence Web Service モジュールで受信 |
| PWSSubscribeRequest | このカウンタは、Presence Web Service モジュールで受信 |
| PWSUnregisterEndpointRequest | このカウンタは、Presence Web Service モジュールで受信 す。 |
| PWSUnsubscribeRequest | このカウンタは、Presence Web Service モジュールで受信 |
| ServerLoadStatus | このカウンタは、サーバのロード ステータスをスケー |
| SIPClientImMessage | このカウンタは、プロキシで受信された SIP クライア |
| SIPClientRegistered | このカウンタは、プロキシで受信された SIP クライア |
| SIPClientRegisterFailed | このカウンタは、プロキシでの受信に失敗した SIP クラ |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------------------|-----------------------------|
| Sip_Tcp_Requests | このカウンタは、TCP 伝送を介して受信された SIP |
| Sip_Udp_Requests | このカウンタは、UDP 伝送を介して受信された SIP |
| SIPInviteRequestIn | このカウンタは、プロキシで受信された INVITE 要 |
| SIPInviteRequestInForeign | このカウンタは、企業の境界を超えてプロキシで受 |
| SIPInviteRequestOut | このカウンタは、プロキシから送信された INVITE |
| SIPInviteRequestOutForeign | このカウンタは、企業の境界を超えてプロキシから |
| SIPMessageRequestIn | このカウンタは、プロキシで受信された MESSAGE |
| SIPMessageRequestInForeign | このカウンタは、企業の境界を超えてプロキシで受 |
| SIPMessageRequestOutForeign | このカウンタは、企業の境界を超えてプロキシから |
| SIPNotifyRequestIn | このカウンタは、プロキシで受信された NOTIFY 要 |
| SIPNotifyRequestInForeign | このカウンタは、企業の境界を超えてプロキシで受 |
| SIPNotifyRequestOutForeign | このカウンタは、企業の境界を超えてプロキシから |
| SIPRegisterRequestIn | このカウンタは、プロキシで受信された REGISTER |
| SIPRequestInForeign | このカウンタは、企業の境界を超えてプロキシで直 |
| SIPRequestOutForeign | このカウンタは、企業の境界を超えてプロキシから |
| SIPRetransmits | このカウンタは、プロキシによって実行された再送 |
| SIPSubscribeRequestIn | このカウンタは、プロキシで受信された SUBSCRIB |
| SIPSubscribeRequestInForeign | このカウンタは、企業の境界を超えてプロキシで受 |
| SIPSubscribeRequestOutForeign | このカウンタは、企業の境界を超えてプロキシから |

Cisco Sync Agent

このオブジェクトは、同期中に発生したエラーの数に関する情報を提供します。次の表に、Cisco Sync Agent カウンタの情報を示します。

表 72: Cisco Sync Agent カウンタ

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--------------------|--|
| NumberOfSyncErrors | このカウンタは、同期中に発生したエラーの数を表示します。Cisco Sync Agent が再起動すると、カウントが 0 にリセットされます。 このカウンタはサブスクライバノードで常に 0 になります。 |

Cisco XCP 認証コンポーネント

次の表には、Cisco XCP 認証パフォーマンス カウンタについての情報が含まれます。

表 73: Cisco XCP 認証コンポーネントのカウンタ

| カウンタ | カウンタの説明 |
|------------------------|--|
| SASLPlainSuccess | このカウンタは、成功した SASL plain 認証の合計回数を表示します。 |
| SASLPlainFailed | このカウンタは、失敗した SASL plain 認証の合計回数を表示します。 |
| VtgTokenSuccess | このカウンタは、成功した vtg-token 認証の回数を表示します。 |
| VtgTokenFailed | このカウンタは、失敗した vtg-token 認証の回数を表示します。 |
| FailedLicense | このカウンタは、ライセンスがないため失敗した認証の合計回数を表示します。 |
| FailedSASLCredentials | このカウンタは、ユーザ名とパスワードが無効なため失敗した SASL plain 認証の合計回数を表示します。 |
| FailedTokenCredentials | このカウンタは、ユーザ名とパスワードが無効なため失敗した vtg-token 認証の合計回数を表示します。 |

Cisco XCP CM

次の表に、Cisco XCP Connection Manager (CM) のパフォーマンス カウンタの情報を示します。

表 74: Cisco XCP CM カウンタ

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--------------------|---|
| CmConnectedSockets | このカウンタは、Web Connection Manager コンポーネント内の接続されているソケットの数を表します。 |
| CmFailedRequests | このカウンタは、失敗した接続要求の総数を表します。 |

Cisco XCP コンポーネント スタンザ トラフィック

次の表に、Cisco XCP コンポーネント スタンザ トラフィックのパフォーマンス カウンタに関する情報を示します。

表 75: Cisco XCP コンポーネント スタンザ トラフィック カウンタ

| カウンタ | カウンタの説明 |
|------------------------------|---|
| CompStanzaBytesSent | このカウンタは、1コンポーネントあたりの送信バイト数を表します。 |
| CompStanzaBytesRecv | このカウンタは、1コンポーネントあたりの受信バイト数を表します。 |
| CompStanzaErrorsRecv | このカウンタは、送信された1コンポーネントあたりのエラー数を表します。 |
| CompStanzaErrorsSent | このカウンタは、受信された1コンポーネントあたりのエラー数を表します。 |
| CompStanzaPacketsDropped | このカウンタは、ドロップされた1コンポーネントあたりのパケット数を表します。 |
| CompStanzaStanzasSent | このカウンタは、送信された1コンポーネントあたりのスタンザ数を表します。 |
| CompStanzaStanzasRecv | このカウンタは、受信された1コンポーネントあたりのスタンザ数を表します。 |
| CompStanzaMessagePacketsSent | このカウンタは、送信された1コンポーネントあたりのメッセージパケット数を表します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------------------|---|
| CompStanzaMessagePacketsRecv | このカウンタは、受信された 1 コンポーネントあたりのメッセージパケット数を表します。 |
| CompStanzaPresencePacketsSent | このカウンタは、送信された 1 コンポーネントあたりのプレゼンスパケット数を表します。 |
| CompStanzaPresencePacketsRecv | このカウンタは、受信された 1 コンポーネントあたりのプレゼンスパケット数を表します。 |
| CompStanzaIQPacketsRecv | このカウンタは、受信された 1 コンポーネントあたりの IQ パケット数を表します。 |
| CompStanzaIQPacketsSent | このカウンタは、送信された 1 コンポーネントあたりの IQ パケット数を表します。 |

Cisco XCP JDS

次の表に、Cisco XCP JDS のパフォーマンス カウンタに関する情報を示します。

表 76: Cisco XCP JDS カウンタ

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--------------------|--|
| JdsLDAPSuccess | このカウンタは、成功した LDAP 検索の合計回数を表します。 |
| JdsLDAPFailed | このカウンタは、失敗した LDAP 検索の合計回数を表します。 |
| JdsInvalidRequests | このカウンタは、Cisco XCP JDS で拒否されたため LDAP に送信されなかった無効な LDAP 検索要求の数を表します。 |

Cisco XCP JSM

次の表に、XCP JSM Performance カウンタについての情報が含まれます。

表 77: Cisco XCP JSM カウンタ

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------|--|
| JsmMessagesIn | このカウンタは、JSM コンポーネントによって受信されたメッセージスタanza数を表します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------|---|
| JsmMessagesOut | このカウンタは、JSM コンポーネントによって送信されたメッセージスタanzas数を表します。 |
| JsmPresenceIn | このコンポーネントは、JSM コンポーネントによって受信されたプレゼンススタanzas数を表します。 |
| JsmPresenceOut | このコンポーネントは、JSM コンポーネントによって送信されたプレゼンススタanzas数を表します。 |
| JsmIMSessions | このカウンタは、IM and Presence service の実行中 JSM セッションの総数を表します。IM and Presence では、プレゼンスエンジンは起動時に、ライセンスを持つユーザに対して JSM クライアントのエミュレーションセッションを作成します。ユーザが各自のクライアントにサインインしている間に、追加の JSM セッションも作成されます。複数のユーザが複数のクライアントに同時にログインすると、1人のユーザに複数の追加 JSM セッションが作成される場合があります。 |
| JsmOnlineUsers | このカウンタは、1つ以上の JSM セッションを所有するユーザの数を表します。IM and Presence では、プレゼンスエンジンは、ライセンスを持つユーザに対して JSM クライアントのエミュレーションセッションを作成します。このカウンタの値は、プレゼンスエンジン ActiveJsmSessions カウンタの値に一致する必要があります。 |
| JsmLoginRate | このカウンタは、JSM コンポーネントによって追跡される現在のログインレートを表します。 |
| JsmSuccessfulLogins | このカウンタは、ログイン成功の総数を表します。 |
| JsmFailedLogins | このカウンタは、IM and Presence では常に 0 になります。失敗したログインについては、Cisco XCP 認証コンポーネントのカウンタを参照してください。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|------------------------------|---|
| JsmTotalMessagePackets | このカウンタは、JSM コンポーネントによって処理される合計メッセージ パケットを表します。 |
| JsmTotalPresencePackets | このカウンタは、JSM コンポーネントによって処理される合計プレゼンス パケットを表します。 |
| JsmTotalIQPackets | このカウンタは、JSM で処理される IQ パケットの総数を表します。 |
| JsmMsgsInLastSlice | このカウンタは、最後のスライスの JSM コンポーネントによって処理されるメッセージの合計を表します。 |
| JsmAverageMessageSize | このカウンタは、JSM コンポーネントで処理された平均メッセージ サイズを表します。 |
| JsmTotalStateChangePackets | このカウンタは、IM and Presence では常に 0 に設定され、将来使用するために予約されます。 |
| JsmStateChangePacketsInSlice | このカウンタは、IM and Presence では常に 0 に設定され、将来使用するために予約されます。 |
| JsmAverageStateChangeSize | このカウンタは、IM and Presence では常に 0 に設定され、将来使用するために予約されます。 |

Cisco XCP JSM IQ ネームスペース

次の表に、Cisco XCP JSM IQ ネームスペースのパフォーマンス カウンタに関する情報を示します。

表 78: Cisco XCP JSM IQ ネームスペース

| カウンタ | カウンタの説明 |
|------------------|--|
| JSM IQ Namespace | このカウンタは、処理された 1 ネームスペース当たりの IQ パケット数を表します。 |

Cisco XCP JSM セッション

次の表に、Cisco XCP JSM セッションのパフォーマンス カウンタに関する情報を示します。

表 79: Cisco XCP JSM セッション カウンタ

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-----------------------|--|
| JsmSessionIQIn | このカウンタは、JSM で受信された 1 セッションあたりの IQ パケット数を表します。 |
| JsmSessionIQOut | このカウンタは、JSM から送信された 1 セッションあたりの IQ パケット数を表します。 |
| JsmSessionMessagesIn | このカウンタは、JSM で受信された 1 セッションあたりメッセージ パケット数を表します。 |
| JsmSessionMessagesOut | このカウンタは、JSM から送信された 1 セッションあたりのメッセージ パケット数を表します。 |
| JsmSessionPresenceIn | このカウンタは、JSM で受信された 1 セッションあたりのプレゼンス パケット数を表します。 |
| JsmSessionPresenceOut | このカウンタは、JSM で受信された 1 セッションあたりのプレゼンス パケット数を表します。 |
| JsmSessionRosterSize | このカウンタは 1 セッションあたりの個々の参加者サイズを表します。 |

Cisco XCP MA の基本

次の表に、Cisco XCP Message Archiver の基本パフォーマンス カウンタに関する情報を示します。

表 80: Cisco XCP MA の基本カウンタ

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-----------------|---|
| ReceivedPackets | このカウンタは、IM and Presence によって受信され、Message Archiver コンポーネントでアーカイブされるパケットの総数を表します。 |
| SentPackets | このカウンタは、IM and Presence から送信され、Message Archiver コンポーネントでアーカイブされるパケットの総数を表します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------|--|
| SuccessfulDBWriters | このカウンタは、データベースに書き込まれた確認済み IM レコードを表します。 |
| FailedDBWriters | このカウンタは、失敗したデータベースへの書き込みを表します。 |
| PacketsDropped | このカウンタは、isTyping パケットのように Message Archiver で受信されたがデータベースに書き込まれていないパケットの数を表します。 |
| DBQueueSize | このカウンタは、Message Archiver がデータベースへの書き込みを保留してキューイングしたパケットの数を表します。 |

Cisco XCP マネージド ファイル転送

次の表に、Cisco XCP マネージドファイル転送のパフォーマンスカウンタに関する情報を示します。

表 81: マネージド ファイル転送カウンタ

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------------------|--|
| MFTBytesDownloadedLastTimeslice | このカウンタは、最後のレポートインターバル（通常は60秒）の間にダウンロードされたバイト数を表します。 |
| MFTBytesUpoadedLastTimeslice | このカウンタは、最後のレポートインターバル（通常は60秒）の間にアップロードされたバイト数を表します。 |
| MFTFilesDownloaded | このカウンタは、ダウンロードされたファイルの総数を表します。 |
| MFTFilesDownloadedLastTimeslice | このカウンタは、最後のレポートインターバル（通常は60秒）の間にダウンロードされたファイル数を表します。 |
| MFTFilesUploaded | このカウンタは、アップロードされたファイルの総数を表します。 |
| MFTFilesUploadedLastTimeslice | このカウンタは、最後のレポートインターバル（通常は60秒）の間にアップロードされたファイル数を表します。 |

Cisco XCP Router

次の表に、Cisco XCP ルータのパフォーマンス カウンタに関する情報を示します。

表 82: Cisco XCP ルータ カウンタ

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------|---|
| RouterNormalPackets | このカウンタは、Cisco XCP ルータが処理する通常のパケットの総数を表します。 |
| RouterXdbPackets | このカウンタは、Cisco XCP ルータが処理するxdb パケットの総数を表します。 |
| RouterRoutePackets | このカウンタは、Cisco XCP ルータが処理するルート パケットの総数を表します。 |
| RouterLogPackets | このカウンタは、Cisco XCP ルータが処理するログ パケットの総数を表します。 |

Cisco XCP SIP S2S

次の表に、Cisco XCP SIP のサーバ間 (S2S) パフォーマンス カウンタの情報を示します。

表 83: Cisco SIP S2S カウンタ

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------------------|---|
| SIPS2SIncomingDomains | このカウンタは、着信サブスクリプションのある外部ドメインの総数を表します。 |
| SIPS2SOutgoingDomains | このカウンタは、発信サブスクリプションのある外部ドメインの総数を表します。 |
| SIPS2SSubscriptionsOut | このカウンタは、アクティブな SIP 発信サブスクリプションの総数を表します。 |
| SIPS2SSubscriptionsIn | このカウンタは、アクティブな SIP 着信サブスクリプションの総数を表します。 |
| SIPS2SSubscriptionsPending | このカウンタは、保留中の SIP 発信サブスクリプションの総数を表します。 |
| SIPS2SNotifyIn | このカウンタは、受信された SIP NOTIFY メッセージの総数を表します。 |
| SIPS2SNotifyOut | このカウンタは、送信された SIP NOTIFY メッセージの総数を表します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|------------------|--|
| SIPS2SMessageIn | このカウンタは、受信された SIP MESSAGE メッセージの総数を表します。 |
| SIPS2SMessageOut | このカウンタは、送信された SIP MESSAGE メッセージの総数を表します。 |
| SIPS2SByeIn | このカウンタは、受信された SIP BYE メッセージの総数を表します。 |
| SIPS2SInviteIn | このカウンタは、受信された SIP INVITE メッセージの総数を表します。 |
| SIPS2SInviteOut | このカウンタは、送信された SIP INVITE メッセージの総数を表します。 |

Cisco XCP S2S

次の表に、Cisco XCP のサーバ間 (S2S) パフォーマンス カウンタの情報を示します。

表 84: Cisco XCP S2S カウンタ

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------------|---------------------------------------|
| S2SIncomingDomains | このカウンタは、着信サブスクリプションのある外部ドメインの総数を表します。 |
| S2SOutgoingDomains | このカウンタは、発信サブスクリプションのある外部ドメインの総数を表します。 |
| S2SFailedDialbackIn | このカウンタは、失敗した着信ダイヤルバックの総数を表します。 |
| S2SFailedDialbackOut | このカウンタは、失敗した発信ダイヤルバックの総数を表します。 |

Cisco XCP TC

次の表に、Cisco XCP Text Conferencing (TC) のパフォーマンス カウンタに関する情報を示します。

表 85: Cisco XCP TC カウンタ

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--------------|----------------------------------|
| TcTotalRooms | このカウンタは、全種類のテキストチャットルームの総数を表します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------------|---|
| TcAdhocRooms | このカウンタは、アドホックのテキストチャットルームの総数を表します。 |
| TcPersistentRooms | このカウンタは、永続的なテキストチャットルームの総数を表します。 |
| TcCreatedRooms | このカウンタは、作成されたテキストチャットルームの総数を表します。 |
| TcDeletedRooms | このカウンタは、削除されたテキストチャットルームの総数を表します。 |
| TcMessagesIn | このカウンタは、受信されたグループチャットメッセージの総数を表します。 |
| TcMessagesOut | このカウンタは、送信されたグループチャットメッセージの総数を表します。 |
| TcDirectedMessagesIn | このカウンタは、受信したプライベートおよび招待メッセージの総数を表します。 |
| TcMessagesPersisted | このカウンタは、外部データベースに保存されたメッセージの総数を表します。 |
| TcMessagesIgnored | このカウンタは、外部データベースに保存されていないメッセージの総数を表します。 |

Cisco XCP TC ルーム

次の表に、Cisco XCP TC ルームのパフォーマンスカウンタに関する情報を示します。

表 86: Cisco XCP TC ルーム カウンタ

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--------------------|---------------------------------------|
| TCRoomNumOccupants | このカウンタは、1 チャットルームあたりの占有者数を表します。 |
| TCRoomBytesSent | このカウンタは、1 チャットルームあたりの送信バイト数を表します。 |
| TCRoomBytesRecv | このカウンタは、1 チャットルームあたりの受信バイト数を表します。 |
| TCRoomStanzasSent | このカウンタは、送信された1 チャットルームあたりのスタンザ数を表します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------------|---|
| TCRoomStanzasRecv | このカウンタは、1 チャット ルームあたりの受信スタanzas数を表します。 |
| TCRoomMsgPacketSent | このカウンタは、1 チャット ルームあたりの送信メッセージ数を表します。 |
| TCRoomMsgPacketsRecv | このカウンタは、1 チャット ルームあたりの受信メッセージ数を表します。 |
| TCRoomPresencePacketsSent | このカウンタは、1 チャット ルームあたりの送信プレゼンス パケット数を表します。 |
| TCRoomPresencePacketsRecv | このカウンタは、1 チャット ルームあたりの受信プレゼンス パケット数を表します。 |
| TCRoomIQPacketsSent | このカウンタは、送信された 1 チャット ルームあたりの IQ パケット数を表します。 |
| TCRoomIQPacketsRecv | このカウンタは、受信された 1 チャット ルームあたりの IQ パケット数を表します。 |

Cisco XCP WebCM

次の表に、Cisco XCP Web Connection Manager のパフォーマンス カウンタに関する情報を示します。

表 87: Cisco XCP WebCM カウンタ

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-----------------------|--|
| WebCMConnectedSockets | このカウンタは、接続された XMPP クライアントセッションの累計数を表します。 |
| WebCMFailedRequests | このカウンタは、失敗した接続要求の総数を表します。 |

Cisco Unity Connection カウンタ

CUC Data Store

CUC Data Store オブジェクトは、登録済みのデータベースの Cisco Unity Connection による使用率に関する情報を提供します。次の表に、CUC Data Store カウンタに関する情報を示します。

表 88 : CUC Data Store

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-----------------------|--|
| Allocated Memory [kb] | データベース サーバの仮想アドレス容量 (KB 単位)。 |
| Database Connections | データベース サーバへの合計接続数。 |
| Disk Reads | 過去 30 秒間のすべてのデータ チャンク (行) でのディスク読み取り操作の数の合計。 |
| Disk Reads/second | 1 秒あたりのディスクからの読み取り操作の数。 |
| Disk Writes | 過去 30 秒間のディスクへの書き込み操作の数。 |
| Disk Writes/second | 1 秒あたりのディスクへの書き込み操作の数。 |
| Shared Memory [kb] | データベース サーバの共有メモリの使用されている量 (KB 単位)。 |

CUC データ ストア : データベース

CUC Data: Databases オブジェクトは、Cisco Unity Connection で使用されるデータベースに関する情報を提供します。

表 89 : CUC データ ストア : データベース

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------|---------------------------|
| Disk Reads/chunk | 選択したデータ チャンクに対する読み取り操作の回数 |
| Disk Writes/chunk | 選択したデータに対する書き込み操作の数 |

CUC Digital Notifications

CUC Digital Notifications オブジェクトは、SMS および SMTP 通知の合計数に関する情報を提供します。次の表に、CUC Digital Notification カウンタに関する情報を示します。

表 90 : CUC Digital Notifications

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--------------------------|---------------------|
| SMS Notifications Failed | 接続に失敗した SMS 通知の合計数。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---|---|
| SMS Notifications Total | Cisco Unity Connection がサブスクライバに送信した SMS 通知の |
| SMTP Notifications Total | Cisco Unity Connection がサブスクライバに送信した SMTP 通知の |
| HTML Notifications with Summary of voice messages | サマリー通知の数を維持するカウンタ。 |
| HTML Notifications with Summary of voice messages in Last One Minute | The counter to maintain count of summary notifications sent in last one |
| Scheduled Notifications Total | 送信されたスケジュール済みサマリー通知の数を維持するカウン |
| Scheduled Notifications in Last One Minute | 過去1分間に送信されたスケジュール済みサマリー通知の数を維持するカウンタ。 |
| Scheduled Notifications dropped due to Parent Schedule off | 親スケジュールがオフになったためにドロップされた(送信されなかった)スケジュール済みサマリー通知の数を維持するカウンタ。 |
| Scheduled Notifications dropped due to Parent Schedule off in Last One Minute | 親スケジュールがオフになったため、過去1分間にドロップされた(送信されなかった)スケジュール済みサマリー通知の数を維持するカウンタ。 |
| Missed Call Notifications Total | Cisco Unity Connection から送信された不在着信通知の合計数。 |

CUC Directory Services

CUC Directory Services オブジェクトは、Cisco Unity Connection で使用するディレクトリ サービスのパフォーマンスに関する情報を提供します。

Directory Search Duration Average [s] カウンタは、Cisco Unity Connection サーバに対するディレクトリ検索要求を完了するための平均時間（秒）を表します。

CUC Feeder

CUC Feeder オブジェクトは、フィーダによって処理された全要求の数を保持します。次の表に、CUC Feeder カウンタに関する情報を示します。

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---|--|
| Total objects requests processed | フィーダが処理した HTTP[S]/CCI オブジェクト要求の合計数。 |
| Objects requests processed in last 15 minutes | 過去 15 分間にフィーダが処理した HTTP[S]/CCI オブジェクト要求の合計数。 |
| Total object requests processed | フィーダが処理した HTTP[S]/CCI オブジェクト要求の合計数。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--|--|
| Object requests processed in last 15 minutes | 過去 15 分間にフィードが処理した HTTP[S]/CCI オブジェクト要求の合計数。 |

CUC メールボックス同期

メールボックス同期サービスは、Unity Connection と Exchange の間でメッセージを同期します。

次の表には、メールボックス同期カウンタについての情報が含まれます。

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------------|---|
| Active thread count | Cisco Unity Connection は、Cisco Unity Connection から Exchange サーバへのボイスメールを同期するためのスレッドを維持します。その逆も同様です。このカウンタは、ボイスメールの同期にアクティブに使用されているスレッドの数をいつでも指定します。 |
| Background queue size | メールボックス同期には、バックグラウンド、通常、時間に依存する3つのタイプのプライオリティキューがあります。バックグラウンドキューは最も低いプライオリティです。このキューには、各メールボックスが1時間ごとにバックグラウンドで再同期するためにスケジュールされた項目があります。 |
| Normal queue size | 通常のキューには、中程度のプライオリティがあります。このキューには、メッセージ操作(メッセージの作成、読み取り、未開封、削除など)がユーザによって実行されるか、または Cisco Unity Connection Administration のユニファイドメッセージングページで管理者による設定更新のためにスケジュールされた項目があります。 |
| Time sensitive queue size | 時間依存キューの優先度が最も高くなります。このキューには、サブスクリプションを有効にするために Cisco Unity Connection から Exchange サーバに送信されるキープアライブメッセージによってスケジュール設定された項目があります。これは、2003 Exchange server のみに適用されます。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------------|---|
| Total connection errors | これは、CuMbxSync プロセスがデータベースからデータの取得または更新に失敗した回数を指定します。 |
| Total Mailbox Adds | これは、ユーザメールボックスがサブスクリプション用に設定された回数を指定します。Unity Connection と Exchange の間の通信エラーが発生すると、ユーザメールボックスの削除と再追加が行われます。 |
| Total Mailbox Removes | これは、ユーザメールボックスがサブスクリプション解除のために設定された回数を指定します。Unity Connection と Exchange の間でエラーが発生すると、ユーザメールボックスが削除または再追加されます。 |
| Total Resyncs | これは、Exchange サーバとのユーザメールボックスの再同期の合計回数を指定します。Cisco Unity Connection は、1時間ごとにすべてのユーザメールボックスのバックグラウンド再同期を行います。 |
| Total Retries | Cisco Unity connection と Exchange server の間で通信障害が発生するたびに、Unity Connection は特定のユーザメールボックスのメールボックス同期を再試行します。このカウンタは、このようなオカレンスの数を指定します。 |
| Total Work Items | これは、すべてのユーザメールボックスで、作成、読み取り、未開封、および DELETE などのメッセージング操作が実行された回数を指定します。 |

Gmail サーバでの CUC メールボックス同期

Google Workspace サービスは、Unity Connection と Gmail サーバ上のメールボックスの間でメッセージを同期します。次の表には、カウンタについての情報が含まれます。

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--|---|
| Active Thread Count From Gmail To Connection | このカウンタは、Gmail サーバから Unity Connection への同期を実行している現在アクティブなスレッドの数を記録します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--|--|
| Active Thread Count From Connection to Gmail | このカウンタは、Unity Connection から Gmail サーバへの同期を実行している現在アクティブなスレッドの数を記録します。 |
| Outstanding Request of Gmail to Connection | このカウンタは、特定の時点でGmailサーバから Unity Connection に同期されるメッセージのキューサイズのカウントを記録します。 |
| Outstanding Request of Connection to Gmail | このカウンタは、特定の時点で Unity Connection から Gmail サーバに同期されるメッセージのキューサイズのカウントを記録します。 |
| Total Database Connection Errors | このカウンタは、メッセージの同期中にデータベース機能の実行に失敗したすべての操作を記録します。 |
| Total HTTPs Requests | このカウンタは、Gmail サーバに送信されたすべてのHTTP リクエストを記録します。 |
| Total HTTPs Failure | このカウンタは、HTTP リクエストで発生したすべてのエラーを記録します。 |
| Total Mailbox Adds | このカウンタは、システムに追加されたユニファイドメッセージングアカウント (UMA) の総数を記録します。(UMAを削除しても値は減少しません) |
| Total Mailbox Removes | このカウンタは、システムから削除されたユニファイドメッセージングアカウント (UMA) の総数を記録します。(UMAを追加しても値は減少しません) |
| Total Resyncs | このカウンタは、システムで行われた再同期の総数を記録します。 |
| Total Retries | このカウンタは、同期対象のメッセージに対して行われた再試行の総数を記録します。 |
| Read Message on Connection | このカウンタは、Gmail サーバからの同期に応じて Unity Connection で開封済みとマークされたメッセージの数を記録します。 |
| Unread Message on Connection | このカウンタは、Gmail サーバからの同期に応じて、Unity Connection で未開封とマークされたメッセージの数を記録します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--|---|
| Delete Message on Connection | このカウンタは、Gmailサーバからの同期に 応答してUnity Connectionで削除とマークされた メッセージの数を記録します。 |
| Create Message on Connection | このカウンタは、Gmailサーバからの同期に 応じてUnity Connectionで作成されたメッセ ージの数を記録します。 |
| Read Message on Gmail | このカウンタは、Unity Connectionからの同期 に 応答して、Gmailサーバで開封済みとマーク されたメッセージの数を記録します。 |
| Unread Message on Gmail | このカウンタは、Unity Connectionからの同期 に 応答して、Gmailサーバで未開封とマークさ れたメッセージの数を記録します。 |
| Delete Message on Gmail | このカウンタは、Unity Connectionからの同期 に 応答して、Gmailサーバで削除とマークされ たメッセージの数を記録します。 |
| Create Message on Gmail (受信トレイフォルダ) | このカウンタは、Unity Connectionからの同期 に 応答して、Gmailサーバ上のメールボックス で作成されたメッセージの数を記録します。 |
| Create Message on Gmail (送信済みフォルダ) | このカウンタは、Unity Connectionからの同期 に 応答して、Gmailサーバ（送信済み）のメー ルボックスに作成されたメッセージの数を記 録します。 |

CUC Message Store

CUC Message Store オブジェクトは、Cisco Unity Connection メッセージストアのパフォーマンスに関する情報を提供します。次の表に、CUC Message Store カウンタに関する情報を示します。

表 91 : CUC Message Store

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------------|---|
| Bad Mail Total | MTA サーバの最後の再起動以降に Bad Mail フォルダに送信され たメッセージの総数。 |
| Delivery Receipts Total | MTA サーバの最後の再起動以降の送信確認の合計数。 |
| Incoming Recalls | 他のネットワーク ロケーションのリモート送信者によって開始 されたメッセージのローカル コピーを取り消すための着信要求の数。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---|---|
| Intersite Messages Delivered Per Minute | 過去 1 分間に配信されたサイト間メッセージの数。 |
| Intersite Messages Delivered Total | MTA サーバの最後の再起動以降に配信されたサイト間メッセージの合計数。 |
| Intersite Messages Received Per Minute | 過去 1 分間に受信したサイト間メッセージの数。 |
| Intersite Messages Received Total | MTA サーバの最後の再起動以降に受信したサイト間メッセージの合計数。 |
| Intersite Messages Total | MTA サーバの最後の再起動以降に配信および受信したサイト間メッセージの合計数。 |
| Local Recalls | このサーバ上のローカル送信者が開始したメッセージ取り消し。 |
| Message Size Average [kb] | 各サンプルでの MTA のキロバイト単位での平均サイズ。 |
| Messages Delivered Total | MTA サーバの最後の再起動以降に配信されたメッセージの合計数。 |
| Messages Received Per Minute | MTA が 1 分間に受信したメッセージの合計数。 |
| Messages Received Total | MTA サーバの最後の再起動以降に受信したメッセージの合計数。 |
| Non-delivery Receipts Total | MTA サーバの最後の再起動以降の未送信確認の合計数。 |
| Number of Items Recalled | メッセージの取り消しの合計数。この数には複数の受信者に送信されたメッセージの個別のコピーも含まれるため、Total Recalls, Local and Remote Recalls パフォーマンス カウンタをはるかに上回る数になる可能性があります。 |
| Queued Messages Current | 現在 MTA にキューイングされているメッセージ数。 |
| Read Receipts Total | MTA サーバの最後の再起動以降の受信確認の合計数。 |
| Retries Total | MTA サーバの最後の再起動以降の再試行の合計数。 |
| Total dispatch message folder items delivered | MTA の開始以降に個々のユーザのメールボックスに配信されたディスパッチメッセージの合計数。この数には複数の受信者に送信された個々のコピーの数が含まれます。 |
| Total dispatch messages accepted | MTA サーバの最後の再起動以降に受理されたディスパッチメッセージの合計数。 |
| Total dispatch messages delivered | MTA の開始以降に配信されたディスパッチメッセージの合計数。これは、受信者数に関係なく、各メッセージが 1 回だけ含まれます。 |
| Total dispatch message items rejected | MTA サーバの最後の再起動以降に拒否されたディスパッチメッセージのコピーの合計数。 |
| Total dispatch messages removed due to acceptance | MTA サーバの最後の再起動以降に、メッセージが他のユーザに送信されていたためユーザのメールボックスから除外されていたディスパッチメッセージの合計数。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--|--|
| Total recalls, local and remote | ローカル送信者およびリモート送信者が開始したメッセージ取り戻し数。この数は、Incoming Recalls パフォーマンス カウンタおよび Outgoing Recalls パフォーマンス カウンタの合計と一致します。 |
| VPIM Message Decode Duration Average [s] | MIME 形式のボイス メッセージを元の形式にデコードするための平均時間 (秒)。 |
| VPIM Message Encode Duration Average [s] | MIME 形式にボイス メッセージをエンコードする平均時間 (秒)。 |
| VPIM Messages Delivered Per Minute | Cisco Unity Connection メッセージストアが 1 分間に配信した VPIM メッセージの数。 |
| VPIM Messages Delivered Total | Cisco Unity Connection メッセージストアが配信した VPIM メッセージの総数。 |
| VPIM Messages Received Per Minute | Cisco Unity Connection メッセージストアが 1 分間に受信した VPIM メッセージの数。 |
| VPIM Messages Received Total | Cisco Unity Connection メッセージストアが受信した VPIM メッセージの総数。 |
| VPIM Messages Total | Cisco Unity Connection メッセージストアが処理した VPIM メッセージの総数。 |
| Messages Undelivered Mailbox Quota Full Notification Total | メールボックスクォータがいっぱいになったときに送信されたメッセージの合計数。 |
| Video Messages Delivered Total | MTA サーバの最後の再起動以降に配信されたビデオメッセージの総数。 |
| Video Messages Delivered Per Minute | MTA サーバの最後の再起動以降、1分間に配信されたビデオメッセージの総数。 |
| Video Messages Processed by MTA Total | サーバの最後の再起動以降に MTA サーバによって処理された (成功したと失敗した) ビデオメッセージの合計数。 |
| Video Messages Processed by MTA Per Minute | サーバの最後の再起動以降に、MTA サーバによって1分間に処理された (成功したと失敗した) ビデオメッセージの合計数。 |

CUC Message Store: Databases

CUC Message Store: Databases オブジェクトは、Cisco Unity Connection で使用されるメッセージストア データベースに関する情報を提供します。

Messages Delivered Per Message Store カウンタは、MTA サーバが最後に再起動されて以降、1メッセージストアあたりに配信されたメッセージの総数を表します。

CUC Personal Call Transfer Rules

CUC Personal Call Transfer Rules オブジェクトは、パーソナル着信転送ルール（PCTR）の数と使用状況についての情報を提供します。次の表に、CUC Personal Call Transfer Rules カウンタに関する情報を示します。

表 92 : CUC Personal Call Transfer Rules

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-----------------------|---|
| Applicable Rule Found | ルール処理が開始され、適用可能な転送ルールが見つかった転送ルール（PCTR）のコール。 |
| Destinations Tried | 転送ルールが適用されている間に試行された転送先の数。 |
| PCTR Calls | パーソナル着信転送ルール（PCTR）による処理を適用された当てる COS が PCTR で有効化されている、ユーザは Unified Manager ユーザである、ユーザは PCTR を無効にしていない） |
| Rules Evaluated | パーソナル着信転送ルール（PCTR）のコールでのルール処理したルールの数。 |
| Subscriber Reached | 転送ルールが適用されている間にサブスクライバに到達した |
| Transfer Failed | パーソナル着信転送ルールが適用されている間に、Cisco Uni 転送先へのコールの転送に失敗した回数。転送の失敗には、送先が接続済み、通話中、RNA 状態、またはタイムアウトにを除くすべての状態が含まれます。転送中に発信者が電話をの失敗と見なされます。 |
| Voicemail Reached | 転送ルールが適用されている間にボイスメールが到達した回 |

CUC Phone System

CUC Phone System オブジェクトは、電話システム統合のパフォーマンスに関する情報を提供します。次の表に、CUC Phone System カウンタについての情報を示します。

表 93 : CUC Phone System

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------------|--|
| Call Count Current | Cisco Unity Connection サーバへの着信および発信コールの現 |
| Call Count Total | Cisco Unity Connection サーバへの着信および発信コールの合 |
| Call Duration Average [s] | Cisco Unity Connection サーバからの着信コールと発信コール（秒）。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---|--|
| Call Duration Total [s] | Cisco Unity Connection サーバからの着信コールと発信コールの合計持続時間 (秒)。 |
| Calls Unanswered Total | Cisco Unity Connection サーバでの無応答コールの合計数。 |
| Incoming Calls CFB Current | 話中転送として受信した着信コールの現在の数。 |
| Incoming Calls CFB Total | 話中転送として受信した着信コールの合計数。 |
| Incoming Calls CFNA Current | 無応答時転送として受信した着信コールの現在の数。 |
| Incoming Calls CFNA Total | 無応答時転送として受信した着信コールの合計数。 |
| Incoming Calls Current | 着信コールの現在の数。 |
| Incoming Calls Direct Current | 直接コールとして受信した着信コールの現在の数。 |
| Incoming Calls Direct Total | 直接コールとして受信した着信コールの合計数。 |
| Incoming Calls Duration Average [s] | Cisco Unity Connection サーバへのすべての着信コールの平均持続時間 (秒)。 |
| Incoming Calls Duration Total [s] | Cisco Unity Connection サーバへのすべての着信コールの合計持続時間 (秒)。 |
| Incoming Calls No Info Total | 統合情報を持たない着信コールの合計数。 |
| Incoming Calls Total | 着信コールの合計数。 |
| Message Notification Duration Average [s] | Cisco Unity Connection サーバからのすべてのメッセージ通知を完了したメッセージの平均時間 (秒)。 |
| Message Notification Duration Total [s] | Cisco Unity Connection サーバからのすべてのメッセージ通知を完了したメッセージの合計時間 (秒)。 |
| Message Notifications Failed | 宛先番号への接続に失敗したメッセージ通知の合計数。 |
| Message Notifications Total | Cisco Unity Connection がサブスクライバに送信したメッセージ通知の合計数。 |
| MWI Request Duration Average [ms] | Cisco Unity Connection サーバからのすべての MWI 要求の平均持続時間 (ミリ秒単位)。 |
| MWI Request Duration Total [ms] | Cisco Unity Connection サーバからのすべての MWI 要求の合計持続時間 (ミリ秒単位)。 |
| MWI Requests Failed Total | 宛先番号への接続または MWI 操作の完了に失敗した MWI 要求の合計数。 |
| MWI Requests Total | Cisco Unity Connection が送信した MWI 要求の合計数。 |
| Outgoing Calls Duration Average [s] | Cisco Unity Connection サーバからのすべての発信コールの平均持続時間 (秒)。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---|--|
| Outgoing Calls Duration Total [s] | Cisco Unity Connection サーバからのすべての発信コールの合計時間 (秒)。 |
| Outgoing Calls Release Transfers Completed | Cisco Unity Connection サーバからの完了リリース転送の数。 |
| Outgoing Calls Release Transfers Failed | 宛先番号への接続に失敗した Cisco Unity Connection サーバからのリリース転送の数。 |
| Outgoing Calls Release Transfers Total | Cisco Unity Connection サーバから試行されたリリース転送の合計数。 |
| Outgoing Calls Supervised Transfers Completed | Cisco Unity Connection サーバからの完了監視転送の数。 |
| Outgoing Calls Supervised Transfers Dropped | 進行中にドロップされた Cisco Unity Connection サーバからの監視転送の数。 |
| Outgoing Calls Supervised Transfers Failed | 宛先番号への接続に失敗した Cisco Unity Connection サーバからの監視転送の数。 |
| Outgoing Calls Supervised Transfers Total | Cisco Unity Connection サーバからの監視転送の合計数。 |
| Outgoing Calls Transfers Total | Cisco Unity Connection が試行したリリース転送および監視転送の合計数。 |
| Pager Notifications Duration Average [s] | Cisco Unity Connection サーバからのすべてのポケットベル通知の平均時間 (秒)。 |
| Pager Notifications Duration Total [s] | Cisco Unity Connection サーバからのすべてのポケットベル通知の合計時間 (秒)。 |
| Pager Notifications Failed | 宛先番号への接続に失敗したポケットベル通知の合計数。 |
| Pager Notifications Total | Cisco Unity Connection がサブスクライバに送信したポケットベル通知の合計数。 |
| Port Idle Duration [s] | Cisco Unity Connection サーバへの着信コール間でいずれかのポートがアイドル状態のままになっている合計時間 (秒)。 |
| Port Idle Duration Average [s] | Cisco Unity Connection サーバへの着信コール間でいずれかのポートがアイドル状態のままになっている平均時間 (秒)。 |
| Ports Idle Current | Cisco Unity Connection サーバで使用されていない統合ポートの現在の数。 |
| Ports In Use Current | Cisco Unity Connection サーバで使用されている統合ポートの現在の数。 |
| Ports Locked | Cisco Unity Connection がもう応答しないかまたは使用不可能なポートの現在の数。 |
| Missed Call Total | Cisco Unity Connection サーバによってトリガーされた不在着信の合計数。 |

CUC Phone System: Ports

CUC Phone System: Ports オブジェクトは、Cisco Unity Connection のボイス メッセージング ポートに関する情報を提供します。次の表に、CUC Phone System: Ports カウンタに関する情報を示します。

表 94: CUC Phone System: Ports

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------------------|---|
| Port Calls | Cisco Unity Connection サーバの最後の再起動以降に、このポート コールの合計数。これには、着信、MWI 発信、通知発信、TRAI 及び VPIM 発信など、すべてのタイプのコールが含まれます。 |
| Port Idle Percent | Cisco Unity Connection サーバ上のアイドル ポートの分配の割合 (ト)。 |
| Port Usage Duration Average [s] | ポートでアクティブにコールが処理されていた平均時間 (秒)。 |
| Port Usage Duration Total [s] | ポートでアクティブにコールが処理されていた合計時間 (秒)。 |
| Port Usage Percent | Cisco Unity Connection サーバ上ポートへのコールの分配の割合 (ト)。 |

CUC Replication

CUC Replication オブジェクトは、Cisco Unity Connection の冗長性のためのレプリケーションに関する情報を提供します。次の表に、CUC Replication カウンタに関する情報を示します。

表 95: CUC Replication

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------------------------|----------------------------------|
| File Replication Latency [s] | レプリケーションが開始される前にファイルが存在していた期間。 |
| File Replication Latency Max [s] | サービスが開始されてからのファイル レプリケーションの最大遅延。 |
| File Transfer Rate [kbytes/s] | レプリケーションされた各ファイルの転送速度。 |
| Files Replicated Total | サービスの開始以降にレプリケーションされたファイルの数。 |
| Transfer Rate [bytes/s] | 秒単位で転送されるバイト数。 |

CUC Replicator: Remote Connection Locations

CUC Replicator: Remote Connection Locations オブジェクトは、リモート接続のロケーションのレプリケーションに関する情報を提供します。次の表に、CUC Replicator: Remote Connection Locations カウンタに関する情報を示します。

表 96 : CUC Replicator: Remote Connection Locations

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--------------------------------|--|
| Dependencies Requests Received | Connection ロケーションから受信した要求されたレプリケーションの数。 |
| Dependencies Requests Sent | Connection ロケーションへ送信したレプリケーション依存関係の数。 |
| Message Receive Failures | 障害のため受信されなかったこの Connection ロケーションからのレプリケーション メッセージの数。 |
| Message Send Failures | 障害のため送信されなかったこの Connection ロケーションへのレプリケーション メッセージの数。 |
| Messages Received | Connection ロケーションから受信したレプリケーション メッセージの数。 |
| Messages Sent | Connection ロケーションへ送信したレプリケーション メッセージの数。 |
| NDR Messages Received | Connection ロケーションから受信したレプリケーション NDR メッセージの数。 |
| USN Requests Received | Connection ロケーションから受信した USN 要求の数。これはタイムアウトがリモート ノードで発生したことを示します。 |

Connection REST Tomcat Connector

Tomcat Hypertext Transport Protocol (HTTP) および HTTP Secure (HTTPS) Connector オブジェクトは、Tomcat コネクタについての情報を提供します。

Connection Rest Tomcat HTTP コネクタは、要求を受信して応答を送信するエンドポイントを表します。このコネクタは、アプリケーションの VMREST リクエストにアクセスしたときに発生する HTTP/HTTPS リクエストの処理と HTTP/HTTPS 応答の送信を行います。VMREST リクエスト URL のセキュアソケットレイヤ (SSL) ステータスは、各 Rest Tomcat Connector のインスタンス名の基準を提供します。たとえば、SSL の場合は `https://<IP Address>:8443`、非 SSL の場合は `http://<IP Address>:8080` になります。

次の表に、Connection Rest Tomcat コネクタカウンタに関する情報を示します。

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------|---|
| Errors | コネクタで発生した HTTP エラー (たとえば、「401 未認証 (401 Unauthorized) 」) の合計数。 |
| MBytesReceived | コネクタが受信したデータの量。 |
| MBytesSent | コネクタが送信したデータの量。 |
| Requests | コネクタが処理した要求の総数。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--------------|--|
| ThreadsTotal | 要求処理スレッドの現在の合計数、コネクタの使用可能/使用中のスレッドを含みます。 |
| ThreadsMax | コネクタの要求処理スレッドの最大数。 関連のウィンドウで着信する VMREST リクエストは、そのリクエストの期間中、1つのスレッドを必要とします。現在使用可能な要求処理スレッドで処理できる数を上回る同時要求を受信した場合は、このカウンタに表示される設定最大数を上限として、追加のスレッドが作成されます。さらに別の同時要求を受信すると、それらの要求は、内部で指定された最大数になるまで、コネクタで作成されたサーバソケット内に累積されます。それ以外の同時要求は、それらの要求を処理するリソースが使用可能になるまで、接続拒否メッセージを受け取ります。 |
| ThreadsBusy | このカウンタは、コネクタのビジー状態/使用中の要求処理スレッドの現在の数を表します。 |

Connection REST Tomcat JVM

Cisco Tomcat Java Virtual Machine (JVM) オブジェクトは、VMREST リクエスト URL で使用される共通リソースメモリのプールに関する情報を提供します。動的メモリブロックには、Tomcat とその VMREST リクエストが作成するすべてのオブジェクトが格納されます。

次の表に、Connection REST Tomcat JVM カウンタに関する情報を示します。

| カウンタ | カウンタの説明 |
|------------------|--|
| KBytesMemoryFree | Tomcat Java Virtual Machine の動的メモリブロック（ヒープメモリ）の量。 動的メモリの空き容量が少なくなると、追加のメモリが自動的に割り当てられ、KbytesMemoryTotal カウンタに表示される合計メモリサイズが増加します。ただし、KbytesMemoryMax カウンタに表示される最大容量を上限とします。 使用中のメモリ容量は、KbytesMemoryTotal から KBytesMemoryFree の値を減算することで判断できます。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------|---|
| KBytesMemoryMax | Tomcat Java Virtual Machine の動的メモリ ブロック（ヒープメモリ）の量。 |
| KBytesMemoryTotal | 空きメモリと使用中メモリを含む、Tomcat Java Virtual Machine の現在の動的メモリ ブロックの合計サイズ。 |

Connection REST Tomcat Web アプリケーション

Cisco Rest Tomcat Web Application オブジェクトは、VMREST リクエスト URL の実行方法についての情報を提供します。

次の例で示すように、VMREST リクエスト URL は、各 Rest Tomcat Web Application のインスタンス名の基準になります。

- Cisco Unified Communications Manager の管理ページ (<https://<IP Address>:8443/ccmadmin>) は、ccmadmin により識別されます。
- Cisco Unified Serviceability (<https://<IP Address>:8443/ccmservice>) は、ccmservice によって識別されます。
- Cisco Unified Communications Manager のユーザ オプション (<https://<IP Address>:8443/ccmuser>) は、ccmuser によって識別されます。
- Cisco Unity Connection の管理ページ (<https://<IP Address>:8443/cuadmin>) は、cuadmin によって識別されます。
- 拡張子を持たない URL (<https://<IP Address>:8443> や <http://<IP Address>:8080>) は、_root によって識別されます。

次の表に、Connection Rest Tomcat Web Application カウンタについての情報を示します。

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------|---|
| Errors | Cisco Unified Communications Manager 関連、または Cisco Unity Connection 関連の Web アプリケーションで発生した HTTP エラー（たとえば、401 未認証など）の合計数を表します。 |
| Requests | Web アプリケーションが処理する VMREST リクエストの数の合計数。Requests カウンタは、Web アプリケーションにアクセスするたびに増加します。 |
| SessionsActive | Web アプリケーションでアクティブまたは使用中のセッションの数。 |

CUC Sessions: Authz Server

表 97: CUC Sessions: Authz Server

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---|--------------------------|
| CUC Authz Total Validation Requests | Authz 検証要求の合計数。 |
| CUC Authz Successful Validation Requests | 成功した Authz 検証の合計数。 |
| CUC Authz Failed Validation Requests | 失敗した Authz 検証の合計数。 |
| CUC Authz Total Validation Requests in Last minute | 過去1分間の Authz 検証の合計数。 |
| CUC Authz Successful Validation Requests in Last minute | 過去1分間の成功した Authz 検証の合計数。 |
| CUC Authz Failed Validation Requests in Last minute | 過去1分間に失敗した Authz 検証の合計数。 |

CUC Sessions: Calendar Access

CUC Sessions: Calendar Access オブジェクトは、Cisco Unity Connection のカレンダーの統合に関する情報を提供します。次の表に、CUC Sessions: Calendar Access カウンタに関する情報を示します。

表 98: CUC Sessions: Calendar Access

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---|-------------------------------|
| Connections To Exchange Failure - Total | Exchange 接続失敗の合計数。 |
| Connections To MP Failure - Total | MeetingPlace 接続失敗の合計数。 |
| Exchange Requests - Total | Exchange カレンダー要求の合計数。 |
| Exchange Response Time [ms] - Current | ミリ秒単位での現在の Exchange 応答時間。 |
| Meeting Join Request - Total | 会議への参加要求の合計数。 |
| MP Request - Total | MeetingPlace カレンダー要求の合計数。 |
| MP Response Time [ms] - Current | ミリ秒単位での現在の MeetingPlace 応答時間。 |

CUC Sessions: E-mail Access

CUC Sessions: E-mail Access オブジェクトは、電子メールの音声セッションに関する情報を提供します。次の表に、CUC Sessions: E-mail Access カウンタに関する情報を示します。

表 99 : CUC Sessions: E-mail Access

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------------------|--|
| Messages Read - Total | Cisco Unity Connection の最後の再起動以降、読み取られた電子メールメッセージの合計数。 |
| Session Duration Average [ms] | コール単位で測定されたすべての電子メールセッションの平均持続時間 (ミリ秒単位)。 |
| Session Duration Total [ms] | コール単位で測定されたすべてのメールセッションの合計持続時間 (ミリ秒単位)。 |
| Sessions - Current | アクティブな電子メール音声セッションの数。 |
| Sessions - Total | Cisco Unity Connection の最後の再起動以降の電子メール音声セッションの合計数。 |

CUC Sessions: IMAP Server

CUC Sessions: IMAP Server オブジェクトは、IMAP サーバに関する情報を提供します。次の表に、CUC Sessions: IMAP Server カウンタに関する情報を示します。

表 100 : CUC Sessions: IMAP Server

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------------------|--|
| Commands per minute | 1 分あたりの IMAP コマンド数 |
| Connection Length Average [s] | 過去 1 分間における IMAP サーバへの接続の平均持続時間 (秒単位)。 |
| Current IDLE Sessions | IMAP サーバ上のアイドルセッション数。 |
| Errors Total | IMAP サーバの最後の再起動以降、IMAP サーバが返した IMAP コマンドエラーの合計数。 |
| EXAMINE Requests Total | IMAP サーバの最後の再起動以降、IMAP サーバに送信された EXAMINE 要求の合計数。 |
| Failed Login Requests Total | IMAP サーバの最後の再起動以降、IMAP サーバに送信されて失敗したログイン要求の合計数。 |
| FETCH Requests Total | IMAP サーバの最後の再起動以降、IMAP サーバに送信された FETCH 要求の合計数。 |
| Login Requests Total | IMAP サーバの最後の再起動以降、IMAP サーバに送信されたログイン要求の合計数。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---|---|
| Logout Requests Total | IMAP サーバの最後の再起動以降、IMAP サーバに送信された LOGOUT コマンドの合計数。 |
| Messages Read Total | IMAP サーバの最後の再起動以降、メッセージの本文を返した IMAP FETCH コマンドの合計数。 |
| Messages Read/hour | 過去 1 時間にメッセージの本文を返した IMAP FETCH コマンドの平均数。 |
| Messages/fetch Average | IMAP FETCH コマンドが返したメッセージの平均数。 |
| NOOP Requests Total | IMAP サーバの最後の再起動以降、IMAP サーバに送信された NOOP コマンドの合計数。 |
| Response Time [ms] | IMAP コマンドの応答時間 (ミリ秒)。 |
| SEARCH Requests Total | IMAP サーバの最後の再起動以降、IMAP サーバに送信された SEARCH コマンドの合計数。 |
| Socket Connections Current | IMAP サーバへのアクティブなソケット接続の数。 |
| Socket Connections Total | IMAP サーバの最後の再起動以降、IMAP サーバに対して実行されたソケット接続の合計数。 |
| STARTTLS Requests Total | IMAP サーバの最後の再起動以降、IMAP サーバに送信された STARTTLS コマンドの合計数。このカウンタは、クライアントが IMAP SSL ポートに接続したときに増加します。 |
| STATUS Requests Total | IMAP サーバの最後の再起動以降、IMAP サーバに送信された STATUS コマンドの合計数。 |
| TLS Connections Current | IMAP サーバへのアクティブな Transport Layer Security 接続の数。 |
| TLS Errors Total | IMAP サーバの最後の再起動以降の、IMAP サーバへの失敗した TLS 接続の合計数。 |
| Unsolicited Notify Response Time Average [ms] | IMAP サーバに対する Unsolicited Notify 応答時間の平均 (ミリ秒)。 |
| Unsolicited Notify Responses Total | IMAP サーバの最後の再起動以降、IMAP サーバによって返された Unsolicited Notify 応答の合計数。 |

CUC Sessions: RSS

CUC Sessions: RSS オブジェクトは RSS セッションに関する情報を提供します。次の表に、CUC Sessions: RSS カウンタに関する情報を示します。

表 101: CUC Sessions: RSS

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-----------------------------|---|
| RSS Messages Offered Total | ストリーミング用に提供された RSS メッセージの合計数。 |
| RSS Messages Streamed Total | Cisco Unity Connection サーバがストリーム配信した RSS メッセージの数。 |
| RSS Sessions Current | RSS セッションの現在の数。 |
| RSS Sessions Total | RSS セッションの合計数。 |

CUC Sessions: SMTP Server

CUC Sessions: SMTP Server オブジェクトは、SMTP サーバセッションに関する情報を提供します。次の表に、CUC Sessions: SMTP Server カウンタに関する情報を示します。

表 102: CUC Sessions: SMTP Server

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--------------------------|------------------------------------|
| Total Delivered Messages | システムの起動以降に配信された SMTP メッセージの数。 |
| Total Messages | システムの起動以降に配信または受信された SMTP メッセージの数。 |
| Total Received Messages | システムの起動以降に受信された SMTP メッセージの数。 |

CUC Sessions: SpeechView Processor

CUC Sessions: SpeechView Processor オブジェクトは、SpeechView プロセッササービスについての情報を提供します。次の表に、CUC Sessions: SpeechView Processor カウンタに関する情報を示します。

表 103: CUC Sessions: SpeechView Processor

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------|--|
| Average wait time | 外部サービスから成功したトランスクリプションを受信する時間。 |
| Total failures | SpeechView Processor サービスの最後の再起動以降の失敗したセッションの合計数。 |
| Total timeouts | SpeechView Processor サービスの最後の再起動以降、タイムアウトトランスクリプションの合計数。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|----------------------|--|
| Transcribed messages | SpeechView Processor サービスの最後の再起動以降の成功したトランスクリプションの合計数。 |

CUC Sessions: TRaP

CUC Sessions: TRaP オブジェクトは、電話での録音および再生 (TRaP) セッションに関する情報を提供します。次の表に、CUC Sessions: TRaP カウンタに関する情報を示します。

表 104: CUC Sessions: TRaP

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---|--|
| Reverse TRaP Session Duration Average [s] | すべてのリバース TRaP セッションの平均持続時間 (秒)。 |
| Reverse TRaP Session Duration Total [s] | すべてのリバース TRaP セッションの合計持続時間 (秒)。 |
| Reverse TRaP Sessions Current | 現在のアクティブなリバース TRaP セッションの数。 |
| Reverse TRaP Sessions Total | Cisco Unity Connection の最後の起動以降のリバース TRaP セッションの数。 |
| TRaP Session Duration Average [s] | すべての TRaP セッションの平均持続時間 (秒)。 |
| TRaP Session Duration Total [s] | すべての TRaP セッションの合計持続時間 (秒)。 |
| TRaP Sessions Current | 現在のアクティブな TRaP セッションの数。 |
| TRaP Sessions Total | Cisco Unity Connection の最後の起動以降の TRaP セッションの合計数。 |

CUC Sessions: TTS

CUC Sessions: TTS オブジェクトは、音声合成 (TTS) セッションに関する情報を提供します。次の表に、CUC Sessions: TTS カウンタに関する情報を示します。

表 105: CUC Sessions: TTS

| カウンタ | カウンタの説明 |
|------------------------------|---|
| Session Duration Average [s] | すべての TTS セッションの平均持続時間 (秒)。 |
| Session Duration Total [s] | すべての TTS セッションの合計持続時間 (秒)。 |
| Sessions Current | アクティブな TTS 音声セッションの現在の数。 |
| Sessions Total | Cisco Unity Connection の最後の起動以降の TTS 音声セッションの合計数。 |

CUC Sessions: Unified Client

CUC Sessions: Unified Client オブジェクトは、Cisco Unity Connection に対する Unified Client に関する情報を提供します。

Connections Total カウンタは、Unified Client IMAP 要求の合計数を表します。

CUC セッション：ビデオ

CUC Sessions: Video オブジェクトは、ビデオ サーバでのビデオセッションに関する情報を提供します。次の表に、CUC Sessions: Video カウンタに関する情報を示します。

表 106: CUC セッション：ビデオ

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---|--|
| Audio calls Negotiated Total | ビデオ オファーに関係なくネゴシエートされた音声コールの合計数。 |
| Audio Calls Negotiated In Last One Minute | 過去 1 分間にビデオ オファーに関係なくネゴシエートされた音声コールの合計数。 |
| Outgoing Video calls Release Transfer | スイッチへのリリースとして転送された発信ビデオ コールの合計数。 |
| Supervise Transfer Calls Total | Cisco Unity Connection の最後の再起動以降にビデオ コールから開始された監視転送の合計数。 |
| Video calls downgraded to Audio Total | Cisco Unity Connection の最後の再起動以降に音声にダウングレードされたビデオ コールの合計数。 |
| Video calls downgraded to Audio In Last One Minute | 過去 1 分間に音声にダウングレードされたビデオ コールの合計数。 |
| Video calls downgraded with prompt total | プロンプト「このコールの持続期間中のみ、音声を使用したビデオ サービスを使用できません (Video services are not available using audio only for duration of this call)」によりダウングレードされたビデオ コールの合計数。 |
| Video calls downgraded with prompt in Last One Minute | 過去 1 分間に、プロンプト「このコールの持続期間中のみ、音声を使用したビデオ サービスを使用できません (Video services are not available using audio only for duration of this call)」によりダウングレードされたビデオ コールの合計数。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--|---|
| Video Sessions Total | Unity Connection からビデオサーバに送信されたビデオ セッション要求の合計数。 |
| Video Sessions Current | Unity Connection からビデオサーバに送信された現在のビデオ セッション要求の合計数。 |
| Video Session Playbacks Total | Cisco Unity Connection の最後の再起動以降のビデオ セッション再生の合計数。 |
| Video Session Playbacks Current | 現在のビデオ セッション再生の合計数。 |
| Video Media File Playbacks Total | Unity Connection の最後の再起動以降の、ビデオサーバからのイメージ再生の合計数。 |
| Video Media File Playbacks Current | ビデオサーバからのビデオメディアファイル再生の現在の数。 |
| Video Recordings Total | Unity Connection の最後の再起動以降、ビデオサーバに保存されたビデオ録画の合計数。 |
| Video Recordings Current | ビデオサーバに保存されたビデオ録画の現在の数。 |
| Video Playback Completed Events from MS Total | Unity Connection の最後の再起動以降のビデオ再生完了イベントの合計数。 |
| Video Playback Completed Events from MS In Last One Minute | 直近 1 分以降のビデオサーバからのビデオ再生完了イベントの合計数。 |
| Video Keep Alive Total | Unity Connection の最後の再起動以降、Unity Connection によってビデオサーバに送信されたキープアライブの合計数。 |
| Video Keep Alive In Last One Minute | 直近 1 分以降に Unity Connection によってビデオサーバに送信されたキープアライブの合計数。 |
| Video Get Media Capabilities Total | Unity Connection の最後の再起動以降、Unity Connection によってビデオサーバに送信された GetMediaCapabilities の合計数。 |
| Video Get Media Capabilities In Last One Minute | 直近 1 分以降に Unity Connection によってビデオサーバに送信された GetMediaCapabilities の合計数。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--|---|
| Video SignIn Total | Unity Connection の最後の再起動以降、Unity Connection によってビデオ サーバに送信されたサインイン要求の合計数。 |
| Video SignIn Total In Last One Minute | 直近 1 分以降に Unity Connection によってビデオ サーバに送信されたサインイン要求の合計数。 |
| KeyFrame Request sent Total | Cisco Unity Connection の最後の再起動以降、ビデオ録画中にエンドポイントに送信されたキーフレーム要求の合計数。 |
| KeyFrame Request sent In Last One Minute | Cisco Unity Connection の最後の再起動以降、ビデオ録画中にエンドポイントに送信されたキーフレーム要求の合計数。 |
| Video Record Successful Total | Cisco Unity Connection の最後の再起動以降、正常に完了したビデオ録画の合計数。 |
| Video Sessions Failed Total | Cisco Unity Connection の最後の再起動以降、失敗したビデオセッションの合計数。 |
| Video Session Failed In Last One Minute | 過去 1 分間に失敗したビデオセッションの合計数。 |
| Media Sense Timeout Total | Cisco Unity Connection が最後に再起動されてから MediaSense サーバに接続している間の接続タイムアウトエラーの合計数。このカウンタは、次のイベントに適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> • ビデオ通話中 • サインイン時 • MediaSense サーバとのメディア機能の交換中。 |
| Video Play Failed Total | Cisco Unity Connection の最後の再起動以降、音声メッセージとして再生されるビデオメッセージの合計数。 |

CUC セッション：音声

CUC Sessions: Voice オブジェクトは、音声セッションに関する情報を提供します。次の表に、CUC Sessions: Voice カウンタに関する情報を示します。

表 107: CUC セッション : 音声

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--|--|
| Delay - Directory Search [ms] | 発信者がディレクトリ全体の検索を試みる時に発生する遅延。検索条件を入力してから結果が返されるまでの時間を測定します。 |
| Delay - Opening Greeting [ms] | 発信者が音声聞くまでの遅延 (ミリ秒)。システムがコールを、発信者に対して音声ストリームを開始するまでの時間を測定します。 |
| Delay - Subscriber Delete Message [ms] | Cisco Unity Connection のサブスクライバがメッセージの削除を試みる時に発生する遅延 (ミリ秒)。最後のメッセージ削除プロンプトから確認までの時間を測定します。 |
| Delay - Subscriber Logon [ms] | Cisco Unity Connection のサブスクライバが認証を行う時に発生する遅延 (ミリ秒)。 |
| Delay - Subscriber Message Count [ms] | Cisco Unity Connection のサブスクライバが、サブスクライバのメッセージボックスでメッセージ数をカウントする時に発生する遅延 (ミリ秒)。 |
| Delay - Subscriber Message Header [ms] | 発信者が Cisco Unity Connection でメッセージのヘッダー情報を取得する時に発生する遅延 (ミリ秒)。 |
| Failsafes Total | フェールセーフカンバセーションが再生された回数の合計。 |
| G.711a Sessions Current | アクティブ G.711 (a-law) 音声セッションの現在の数。 |
| G.711a Sessions Total | Cisco Unity Connection の最後の再起動以降のアクティブ G.711 (a-law) 音声セッションの合計数。 |
| G.711u Sessions Current | アクティブ G.711 (u-law) 音声セッションの現在の数。 |
| G.711u Sessions Total | Cisco Unity Connection の最後の再起動以降のアクティブ G.711 (u-law) 音声セッションの合計数。 |
| G.722 Sessions Current | アクティブ G.722 音声セッションの現在の数。 |
| G.722 Sessions Total | Cisco Unity Connection の最後の再起動以降のアクティブ G.722 音声セッションの合計数。 |
| G.729 Sessions Current | アクティブ G.729 音声セッションの現在の数。 |
| G.729 Sessions Total | Cisco Unity Connection の最後の再起動以降のアクティブ G.729 音声セッションの合計数。 |
| iLBC Sessions Current | アクティブ iLBC 音声セッションの現在の数。 |
| iLBC Sessions Total | Cisco Unity Connection の最後の再起動以降のアクティブ iLBC 音声セッションの合計数。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--|---|
| Meeting search delay [ms] | Cisco Unity Connection のサブスクリバが会議を検索するに要する遅延 (ミリ秒)。 |
| Messages Deleted | Cisco Unity Connection が最後に再起動された時からの、TUI によって削除された音声メッセージの合計数。 |
| Messages Forwarded | Cisco Unity Connection が最後に再起動された時からの、TUI によって転送された音声メッセージの合計数。 |
| Messages Read | Cisco Unity Connection が最後に再起動された時からの、TUI によって読み取られた音声メッセージの合計数。 |
| Messages Replied | Cisco Unity Connection が最後に再起動された時からの、TUI によって返信された音声メッセージの合計数。 |
| Messages Sent | Cisco Unity Connection が最後に再起動された時からの、TUI によって送信された音声メッセージの合計数。 |
| MRCP Define Grammar Delay [ms] | MRCP 定義文法要求に回答するまでの遅延 (ミリ秒単位)。 |
| MRCP Define Grammar Delay Average [ms] | MRCP 定義文法要求に回答するまでの平均遅延 (ミリ秒)。 |
| MRCP Define Grammar Delay Max [ms] | MRCP 定義文法要求に回答するまでの最大遅延 (ミリ秒)。 |
| MRCP Delay [ms] | MRCP 要求に回答するまでの遅延 (ミリ秒)。 |
| MRCP Delay Average [ms] | MRCP 要求に回答するまでの平均遅延 (ミリ秒)。 |
| MRCP Delay Max [ms] | MRCP 要求に回答するまでの最大遅延 (ミリ秒)。 |
| OPUS Sessions Current | アクティブな OPUS 音声セッションの現在の数が表示されます。 |
| OPUS Sessions Total | Cisco Unity Connection の最後の再起動以降の OPUS 音声セッションの総数が表示されます。 |
| Sessions Current | コーデックのアクティブな音声セッションの現在の数。 |
| Sessions Total | Cisco Unity Connection の最後の再起動以降の、任意のコーデックのセッションの総数 (G.711 mu-law と G.729)。 |
| Subscriber Lookup Delay [ms] | Cisco Unity Connection サブスクリバが DTMF ID でサブスクリバを検索し、ロードするために発生する遅延 (ミリ秒)。 |

CUC Sessions: VUI

CUC Sessions: VUI オブジェクトは、音声ユーザ インターフェイス (VUI) に関する情報を提供します。次の表には、CUC Sessions: VUI カウンタに関する情報が含まれます。

表 108: CUC Sessions: VUI

| カウンタ | カウンタの説明 |
|--|--|
| Delay - Subscriber Message Access [ms] | ユーザがメッセージにアクセスしようとしたときに発生する遅延。このカウンタは、メッセージを聞くことを指示する音声コマンドから、メッセージが実際に再生されるまでの時間を測定します。 |
| Matches Total | VUI カンバセーションでの一致数の合計。 |
| Messages Read | Cisco Unity Connection が最後に再起動された時からの、VUI によって読まれたメッセージの合計数。 |
| No-matches Total | VUI カンバセーションでの不一致の数の合計。 |
| Session Duration Average/call [s] | コール単位で測定された VUI セッションの平均持続時間 (秒)。 |
| Session Duration Total [s] | すべての VUI セッションの持続時間 (秒)。 |
| Sessions Current | 任意のコーデックでのアクティブな VUI セッションの現在の数。 |
| Sessions Total | 任意のコーデックでの VUI セッションと音声セッションの数の合計。 |

CUC Sessions: Web

CUC Sessions: Web オブジェクトは、Cisco Personal Communications Assistant (Cisco PCA) セッションと Cisco Unity Connection の管理セッションについての情報を提供します。次の表に、CUC Sessions: Web カウンタに関する情報を示します。

表 109: CUC Sessions: Web

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-----------------------------------|--|
| CPCA Authentication Delay Max [s] | ユーザーの受信トレイまたはアシスタントへの認証の最大遅延。 |
| CPCA Failed Authentications Total | 失敗した認証の数。 |
| CPCA Pages Served Total | Cisco Unity Connection サーバによって処理された CPCA の総ページ数。 |
| CPCA Requests In Queue Current | CPCA キューで処理を待っている要求の数。 |
| CPCA Server Busy Pages Total | Cisco Unity Connection サーバによって処理が戻されたサーバ Busy ページ数。 |
| CPCA Sessions Current | CPCA セッションの現在の数。 |
| CPCA Sessions Total | CPCA セッションの合計数。 |
| CPCA Authentication Delay Max [s] | [システム管理者 (System Administrator)] ウィンドウの認証の最大遅延 (秒)。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-----------------------------|-------------------------------------|
| CUCA Response Time Max [ms] | 指定された要求に応答するための tomcat サーバに対する最大位)。 |

CUC Sessions: Web E-mail Access

CUC Sessions: Web E-mail Access オブジェクトは、Web 電子メールのアクセス セッション (IMAP) に関する情報を提供します。次の表には、CUC Sessions: Web E-mail Access カウンタについての情報が含まれます。

表 110: CUC Sessions: Web E-mail Access

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-------------------------------|--|
| Messages Read - Total | Cisco Unity Connection の最後の再起動以降、読み取られた電子メールメッセージの合計数。 |
| Session Duration Average [ms] | コール単位で測定されたすべての電子メールセッションの平均 (ミリ秒単位)。 |
| Session Duration Total [ms] | コール単位で測定されたすべてのメールセッションの合計 (ミリ秒単位)。 |
| Sessions - Current | アクティブな電子メール音声セッションの数。 |
| Sessions - Total | Cisco Unity Connection の最後の再起動以降の電子メール音声セッションの合計数。 |

CUC System Agent

CUC System Agent オブジェクトは、システムの定期的タスクに関する情報を記録します。次の表に、CUC System Agent カウンタに関する情報を示します。

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---|----------------------------------|
| Message Related Files Shredded Total | 削除されたメッセージ関連ファイルの合計数。 |
| Message Related Files Shredded Failed | 削除に失敗したメッセージ関連ファイルの合計数 |
| Total Number of Requests sent by HTTP[S]/CCI Link | リーダーにより送信された HTTP (S) 要求の累計数。 |
| Total Number of successful response of HTTP[S]/CCI Requests | フィーダにより正常に処理された HTTP (S) 要求の累計数。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---|---|
| Total Number of failure response of HTTP[S]/CCI Requests | フィードにより正常に処理されなかったHTTP(S) 要求の累計数。 |
| Total Number of Directory Objects Successfully Processed | 正常に処理されたディレクトリ オブジェクトの累計数。 |
| Directory Objects Processed Successfully In Last One Minute | 1分あたりの正常に処理されたディレクトリ オブジェクト。 |
| メディアセンスの合計に送信されたリクエストの削除 | Unity Connection の最後の再起動以降に MediaSense サーバに送信された削除要求の合計数。 |
| 合計削除中のメディア検出タイムアウト | Unity Connection の最後の再起動以降に MediaSense サーバに送信された削除要求に対する接続タイムアウトの合計数。 |

CUC VMREST

CUC VMREST オブジェクトは、内部 VMREST リクエストに関する情報を提供します。

次の表には、VMREST カウンタについての情報が含まれます。

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-----------------------|--|
| VMREST アクティブスレッドの総数 | アクティブなVMRESTスレッドの合計数を維持します。 |
| VMREST で抑制されたリクエストの総数 | スロットルセマフォによるスロットルされたVMREST リクエストの総数を維持します。 |
| 過去1時間のVMREST リクエストの総数 | 過去1時間のスロットルセマフォによるスロットルされたVMREST リクエストの総数を維持します。 |

CUC VMREST コンテナ

CUC VMREST Container オブジェクトは、外部クライアントからの VMREST リクエストを処理するための REST コンテナ操作に関する情報を提供します。

次の表には、VMREST カウンタについての情報が含まれます。

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------------------|-------------------------------------|
| VMREST CONTAINER のアクティブなスレッドの総数 | RESTコンテナのアクティブなVMRESTスレッドの総数を維持します。 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---|--|
| VMREST CONTAINER で抑制されたリクエストの総数 | REST コンテナのスロットルセマフォによるスロットルされた VMREST リクエストの総数を維持します。 |
| 過去 1 時間の VMREST CONTAINER スロットルリクエストの総数 | REST コンテナのスロットルセマフォによるスロットルされた VMREST リクエストの過去 1 時間の合計数を維持します。 |

システム アラート

AuditLogOverflowDueToLogRotation

このアラームは、監査ログのオーバーフローが発生したことを示します。既存の監査ログファイルが上書きされると、オーバーフローが発生し、最終的に監査データが失われます。

デフォルト設定

表 111: AuditLogOverflowDueToLogRotation RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件に一致した場合にアラートをトリガーします: AuditLogOverflowDueToLogRotation イベントが生成されました |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

AuditLogOverflowDueToLPMPurge

このアラームは、LPM クリーンアップロジックによる消去が原因でオーバーフローが発生したことを示します。ログパーティションの合計ディスク領域使用率が設定されている上限を超えた場合、LPM ツールのクリーンアップロジックはログパーティションから最も古いファイルを削除して、新しいログを書き込むことができますようにします。

デフォルト設定

表 112: AuditLogOverflowDueToLPMPurge RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件に一致した場合にアラートをトリガーします: AuditLogOverflowDueToLPMPurge イベントが生成されました |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

AuditLogsExceedsConfiguredThreshold

このアラームは、アプリケーション監査ロギング用に設定されたディスク領域のパーセンテージが、設定されているしきい値を超えていることを示します。監査ログファイルは、より早く、または後で上書きされます。これは、ユニファイドコミュニケーションマネージャアプリケーションによる監査ロギングの頻度によって異なります。

デフォルト設定

表 113: AuditLogsExceedsConfiguredThreshold RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件に一致した場合にアラートをトリガーします: AuditLogsExceedsConfiguredThreshold イベントが生成されました |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

AuthenticationFailed

認証では、ログイン時に送信されるユーザ ID とパスワードを検証します。無効なユーザ ID またはパスワードを使用すると、アラームが発生します。

デフォルト設定

表 114: AuthenticationFailed RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---------------|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|--|
| しきい値 | 次の頻度を越えた AuthenticationFailed イベントの数 最近 1 分間に 1 回 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

CCMEncryptionErrorDetected

このアラートは、CCMEncryptionErrorDetected イベントが生成されたときに発生します。

デフォルト設定

表 115: CCMEncryptionErrorDetected RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件に一致した場合にアラートをトリガーします: CCMEncryptionErrorDetected イベントが生成されました |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

CiscoDRFFailure

このアラートは、障害回復フレームワーク（DRF）バックアップまたは復元処理でエラーが発生したときに生成されます。

デフォルト設定

表 116: CiscoDRFFailure RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ（重大度） | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 CiscoDRFFailure イベントが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

CiscoHAProxyServiceDown

HAProxy サービスダウンアラームは、Unified Communications Manager および IM and Presence サービスへの着信 Web トラフィックがダウンしていることを示します。

次の表は、CiscoHAProxyServiceDown カウンタに関する情報を示しています。

Table 117: CiscoHAProxyServiceDown

| カウンタ | カウンタの説明 |
|------------|---------|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ（重大度） | 警告 |

| カウンタ | カウンタの説明 |
|---------------------------|---|
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/ 無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされた場合、アラートがトリガーされます：HA スダウンイベントが生成された場合 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

CoreDumpFileFound

このアラートは、CoreDumpFileFound イベントが生成されたときに発生します。このアラートは、コア アンプ ファイルがシステムに存在することを示します。

デフォルト設定

表 118: CoreDumpFileFound RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/ 無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 CoreDumpFileFound イベントが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| Trace download Parameters | [オフ (Not Selected)] |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|---------|
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

CpuPegging

CPU使用率は、設定可能なしきい値に基づいてモニタされます。使用率が、設定されているしきい値を上回ると、このアラートが生成されます。

デフォルト設定

表 119: CpuPegging RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 99% |
| 期間 | 値がしきい値を 60 秒間継続的に下回った場合または超えた場合にだけアラートをトリガーする |
| 頻度 | 30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

CriticalServiceDown

CriticalServiceDown アラートは、サービスのステータスがダウン状態の場合に生成されます (その他の状態の場合には生成されません)。

デフォルト設定

表 120: CriticalServiceDown RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 サービス ステータスが DOWN である |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| Trace download Parameters | [Enable Trace Download] はオフになっている |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

DBChangeNotifyFailure

このアラートは、Cisco Database Notification サービスに問題が発生し、このサービスが停止する可能性がある場合に発生します。この状態は、データベース内でキューに入れられている変更通知要求が停止し、システムに加えられた変更内容が有効にならないことを示します。アラートが存在するノードで Cisco Database Layer Monitor が実行されているかどうかを確認します。実行されている場合、このサービスを再起動します。サービスを再起動してもこのアラートが安全な範囲に戻らない場合、**show tech notify** および **show tech dbstateinfo** の出力を収集し、対処方法についてシスコ テクニカル アシスタンス センター (TAC) までお問い合わせください。

デフォルト設定

表 121: DBChangeNotifyFailure RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 DBChangeNotify キューの遅延が 2 分を超えている |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | 30 分以内に最大 1 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

DBReplicationFailure

このアラームは、Informix Dynamic Server (IDS) の複製に障害があることを示し、データベース管理者の介入を必要とします。



- (注) DBReplicationFailure は、(従来の DBReplicationFailure アラームではなく) 複製ステータス perfmon カウンタに基づいていることに注意してください。このアラートは、対応する複製ステータス perfmon カウンタの値が **3** (不正な複製) または **4** (複製の設定失敗) になったときにトリガーされます。

デフォルト設定

表 122: DBReplicationFailure RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|----------|---------|
| アラートの有効化 | オン |

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 DBReplicationFailure が発生した |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | 60 分以内に最大 1 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

DBReplicationTableOutOfSync

デフォルト設定

表 123: DBReplicationTableOutOfSync RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 アラーム番号 888 の IDReplicationFailure イベントが生成された。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | 60 分以内に最大 1 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|---------|
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

HardwareFailure

このアラートは、ハードウェア障害イベント（ディスクドライブの障害、電源の障害など）がトリガーされたときに発生します。

デフォルト設定

表 124: HardwareFailure RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ（重大度） | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 HardwareFailure イベントが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

LogFileSearchStringFound

このアラートは、LogFileSearchStringFound イベントが生成されたときに発生します。これは、検索文字列がログ ファイル中に見つかったことを示します。

デフォルト設定

表 125: LogFileSearchStringFound RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | 警告 |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 LogFileSearchStringFound イベントが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

LogPartitionHighWaterMarkExceeded

このアラートは、ログパーティションの使用済みディスク領域のパーセンテージが、設定された上限を超えると発生します。このアラートが生成された場合、Log Partition Monitoring Tool (LPM) はログパーティション中のファイルを削除し (下限に達するまで)、ディスク領域が不足するのを防ぎます。



- (注) LPM により、保持しておきたいファイルが削除される可能性があります。LogPartitionLowWaterMarkExceeded アラートを受信した場合はすぐに対処してください。



- (注) この場合、**logpartitionhighwatermarkexceeded**が低いパーセンテージに設定され、一時フォルダから cdr/cmz ファイルを削除してから、**rtmt**を使用して、**alert** パラメータがデフォルト値の 95% に設定されていることを確認します。

デフォルト設定

表 126: LogPartitionHighWaterMarkExceeded RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 ログパーティションの使用済みディスク領域が上限 (95%) を超えている |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

LogPartitionLowWaterMarkExceeded

このアラートは、LogPartitionLowWaterMarkExceeded イベントが生成されたときに発生します。これは、ログパーティションの使用済みディスク領域のパーセンテージが、設定されている下限を超えたことを示します。



- (注) このアラートは早期に発生する警告であることに注意してください。管理者は、ディスク領域を空ける作業を開始する必要があります。RTMT/TLCを使用すると、トレースおよびログファイルの収集や、サーバからの削除を行うことができます。管理者は、再度下限を超えないように、トレースファイルの数を調整することを推奨します。

デフォルト設定

表 127: LogPartitionLowWaterMarkExceeded RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 ログパーティションの使用済みディスク領域が下限 (90%) を超えている |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

LowActivePartitionAvailableDiskSpace

このアラートは、アクティブパーティションの利用可能なディスク領域のパーセンテージが、設定されている値を下回ると発生します。

デフォルト設定

表 128: LowActivePartitionAvailableDiskSpace RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---------------|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|--|
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 アクティブパーティションの利用可能ディスク領域が (4%) 未満である (注) お客様の環境では、80GB のディスクスペースを使用して設定された仮想マシンと、91%以上のスペースがディスクスペースおよびアクティブパーティション用に確保されている場合、使用率が 6% 増加すると、Unified Communications Managerのアップグレード後に LowActivePartitionAvailableDiskSpace アラートが自動的にトリガーされます。ここでアラートは、アクティブパーティションの使用可能なディスク領域が (2%) 以下の場合にトリガーされます。この問題を手動で修正するには、RTMT にログインする必要があります。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | 30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

LowAvailableVirtualMemory

RTMT は、仮想メモリの使用率をモニタしています。メモリが少なくなると、LowAvailableVirtualMemory アラートが生成されます。

デフォルト設定

表 129: LowAvailableVirtualMemory RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---------------|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|--|
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 利用可能な仮想メモリが（15%）未満である |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | 30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

LowInactivePartitionAvailableDiskSpace

このアラートは、非アクティブパーティションの利用可能なディスク領域のパーセンテージが、設定されている値を下回ると発生します。

デフォルト設定

表 130: LowInactivePartitionAvailableDiskSpace RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ（重大度） | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 非アクティブパーティションの利用可能ディスク領域が（4%）未満である |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | 30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|---------|
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

LowSwapPartitionAvailableDiskSpace

このアラートは、スワップパーティションの利用可能ディスク領域が少ないことを示します。



- (注) ソースクラスタをリリース 12.5.x またはリリース 14 および SU からリリース 15 にアップグレードし、アップグレード前に LowSwapPartitionAvailableDiskSpace アラートにカスタマイズされた値を使用している場合、システムはリリース 15 へのアップグレード後もこのカスタマイズされた値を保持します。このようなシナリオでは、システムパフォーマンスには影響ませんが、スワップメモリが使用されていることを示すアラームが表示されることがあります。この動作の変更は、リリース 15 での OS の基盤となるメモリ管理の変更によるものです。

デフォルト設定

表 131 : LowSwapPartitionAvailableDiskSpace RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | 情報 |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 SwapPartition の使用可能なディスク容量が設定されたしきい値 (1%) を下回っている |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする デフォルト : 24 時間 (86,400 秒) |
| 頻度 | 30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|---------|
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

ServerDown

このアラートは、リモート ノードに到達できない場合に発生します。



- (注) Unified Communications Manager および IM and Presence Service : ServerDown アラートは、現在アクティブな AMC (プライマリ AMC、またはプライマリ AMC が使用不可の場合にはバックアップ AMC) がクラスタ内の別のサーバに到達できない場合に生成されます。このアラートは、サーバ ダウン状態以外に、ネットワーク接続の問題も示します。

デフォルト設定

表 132: ServerDown RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 ServerDown が発生した |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | 60 分以内に最大 1 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SparePartitionHighWaterMarkExceeded

このアラートは、SparePartitionHighWaterMarkExceeded イベントが生成されたときに発生します。このアラートは、予備パーティション内の使用済みディスク領域のパーセンテージが、設定されている上限を超えたことを示します。

デフォルト設定

表 133: SparePartitionHighWaterMarkExceeded RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 予備パーティションの使用済みディスク領域が上限 (95%) を超えている |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SparePartitionLowWaterMarkExceeded

このアラートは、SparePartitionLowWaterMarkExceeded イベントが生成されたときに発生します。このアラートは、予備パーティションの使用済みディスク領域のパーセンテージが、下限しきい値を超えたことを示します。

デフォルト設定

表 134: SparePartitionLowWaterMarkExceeded RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|----------|---------|
| アラートの有効化 | オン |

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 予備パーティションの使用済みディスク領域が下限 (90%) を超えている |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SyslogSeverityMatchFound

このアラートは、SyslogSeverityMatchFound イベントが生成されたときに発生します。このアラートは、一致するシビラティ (重大度) を含む syslog メッセージが存在することを示します。

デフォルト設定

表 135: SyslogSeverityMatchFound RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 SyslogSeverityMatchFound イベントが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |

| 値 | デフォルト設定 |
|------------------------|---------------------|
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| Syslog セキュリティ パラメータ | 重大 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートア クション | デフォルト |

SyslogStringMatchFound

このアラートは、SyslogStringMatchFound イベントが生成されたときに発生します。このアラートは、一致する検索文字列を含む syslog メッセージが存在することを示します。

デフォルト設定

表 136: SyslogStringMatchFound RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-------------------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大 度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこの アラートを有効化/ 無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 SyslogStringMatchFound イベントが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| Syslog Alert Parameters | (検索文字列のテキスト ボックス) |
| 電子メールの有効化 | オン |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|---------|
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SystemVersionMismatched

このアラートは、システムのバージョンが一致しない場合に発生します。

デフォルト設定

表 137: SystemVersionMismatched RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 SystemVersionMismatched が発生した |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | 60 分以内に最大 1 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

TCPRemoteSyslogDeliveryFailed

このアラートは、設定されたリモート syslog サーバへのアラーム、監査、または syslog 生成イベントの配信に失敗すると発生します。原因としては、設定されている syslog サーバがダウンしている、または TCP がポート 601 で設定されていない、またはネットワーク障害があることが考えられます。

デフォルト設定

表 138: TCPRemoteSyslogDeliveryFailed RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件に一致した場合にアラートをトリガーします: TCPRemoteSyslogDeliveryFailed イベントが生成されました |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

TLSRemoteSyslogDeliveryFailed

このアラートは、設定されたリモート syslog サーバへのアラーム、監査、または syslog 生成イベントの配信に失敗すると発生します。原因としては、設定されている syslog サーバがダウンしている、またはポート 6514 に TLS 経由の TLS が設定されていない、またはネットワーク障害が発生している、またはリモート syslog サーバの証明書がユニファイドコミュニケーションマネージャー tomcat 信頼にアップロードされていないことが考えられます。

デフォルト設定

表 139: TLSRemoteSyslogDeliveryFailed RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-------------|---------|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件に一致した場合にアラートをトリガーします: TLSSRemoteSyslogDeliveryFailed イベントが生成されました |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

TotalProcessesAndThreadsExceededThreshold

このアラートは、TotalProcessesAndThreadsExceededThreshold イベントが生成されたときに発生します。このアラートは、プロセスおよびスレッドの現在の合計数が、Cisco RIS Data Collector サービスパラメータに設定されている最大タスク数を超過していることを示します。この場合、プロセスがリークしているか、プロセスでスレッドリークが発生している可能性があります。

デフォルト設定

表 140: TotalProcessesAndThreadsExceededThreshold RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 TotalProcessesAndThreadsExceededThreshold イベントが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|----------|
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

音声およびビデオ アラート

BeginThrottlingCallListBLFSubscriptions

このアラートは、BeginThrottlingCallListBLFSubscriptions イベントが生成されたときに発生します。これは、システムの過負荷を避けるために、Unified Communications Manager が CallList BLF サブスクリプションの制御を開始したことを示します。

デフォルト設定

表 141 : BeginThrottlingCallListBLFSubscriptions RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 BeginThrottlingCallListBLFSubscriptions イベントが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

CallAttemptBlockedByPolicy

デフォルト設定

表 142: CallAttemptBlockedByPolicy RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | 警告 |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 CallAttemptBlockedByPolicy イベントが生成された。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | 30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

CallProcessingNodeCpuPegging

このアラートは、コール処理サーバの CPU 負荷率が、設定された時間で設定された割合を超えたときに発生します。

管理者が対処しない場合、特に CallManager サービスで、CPU の高い使用率が原因で Unified Communications Manager がクラッシュするおそれがあります。CallProcessingNodeCpuPegging アラートにより、クラッシュを未然に防ぐことができます。

CPU 使用率が急上昇する場合、CallProcessingNodeCpuPegging に加えて、CoreDumpFound アラーム、CriticalServiceDown アラーム、SDLLinkOutOfService アラーム、および NumberOfRegisteredPhonesDropped alarms アラームなどの他のアラームが発行される場合があります。



- (注) Unified Communications Manager の VMware インストール時に DRF バックアップや管理ツールの一括エクスポートなどのタスクを実行すると、CPU使用率が急上昇する場合があります。一般に、CPU 使用率の急上昇の原因となるプロセスは、gzip および DRFLocal です。

システムが CallProcessingNodeCpuPegging アラームを生成する場合は、システムの Open Virtualization Archive (OVA) テンプレートの仕様に従い、Unified Communications Manager で 7500 人のユーザをサポートするための vCPU を追加します。

デフォルト設定

表 143: CallProcessingNodeCpuPegging RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 プロセッサの負荷が (90%) を超えている |
| 期間 | 値がしきい値を 60 秒間継続的に下回った場合または超えた場合にだけアラートをトリガーする |
| 頻度 | 30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

CARIDSEngineCritical

デフォルト設定

表 144: CARIDSEngineCritical RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 CARIDSEngineCritical イベントが生成された。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

CARIDSEngineFailure

デフォルト設定

表 145: CARIDSEngineFailure RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---------------|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | エラー |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|--|
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 CARIDSEngineFailure イベントが生成された。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

CARSchedulerJobFailed

デフォルト設定

表 146: CARSchedulerJobFailed RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | エラー |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 CARSchedulerJobFailed イベントが生成された。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

CDRAgentSendFileFailed

このアラートは、CDR Agent が Unified Communications Manager ノードから Unified Communications Manager クラスタ内の CDR リポジトリ ノードに CDR ファイルを送信できない場合に発生します。

デフォルト設定

表 147: *CDRAgentSendFileFailed RTMT* アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 CDRAgentSendFileFailed イベントが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

CDRFileDeliveryFailed

このアラートは、外部の課金サーバへの CDR ファイルの FTP 配信が失敗した場合に発生します。

デフォルト設定

表 148: *CDRFileDeliveryFailed RTMT* アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|----------|---------|
| アラートの有効化 | オン |

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 CDRFileDeliveryFailed イベントが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

CDRFileDeliveryFailureContinues

このアラートは、CDRFileDeliveryFailureContinues が生成されたときに発生します。これは、外部リモートサーバへの CDR ファイルの FTP 配信が3回以上試行された後に失敗したことを示します。

デフォルト設定

表 149: CDRFileDeliveryFailureContinues デフォルト設定は RTMT アラートを継続します。

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされた場合にアラートをトリガーします: CDRFileDeliveryFailureContinues generated |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|---------------------|
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

CDRHighWaterMarkExceeded

このアラートは、CDR ファイルの上限を超えた場合に発生します。また、このアラートは、正常に配信された CDR ファイルのいくつかが削除されたことも示します。

デフォルト設定

表 150: CDRHighWaterMarkExceeded RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 CDRHighWaterMarkExceeded イベントが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

CDRMaximumDiskSpaceExceeded

このアラームは、CDR ファイルのディスク使用率が最大ディスク割り当てを超えたときに発生します。また、このアラームは、未配信のファイルがいくつか削除されたことも示します。

デフォルト設定

表 151: CDRMaximumDiskSpaceExceeded RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 CDRMaximumDiskSpaceExceeded イベントが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

CiscoWLCServiceDown

このアラートは、スイッチとアクセスポイントのデバイスの最大数 (50000) を超えた場合に発生します。

デフォルト設定

表 152: CiscoWLCServiceDown RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|----------|---------|
| アラートの有効化 | オン |

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件に一致した場合にアラートをトリガーします: CiscoWLCServiceDown イベントが生成されました |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

CodeYellow

AverageExpectedDelay カウンタは、着信メッセージを処理する現在の平均予測遅延を表します。値が Code Yellow Entry Latency サービス パラメータで指定されている値を超えた場合、CodeYellow アラームが生成されます。CodeYellow アラートは、トラブルシューティングの目的でトレース ファイルをダウンロードするように設定できます。

デフォルト設定

表 153: CodeYellow RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 Cisco CallManager CodeYellowEntry イベントが生成された |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------------------|-----------------------------------|
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| Trace download Parameters | [Enable Trace Download] はオフになっている |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

DDRBlockPrevention

このアラートは、アラーム番号 31 の `IDSReplicationFailure` アラームが発生したときにトリガーされます。このアラームは、サービスの拒否を避けるための予防的なプロシージャを呼び出します。このプロシージャはコール処理に影響を与えないので、このプロセス中に複製アラームを無視できます。

このプロシージャは、完了するまでに最大 60 分かかります。このプロシージャが完了したことを確認するには、各ノードの `RTMT` 複製ステータスが 2 になっていることを確認します。このプロセス中にシステムをリブートしないでください。

デフォルト設定

表 154: *DDRBlockPrevention RTMT* アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 アラーム番号 31 の <code>IDSReplicationFailure</code> アラームが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | 60 分以内に最大 1 回のアラートをトリガーする |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|----------|
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

DDRDown

このアラートは、アラーム番号 32 の `IDSReplicationFailure` アラームが発生したときにトリガーされます。バックグラウンドで自動回復プロシージャが実行されるので、対処は必要ありません。

このプロシージャは、完了するまでに約 15 分かかります。このプロシージャが完了したことを確認するには、各ノードの `RTMT` 複製ステータスが 2 になっていることを確認します。

デフォルト設定

表 155: `DDRDown RTMT` アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 アラーム番号 32 の <code>IDSReplicationFailure</code> アラームが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | 60 分以内に最大 1 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

EMCCFailedInLocalCluster

デフォルト設定

表 156: EMCCFailedInLocalCluster RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | エラー |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 EMCCFailedInLocalCluster イベントが生成された。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | 30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

EMCCFailedInRemoteCluster

デフォルト設定

表 157: EMCCFailedInRemoteCluster RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---------------|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | 警告 |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|--|
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 EMCCFailedInRemoteCluster イベントが生成された。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | 30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

ExcessiveVoiceQualityReports

このアラートは、設定されている時間間隔中に報告された Quality Report Tool (QRT) の回数が、設定されている値を超えたときに生成されます。デフォルトのしきい値は、60 分以内に 0 回です。

デフォルト設定

表 158: ExcessiveVoiceQualityReports RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 品質レポートの回数が最近 60 分間で 0 回を超えている |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|---------|
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

ILSDuplicateURI

このアラートは、URI へのコール中に、ユニファイドコミュニケーションマネージャが ILS を介して重複する URI エントリを学習したことを識別したときに発生します。URI に重複するエントリがある場合 (2 つのクラスタに存在する URI user@example.com など)、コールは最初に学習された URI のクラスタにルーティングされます。コールは他の重複エントリにルーティングされません。

デフォルト設定

表 159: ILSDuplicateURI RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | アラート |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件に一致した場合にアラートをトリガーします: ILSDuplicateURI イベントが生成されました |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

ILSHubClusterUnreachable

デフォルト設定

表 160: ILSHubClusterUnreachable RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | アラート |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 リモート ILS サーバとの接続を確立できない。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

ILSPeerLimitApproachingWarning

このアラートは、現在のピア数が ILS ネットワーク容量の90% 以上に達した場合に発生します。

デフォルト設定

表 161: ILSPeerLimitApproachingWarning RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-------------|---------|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件に一致した場合にアラートをトリガーします: ILSPeerLimitApproachingWarning イベントが生成されました |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

Ilrep の超過

このアラートは、ILS ネットワーク内のこのクラスタのピア数が、ILSP_MSG_PEER_MAX に設定されている制限を超えている場合に発生します。システムでは、スポーク、ハブ、インポートされたカタログを継続的に追加できます。ただし、ピアの最大数だけが ILS ネットワークにアドバタイズされます。

デフォルト設定

表 162: Ilrep を超過した RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | アラート |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされた場合にアラートをトリガーする: ピアの数が ILSP_MSG_PEER_MAX に設定されている制限を超えています |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|----------|
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

ILSPwdAuthenticationFailed

デフォルト設定

表 163: ILSPwdAuthenticationFailed RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | アラート |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 リモート クラスタでの ILS によるパスワード認証が失敗した。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

ILSTLSAuthenticationFailed

デフォルト設定

表 164: *ILSTLSAuthenticationFailed RTMT* アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | アラート |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 リモート クラスタで ILS への TLS 障害が発生した。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

IMEDistributedCacheInactive

このアラームは、Unified Communications Manager が Cisco IME サーバに接続を試行したものの、IME 分散キャッシュがアクティブでない場合に生成されます。

Cisco IME サーバの証明書がプロビジョニングされていることと、IME 分散キャッシュがアクティブ化されていることを CLI を使用して確認します。

デフォルト設定

表 165: *IMEDistributedCacheInactive* アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|----------|---------|
| アラートの有効化 | オン |

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| シビラティ (重大度) | エラー |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 非アクティブな IME 分散キャッシュ |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

IMEOverQuota

このアラートは、この Cisco IME サービスを使用する Unified Communications Manager サーバが、IME 分散キャッシュに対してパブリッシュされたダイヤルイン (DID) 数の割り当てを超えたことを示します。アラートには、Cisco IME サーバの名前に加え、現在およびターゲットの割り当て値が含まれます。

この Cisco IME サービスを使用するすべての Unified Communications Manager サーバで DID プレフィックスが正しくプロビジョニングされていることを確認します。

プレフィックスが正しくプロビジョニングされている場合は、Cisco IME サービスの容量を超えています。サービスをもう 1 つ設定し、異なる Cisco IME サービス上の Cisco IME クライアントインスタンス (Unified Communications Manager) に DID プレフィックスを分割する必要があります。

デフォルト設定

表 166: IMEOverQuota アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-------------|---------|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | アラート |

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 VAP 割り当て超過 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

IMEQualityAlert

このアラートは、IP ネットワーク品質の問題によってかなりの数の Cisco IME コールが PSTN にフェールバックされたか、コールが確立されなかったことを Unified Communications Manager が特定したときに生成されます。このアラートは次の2種類のイベントによってトリガーされます。

- 現在アクティブな多数の Cisco IME コールがすべてフェールバックを要求した、または PSTN にフェールバックされた場合。
- 直近の多数のコールの試行が PSTN に送信されたが、IP 上に確立されなかった場合。

このアラートを受信したときは、IP 接続を確認します。IP 接続に問題がない場合、CDR、CMR、およびファイアウォールのログを確認し、コールが PSTN にフェールバックされた理由または IP 上に確立されなかった理由を判別します。

デフォルト設定

表 167: IMEQualityAlert アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-------------|---------|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | エラー |

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 Cisco IME リンク 品質の問題 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

IMEServiceStatus

このアラートは、特定の Cisco IME クライアント インスタンス (Unified Communications Manager) の Cisco IME サービスに対する接続の全体的な健全性を示します。アラートは次の状態を示します。

- 0：不明。Cisco IME サービスがアクティブ化されていないことを示している可能性があります。
- 1：健全。Unified Communications Manager が Cisco IME クライアント インスタンスのプライマリおよびバックアップサーバ (設定されている場合) への接続を正常に確立したことを示します。
- 2：動作不良。Cisco IME はアクティブ化されているが、Cisco IME サーバとのハンドシェイク手順を正常に完了していないことを示します。このカウンタの値はプライマリ IME サーバとセカンダリ IME サーバの両方のハンドシェイク ステータスを反映していることに注意してください。

デフォルト設定

表 168: IMEServiceStatus アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-------------|---------|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 VAP 接続の問題 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | 60 分ごとに最大 1 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

InsufficientFallbackIdentifiers

このアラートは、同一のフォールバック DID を使用する現在進行中の Cisco IME コールが多すぎて、Unified Communications Manager が処理している新しい Cisco IME コールに割り当てる DTMF デジットシーケンスが足りないときに生成されます。新しいコールは継続しますが、音声品質が低下しても PSTN にフォールバックすることができません。

このアラームが生成された場合、このコールに関連付けるフォールバック プロファイルを確認します。Cisco Unified Communications Manager の管理、ページでプロファイルを確認し、[関連 DTMF 番号のフォールバック番号 (「Fallback Number of Correlation DTMF Digits」)] フィールドの現在の設定を調べます。このフィールドの値を 1 つ上げて、新しい値によってこれらのアラートが解消されるかどうかを確認します。一般に、このパラメータは十分大きい値にする必要があります。このプロファイルに関連付ける登録数に対して作成された Cisco IME 同時コール数が、この登録数を指数とする 10 の累乗の値よりも常にずっと低くなるようにします。たとえば、このフォールバック プロファイルに関連付けるパターンの Cisco IME 同時コール数が常に 10,000 未満である場合、この値を 5 に設定する (10 の 5 乗は 100,000) ことで、Unified Communications Manager からこのアラートが生成されなくなります。

ただし、この値を大きくすると、フォールバックに要する時間が若干長くなります。このため、「関連 DTMF 番号のフォールバック番号 (Fallback Number of Correlation DTMF Digits)」フィールドの値は、このアラートが生成されない程度に大きい値を設定する必要があります。

DTMF デジット フィールドの値を大きくする代わりに、異なるフォールバック DID を持つ別のフォールバック プロファイルを追加して、より少ない数の登録パターンをそのフォールバック プロファイルに関連付けることができます。この方法を使用すると、より少ない桁数を使用できます。

デフォルト設定

表 169: *InsufficientFallbackIdentifiers* アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | エラー |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 フォールバック ID を割り当てることができない |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | 1 分以内に最大 1 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

InvalidCredentials

このアラートは、Unified Communications Manager で設定されたユーザ名とパスワードが Cisco IME サーバで設定されたものと一致しないために、Unified Communications Manager が Cisco IME サーバに接続できないことを示します。

アラートには、Cisco IME サーバへの接続に使用されたユーザ名とパスワードに加え、ターゲット Cisco IME サーバの IP アドレスおよび名前が含まれます。このアラートを解決するには、Cisco IME サーバにログインし、設定されているユーザ名およびパスワードが Unified Communications Manager で設定されているユーザ名およびパスワードと一致することを確認します。

デフォルト設定

表 170: *InvalidCredentials* アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|----------|---------|
| アラートの有効化 | オン |

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| シビラティ（重大度） | アラート |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 Cisco IME サーバへのクレデンシャルが失敗した |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

LocationOutOfResource

このアラートは、LocationOutOfResource イベントの回数が、設定されている時間間隔中に、設定されているしきい値を超えたときに発生します。これは、ロケーションまたはリンクの音声、ビデオ、またはイマーシブ帯域幅のいずれか、またはすべてが使い尽くされたことを示します。

デフォルト設定

表 171: LocationOutOfResource アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ（重大度） | 警告 |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。LocationOutOfResource イベントが 60 秒以内に 5 回生成された |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|---------------------|
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

MaliciousCallTrace

これは、Unified Communications Manager に迷惑呼が存在することを示します。迷惑呼の識別 (MCID) 機能が呼び出されます。

デフォルト設定

表 172: MaliciousCallTrace RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 迷惑呼トレースが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

MediaListExhausted

このアラートは、MediaListExhausted イベントの回数が、設定されている時間間隔中に、設定されているしきい値を超えたときに発生します。このアラートは、メディアリストで定義されている使用可能なメディア リソースがすべて使用中であることを示します。デフォルトの値は、60 分以内に 0 回です。

デフォルト設定

表 173: MediaListExhausted RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | 警告 |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 MediaListExhausted イベントの回数が最近 60 分間で 0 回を超えている |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

MgcpDChannelOutOfService

このアラートは、メディア ゲートウェイ コントロール プロトコル (BRI) D チャネルがアウトオブサービスのままである場合にトリガーされます。

デフォルト設定

表 174: MgcpDChannelOutOfService RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|----------|---------|
| アラートの有効化 | オン |

NumberOfRegisteredDevicesExceeded

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 MGCP DChannel がアウト オブ サービスである |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

NumberOfRegisteredDevicesExceeded

このアラートは、NumberOfRegisteredDevicesExceeded イベントが生成されたときに発生します。

デフォルト設定

表 175: NumberOfRegisteredDevicesExceeded RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 NumberOfRegisteredDevicesExceeded イベントが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|---------------------|
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

NumberOfRegisteredGatewaysDecreased

このアラートは、クラスタに登録されたゲートウェイの数が、連続したポーリング間で減少したときに発生します。

デフォルト設定

表 176: NumberOfRegisteredGatewaysDecreased RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 登録されたゲートウェイの数が減少した |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

NumberOfRegisteredGatewaysIncreased

このアラートは、クラスタに登録されたゲートウェイの数が、連続したポーリング間で増加したときに発生します。

デフォルト設定

表 177: *NumberOfRegisteredGatewaysIncreased* RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 登録されたゲートウェイの数が増加した |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

NumberOfRegisteredMediaDevicesDecreased

このアラートは、クラスタに登録されたメディアデバイスの数が、連続したポーリング間で減少したときに発生します。

デフォルト設定

表 178: *NumberOfRegisteredMediaDevicesDecreased* RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 登録されたメディア デバイスの数が減少した |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|---------------------|
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

NumberOfRegisteredMediaDevicesIncreased

このアラートは、クラスタに登録されたメディアデバイスの数が、連続したポーリング間で増加したときに発生します。

デフォルト設定

表 179: NumberOfRegisteredMediaDevicesIncreased RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 登録されたメディア デバイスの数が増加した |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

NumberOfRegisteredPhonesDropped

このアラートは、クラスタに登録された電話機の数、連続したポーリング間で、設定されている割合を超えて減少したときに発生します。

デフォルト設定

表 180: NumberOfRegisteredPhonesDropped RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 クラスタに登録された電話機の数 (10%) 減少した |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

RecordingCallSetupFail

デフォルト設定

表 181: RecordingCallSetupFail RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | エラー |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 RecordingCallSetupFail イベントが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | 30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|----------|
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

RecordingGatewayRegistrationRejected

デフォルト設定

表 182: RecordingGatewayRegistrationRejected RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | エラー |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 RecordingGatewayRegistrationRejected イベントが生成された。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | 30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

RecordingGatewayRegistrationTimeout

デフォルト設定

表 183: RecordingGatewayRegistrationTimeout RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | エラー |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 RecordingGatewayRegistrationTimeout イベントが生成された。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | 30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

RecordingGatewaySessionFailed

デフォルト設定

表 184: RecordingGatewaySessionFailed RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---------------|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | エラー |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|--|
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 RecordingGatewaySessionFailed イベントが生成された。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | 30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

RecordingResourcesNotAvailable

デフォルト設定

表 185: RecordingResourcesNotAvailable RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | 警告 |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 RecordingGatewayRegistrationTimeout イベントが生成された。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | 30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

RecordingSessionTerminatedUnexpectedly

デフォルト設定

表 186: RecordingSessionTerminatedUnexpectedly RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | エラー |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 RecordingCallSetupFail イベントが生成された。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | 30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

RouteListExhausted

このアラートは、RouteListExhausted イベントの回数が、設定されている時間間隔中に、設定されているしきい値を超えたときに発生します。このアラートは、ルートリストで定義されている使用可能なチャンネルがすべて使用中であることを示します。デフォルトの値は、60 分以内に 0 回です。

デフォルト設定

表 187: RouteListExhausted RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-------------|---------|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | 警告 |

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 RouteListExhausted の回数が最近 60 分間で 0 回を超えている |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

RTMTSessionsExceedsThreshold

デフォルト設定

表 188 : RTMTSessionsExceedsThreshold RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | アラート |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 ast セッションの数が 250 を超える場合。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|---------|
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SDLLinkOutOfService

このアラートは、SDLLinkOutOfService イベントが生成されたときに発生します。このイベントは、ローカルの Unified Communications Manager がリモートの Unified Communications Manager と通信できないことを示します。通常、このイベントは、ネットワークエラーまたはリモート Unified Communications Manager が実行されていないことを示します。

デフォルト設定

表 189: SDLLinkOutOfService RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 SDLLinkOutOfService イベントが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SmartLicenseAuthorizationExpiringSoon

このアラートは、Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトでのユニファイドコミュニケーションマネージャの許可がまもなく期限切れになると発生します。

デフォルト設定

表 190 : SmartLicenseAuthorizationExpiringSoon RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | 警告 |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされた場合にアラートをトリガーします: SmartLicenseAuthorizationExpiringSoon イベントが生成されました |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SmartLicenseCommunicationError

このアラートは、Unified Communications Manager が Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトと正常に通信できない場合に発生します。

デフォルト設定

表 191 : SmartLicenseCommunicationError RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---------------|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | エラー |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|---|
| しきい値 | 次の条件が満たされた場合にアラートをトリガーします: SmartLicenseCommunicationError イベントが生成されました |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SmartLicenseExportControlNotAllowed

このアラートは、スマートアカウントまたはバーチャルアカウントから受信した登録トークンに、ユニファイドコミュニケーションマネージャが登録されておらず、エクスポート制御機能がオンになっており、混合モードで動作するようにライセンスされていない場合に発生します。

デフォルト設定

表 192: SmartLicenseExportControlNotAllowed RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | アラート |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされた場合にアラートをトリガーします。 SmartLicenseExportControlNotAllowed イベントが生成されました。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|---------|
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SmartLicenseInEval

このアラートは、ユニファイドコミュニケーションマネージャが Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトに登録されておらず、まもなく期限切れになる評価モードで動作している場合に発生します。

デフォルト設定

表 193: SmartLicenseInEval RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | 警告 |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされた場合にアラートをトリガーします。 SmartLicenseInEval イベントが生成されました。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SmartLicenseInOverageAuthorizationExpired

このアラートは、認証の有効期限が切れる前にユニファイドコミュニケーションマネージャのライセンス認証を更新せずに、ライセンス認証の期限が切れた場合に発生します。これは、まもなく期限切れになる超過期間で実行されます。

デフォルト設定

表 194: SmartLicenseInOverage_AuthorizationExpired RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | アラート |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされた場合にアラートをトリガーします。 SmartLicenseInOverage_AuthorizationExpired イベントが生成されました。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SmartLicenseInOverageOutOfCompliance

このアラートは、Cisco ユニファイドコミュニケーションマネージャが十分な数のライセンスで動作していて、ステータスがコンプライアンス違反である場合に発生します。これは、まもなく期限切れになる超過期間で実行されます。

デフォルト設定

表 195: SmartLicenseInOverage_OutOfCompliance RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---------------|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | アラート |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|---|
| しきい値 | 次の条件が満たされた場合にアラートをトリガーします。 SmartLicenseInOverage_OutOfCompliance イベントが生成されました。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SmartLicenseNoProvisionAuthorizationExpired

このアラートは、ユニファイドコミュニケーションマネージャのライセンス認証が成功せず、超過期間が終了した場合に発生します。ユーザまたはデバイスを追加、更新、または削除することはできません。

デフォルト設定

表 196: SmartLicenseNoProvision_AuthorizationExpired RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされた場合にアラートをトリガーします。 SmartLicenseNoProvision_AuthorizationExpired イベントが生成されました。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|---------|
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SmartLicenseNoProvisionEvalExpired

このアラートは、Cisco Smart Licensing の評価期間がユニファイドコミュニケーションマネージャに対して期限切れになったときに発生します。ユーザまたはデバイスを追加、更新、または削除することはできません。

デフォルト設定

表 197: SmartLicenseNoProvision_EvalExpired RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされた場合にアラートをトリガーします。 SmartLicenseNoProvision_EvalExpired イベントが生成されました。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SmartLicenseNoProvisionOutOfCompliance

このアラートは、Cisco ユニファイドコミュニケーションマネージャが十分な数のライセンスで動作し、超過期間が終了した場合に発生します。ユーザまたはデバイスを追加、更新、または削除することはできません。

デフォルト設定

表 198: SmartLicenseNoProvision_OutOfCompliance RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされた場合にアラートをトリガーします。 SmartLicenseNoProvision_OutOfCompliance イベントが生成されました。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SmartLicenseRegistrationExpired

このアラートは、登録の有効期限前にユニファイドコミュニケーションマネージャのライセンス登録を更新せずに、ライセンス登録が期限切れになった場合に発生します。ユーザまたはデバイスを追加、更新、または削除することはできません。

デフォルト設定

表 199: SmartLicenseRegistrationExpired RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---------------|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | エラー |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|--|
| しきい値 | 次の条件が満たされた場合にアラートをトリガーします: SmartLicenseRegistrationExpired イベントが生成されました |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SmartLicenseRegistrationExpiringSoon

このアラートは、Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトによる Unified Communications Manager の登録がまもなく期限切れになる場合に発生します。

デフォルト設定

表 200: SmartLicenseRegistrationExpiringSoon RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | 警告 |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされた場合にアラートをトリガーします: SmartLicenseRegistrationExpiringSoon イベントが生成されました |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SmartLicenseRenewAuthFailed

このアラートは、ユニファイドコミュニケーションマネージャのライセンス認証の更新が失敗した場合に発生します。

デフォルト設定

表 201 : SmartLicenseRenewAuthFailed RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | エラー |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされた場合にアラートをトリガーします: SmartLicenseRenewAuthFailed イベントが生成されました |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SmartLicenseRenewRegistrationFailed

このアラートは、ユニファイドコミュニケーションマネージャのライセンス登録の更新が失敗した場合に発生します。

デフォルト設定

表 202 : SmartLicenseRenewRegistrationFailed RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-------------|---------|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | エラー |

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされた場合にアラートをトリガーします: SmartLicenseRenewRegistrationFailed イベントが生成されました |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SmartLicense_Reservation_InEval

このアラートは、評価期間で実行中の Unified Communications Manager が、ライセンスの予約に対して有効になっており、予約済み承認コードのインストールが保留中の場合に発生します。

デフォルト設定

Table 203: SmartLicense_Reservation_InEval RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | 警告 |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされた場合にアラートをトリガーします。 SmartLicense_Reservation_InEval イベントが生成されました |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|---------|
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SmartLicense_Reservation_NoProvision_EvalExpired

このアラートは、Unified Communications Manager ライセンス評価期間が終了し、Specified License Reservation または Permanent License Reservation 認証コードのインストールが保留中の場合に発生します。

デフォルト設定

Table 204: SmartLicense_Reservation_NoProvision_EvalExpired RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が一致した場合にアラートをトリガー： SmartLicense_Reservation_NoProvision_EvalExpired イベントが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SmartLicense_SLR_InOverage_NotAuthorized

このアラートは、ユニファイドコミュニケーションマネージャが指定されたライセンスの予約モードで実行されており、ライセンスの数が不十分で、超過期間がアクティブである場合に発生します。

デフォルト設定

表 205: SmartLicense_SLR_InOverage_NotAuthorized RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | アラート |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされた場合にアラートをトリガーします。 SmartLicense_SLR_InOverage_NotAuthorized イベントが生成されました |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SmartLicense_SLR_NoProvision_NotAuthorized

このアラートは、ユニファイドコミュニケーションマネージャが指定されたライセンスの予約モードで実行されており、ライセンスの数が不十分で、超過期間が期限切れになっているため、プロビジョニング状態に移行していない場合に発生します。

デフォルト設定

表 206: SmartLicense_SLR_NoProvision_NotAuthorized RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---------------|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|--|
| しきい値 | 次の条件が満たされた場合にアラートをトリガーします。 SmartLicense_SLR_NoProvision_NotAuthorized イベントが生成されました |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SmartLicense_Reservation_ExportControlNotAllowed

このアラートは、Cisco Unified Communication Managerが混合モードになっており、特定のライセンス予約が有効になっていて、その評価モードで Cisco Unified Communication Managerが評価モードで、評価期間が切れ、登録済みの特定のライセンス予約、登録固有のライセンス予約状態のときに発生します。

デフォルト設定

Table 207: SmartLicense_Reservation_ExportControlNotAllowed RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | アラート |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされた場合にアラートをトリガーします。 SmartLicense_Reservation_ExportControlNotAllowed イベントが生成されました |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |

SwitchesAndAccessPointReached75PercentCapacity

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|---------|
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SwitchesAndAccessPointReached75PercentCapacity

このアラートは、スイッチとアクセスポイントの現在のレコード数が5万レコードの最大容量の75%に達した場合に発生します。

デフォルト設定

表 208 : SwitchesAndAccessPointReached75PercentCapacity RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーします。 SwitchesAndAccessPointReached75PercentCapacity |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SwitchesAndAccessPointReached90PercentCapacity

このアラートは、スイッチとアクセスポイントの現在のレコード数が5万レコードの最大容量の90%に達した場合に発生します。

デフォルト設定

表 209: SwitchesAndAccessPointReached90PercentCapacity RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーします。 SwitchesAndAccessPointReached90PercentCapacity |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SwitchesAndAccessPointReached95PercentCapacity

このアラートは、スイッチとアクセスポイントの現在のレコード数が5万レコードの最大容量の95%に達した場合に発生します。

デフォルト設定

表 210: SwitchesAndAccessPointReached95PercentCapacity RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---------------|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|--|
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーします。 SwitchesAndAccessPointReached95PercentCapacity |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

TCPSetupToIMEFailed

このアラートは、Cisco Unified Communications Manager が Cisco IME サーバへの TCP 接続を確立できないときに発生します。このアラートは一般に、Cisco IME サーバの IP アドレスとポートが Unified Communications Manager Administration で正しく設定されていない場合か、インターネット接続の問題が存在するために接続が確立されない場合に発生します。

アラートの Cisco IME サーバの IP アドレスとポートが有効であることを確認します。問題が解決しない場合は、Unified Communications Manager サーバと Cisco IME サーバ間の接続をテストします。

デフォルト設定

表 211: TCPSetupToIMEFailed アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 Cisco IME サーバへの接続に失敗した |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|----------|
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

TLSConnectionToIMEFailed

このアラートは、Cisco IME サービスによって提示された証明書の期限が切れていたか、証明書が Unified Communications Manager CTL になかったために、Cisco IME サービスへの TLS 接続を確立できなかったときに発生します。

Cisco IME サービス証明書が Unified Communications Manager に設定されていることを確認します。

デフォルト設定

表 212: TLSConnectionToIMEFailed アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | アラート |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 Cisco IME サービスへの TLS 障害が発生した |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

UserInputFailure

デフォルト設定

表 213: UserInputFailure RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | 警告 |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 UserInputFailure イベントが生成された。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | 30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

IM and Presence Service アラート

CTIGWModuleNotEnabled

アラートの説明

このアラートは、Cisco CTI ゲートウェイ アプリケーションが、設定が不十分であるかまたはイネーブルでないことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco CTI ゲートウェイ アプリケーションを設定して有効にするには、[ユニファイドコミュニケーション マネージャー IM and プレゼンス CTI ゲートウェイ の設定 (Cisco CTI gateway Settings)] ページを使用します。

CTIGWProviderDown

アラートの説明

このアラートは、CTIプロバイダーがダウンしていることを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

設定済みのユニファイドコミュニケーションマネージャノードへの接続を確認し、cisco CTI ゲートウェイアプリケーションが Cisco ユニファイド CM IM and プレゼンス管理 GUI の [CTI 設定 (CTI Settings)] ページで有効になっていることを確認します。

CTIGWProviderFailedToOpen

タイプ

IM and Presence Service

アラートの説明

このアラートは、CTIプロバイダーが設定エラーが原因で開けなかったことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし。

推奨処置

Administration GUI の [CTI 設定 (CTI Settings)] ページで、Unified Communications Manager のアドレスとアプリケーションのユーザ クレデンシャルを確認します。

CTIGWQBFailedRequest

アラートの説明

このアラートは、Cisco CTI ゲートウェイ アプリケーションが、要求に対して失敗応答を受信したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

CTIGWSystemError

アラートの説明

このアラートは、Cisco CTI ゲートウェイ アプリケーション システムのエラーを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

CTIGWUserNotAuthorized

アラートの説明

このアラートは、不正なデバイスまたは回線 DN が原因で、ユーザが承認されなかったことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

ユーザのデバイス設定および MOC 設定を確認します。

CTIGWUserNotLicenced

アラートの説明

このアラートは、ユーザには有効なライセンスがないため、認証できないことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco CTI ゲートウェイ アプリケーションのライセンスとユーザ設定を確認します。

DuplicateDirectoryURI

アラートの説明

このアラートは、ディレクトリ URI IM アドレス スキームが設定されている時、同じディレクトリ URI 値が割り当てられているクラスタ間展開内に複数のユーザが設定されていることを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

ただちに処置をして問題を修正してください。各ユーザは一意のディレクトリ URI が割り当てられる必要があります。影響を受けるユーザが、クラスタ間ピアに配置されている場合があります。

DuplicateUserid

アラートの説明

このアラートは、クラスタ間展開内の別のクラスタで、1人以上のユーザに重複ユーザ ID が割り当てられていることを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

ただちに処置をして問題を修正してください。各ユーザは一意のユーザ ID が割り当てられる必要があります。影響を受けるユーザが、クラスタ間ピアに配置されている場合があります。

EspConfigAgentFileWriteError

アラートの説明

このアラートは、Cisco Config Agent サービスがファイル システムに書き込むことができないことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、ディスク容量が少なくなっていること、または使い尽くされていることを確認します。このアラームは、システムが過負荷になっているため、ユーザを IM and Presence Service クラスタ内の他のノードに再割り当てする必要があることを示す場合があります。ユーザを他のノードに再割り当てするには、IM and Presence Service Administration GUI の [トポロジ (Topology)] ページを使用します。

EspConfigAgentHighCPUUtilization

アラートの説明

このアラートは、CPU 使用率が設定されたしきい値を超えたことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Unified RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

EspConfigAgentHighMemoryUtilization

アラートの説明

このアラートは、仮想メモリの使用率が設定されたしきい値を超えたことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Unified RTMT を使用してメモリ使用率をモニタし、必要に応じてパフォーマンスを向上させるためにシステム負荷を減らしてください。

EspConfigAgentLocalDBAccessError

アラートの説明

このアラートは、Cisco Config Agent サービスでの IM and Presence Service のローカル データベースの読み取りまたは書き込みが失敗したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用してシステムの状態を確認してください。A Cisco DB サービスが実行していることを確認してください。

EspConfigAgentMemAllocError

アラートの説明

このアラートは、Cisco Config Agent サービスがメモリを割り当てることができないことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Unified RTMT を使用して、システムの共有メモリが少なくなっていること、または使い尽くされていることを確認します。このアラームは、システムが過負荷になっているため、ユーザを IM and Presence Service クラスタ内の他のノードに再割り当てする必要があることを示す場合があります。ユーザを他のノードに再割り当てするには、IM and Presence Service Administration GUI の [トポロジ (Topology)] ページを使用します。

EspConfigAgentNetworkOutage

アラートの説明

このアラートは、Cisco Config Agent のネットワーク停止を示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、システムの状態とネットワーク接続を確認してください。

EspConfigAgentNetworkRestored

アラートの説明

このアラートは、Cisco Config Agent ネットワークが復元されたことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、システムの状態とネットワーク接続を確認してください。

EspConfigAgentProxyDomainNotConfigured

アラートの説明

このアラートは、Cisco Config Agent サービスが設定されていないことを示します。Cisco Config Agent サービスでは、ACL を適切に生成するために、プロキシドメインを使用します。このサービスが設定されていないと、ルーティング障害が起きる場合があります。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

IM and Presence Service パブリッシャの [サービス パラメータ (Service Parameters)] ドロップダウンメニューに移動します。[Cisco SIP Proxy] サービスを選択します。プロキシドメイン サービス パラメータとして IM and Presence Service ドメインを入力して保存します。

EspConfigAgentRemoteDBAccessError

アラートの説明

このアラートは、Cisco Config Agent サービスが IM and Presence Service サービスのリモート データベースにアクセスできないことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

A Cisco DB サービスが、アラートで指定されているノード上で実行されていることを確認してください。これらのエラーは一時的な場合があります。たとえば、Config Agent が、何らかの理由で使用できなくなっているリモートノードにアクセスしようとしている場合です。そのような場合、このエラーが表示されることがあります。これは、インストールされていない、または使用可能でないノードにユーザを再割り当てすると起きる場合があります。

EspConfigAgentSharedMemoryStaticRouteError

アラートの説明

このアラートは、Cisco Config Agent サービスが、共有メモリ内のスタティック ルートにアクセスできなかったことを示します。これは、システムのメモリが不足していることを示す場合があります。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、システムの共有メモリが少なくなっていること、または使い尽くされていることを確認します。このアラームは、システムが過負荷になっているため、ユーザを IM and Presence Service クラスタ内の他のノードに再割り当てする必要があることを示す場合があります。ユーザを他のノードに再割り当てするには、Administration GUI の [トポロジ (Topology)] ページを使用します。

ESPConfigError

アラートの説明

このアラートは、Cisco SIP プロキシサービスのコンフィギュレーション ファイルエラーを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco Config Agent サービスが実行されていることを確認します。このサービスは、プロキシ コンフィギュレーション ファイルの書き込みに使用します。

ESPConfigNotFound

アラートの説明

このアラートは、Cisco SIP プロキシ サービスのコンフィギュレーション ファイルが見つからないことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

IM and Presence サーバに、コンフィギュレーション ファイル
/usr/local/sip/conf/sipd.conf および
/usr/local/sip/conf/dynamic.sipd.conf があることを確認してください。

ESPCreateLockFailed

アラートの説明

このアラートは、ロック ファイルが作成されていないことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

ESPLoginError

アラートの説明

このアラートは、ログインデータストアと通信中にエラーが発生したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

ESPMallocFailure

アラートの説明

このアラートは、メモリの割り当てに失敗したことを示します。サーバに軽度のメモリ問題があるか、またはメモリ問題がないことを示す場合があります。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Unified RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

ESP NAPTRInvalidRecord

アラートの説明

このアラートは、NAPTR レコードの形式エラーを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラーメッセージを確認してください。

ESP PassedParamInvalid

アラートの説明

このアラートは、無効なパラメータが指定されていることを示します。パラメータが null であるために発行される場合もあります。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Unified RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラーメッセージを確認してください。

ESP RegistryError

アラートの説明

このアラートは、リソース制限を超えたため SIP レジストリに登録を追加することができないことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラーメッセージを確認してください。

ESP RoutingError

アラートの説明

このアラートは、SIP ルート インターフェイス リソース制限の超過エラーを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラーメッセージを確認してください。

ESPSharedMemAllocFailed

アラートの説明

このアラートは、テーブルの初期化を試みている間に、Cisco SIP Proxy サービスが共有メモリのセグメントを割り当てられなかったことを示しています。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

Unified RTMT を使用して、システムの共有メモリを検査し、Cisco SIP Proxy サービスのトレース ログ ファイルでエラー メッセージの詳細情報を確認して、Cisco TAC に連絡してください。

ESPSharedMemCreateFailed

アラートの説明

このアラートは、テーブルの初期化を試みている間に、Cisco SIP Proxy サービスが共有メモリのセグメントを作成できなかったことを示しています。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

Unified RTMT を使用して、システムの共有メモリを検査し、Cisco SIP Proxy サービスのトレース ログ ファイルでエラー メッセージの詳細情報を確認して、Cisco TAC に連絡してください。

ESPSharedMemSetPermFailed

アラートの説明

このアラートは、テーブルの初期化を試みている間に、Cisco SIP Proxy サービスが共有メモリのセグメントに権限を設定できなかったことを示しています。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

Unified RTMT を使用して、システムの共有メモリを検査し、Cisco SIP Proxy サービスのトレース ログ ファイルでエラー メッセージの詳細情報を確認して、Cisco TAC に連絡してください。

ESPSocketError

アラートの説明

このアラートは、バインディング エラー（ソケット アドレス取得の失敗など）によって発生するネットワーク ソケット エラーを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

ESPStatsLogFileOpenFailed

アラートの説明

このアラートは、Cisco SIP プロキシ サービスのステータス ログ ファイルをオープンできなかったことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

ESPStopped

アラートの説明

このアラートは、Cisco SIP Proxy サービスの子プロセスが停止したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

管理者が手動でプロキシサービスを停止しなかった場合、これは何らかの問題を示している可能性があります。Unified RTMT を使用して関連するアラームをチェックして、Cisco TAC に連絡してください。

ESPVirtualProxyError

アラートの説明

このアラートは Virtual_Proxy_Domain 関連のエラーを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

ESPWrongHostName

アラートの説明

このアラートは、無効な IP アドレスまたは解決できないホスト名を示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

ESPWrongIPAddress

アラートの説明

このアラートは、無効な IP アドレスが入力されたことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

ICSACertificateCAConflict

アラートの説明

このアラートは、Cisco Intercluster Sync Agent サービスが CA 証明書の競合を検出したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

証明書を監査するときに、ユニファイドコミュニケーションマネージャで競合する CA 証明書が検出されました。クラスタの IM and Presence ノードで Cisco Intercluster Sync Agent を停止します。すべての IM and Presence およびユニファイドコミュニケーションマネージャノードで競合する証明書を削除し、有効な証明書を各ノードに再アップロードします。Cisco Intercluster Sync Agent を起動します。

ICSACertificateCASignedTrustCertFound

アラートの説明

このアラートは、Cisco Intercluster Sync Agent サービスが署名済み CA 信頼証明書を検出したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

無署名 CA 信頼証明書のみを許可するようにします。

ICSACertificateFingerPrintMismatch

アラートの説明

このアラートは、Cisco Intercluster Sync Agent サービスが、処理される証明書にフィンガープリントの不一致を検出したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

ソース サーバの証明書と、このサーバにロードされる証明書を比較するために、IM and Presence Service の OS Administration GUI を使用します。問題の証明書を削除し、リロードする必要がある場合があります。

ICSCertificateValidationFailure

アラートの説明

このアラートは、Cisco Intercluster Sync Agent サービスが、処理される証明書に認証エラーを検出したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

ソース サーバの証明書と、このサーバにロードされる証明書を比較するために、IM and Presence Service の OS Administration GUI を使用します。問題の証明書を削除し、リロードする必要がある場合があります。

InterclusterSyncAgentAXLConnectionFailed

アラートの説明

このアラートは、リモートの IM and Presence Service クラスタへの認証に、Cisco Intercluster Sync Agent サービスが失敗したため、接続できないことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし。

推奨処置

AXL クレデンシャルが正しいことと、Cisco AXL Web サービスがリモートの IM and Presence Service クラスタで実行中かどうかを確認します。

InterclusterSyncAgentPeerDuplicate

アラートの説明

このアラートは、Cisco Intercluster Sync Agent サービスがリモート ピアからの ユーザ ロケーション データの同期に失敗したことを示します。リモート ピアは、ローカル クラスタ内にピアをすでに持つ IM and Presence Service クラスタに由来します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし。

推奨処置

リモート ピアのホスト名が、識別された既存のピアからのセカンダリ ノードでないことを確認します。新しいピアがセカンダリ ノードの場合は、このピアを IM and Presence Service Administration GUI の [クラスタ間詳細 (Inter-cluster details)] ページから削除します。また、システムトラブルシュータを実行して詳細を確認することもできます。

InvalidDirectoryURI

アラートの説明

このアラートは、ディレクトリ URI IM アドレス スキームが設定されているとき、展開内の1つ以上のユーザに空または無効なディレクトリ URI 値が割り当てられていることを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

ただちに処置をして問題を修正してください。影響を受けるユーザが、クラスタ間ピアに配置されている場合があります。

JSMSessionsExceedsThreshold

このアラートは、クライアントの登録が手がつけられない状態で、ノードで作成されたセッションの数を越えたことを示します。

次の表には、JSMSessionsExceedsThreshold カウンタに関する情報が記載されています。

Table 214: JSMSessionsExceedsThreshold

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーします: JsmTotalSessionsThreshold カウンタがしきい値を超えたとき |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

LegacyCUPCLogin

アラートの説明

このアラートは、Cisco Unified Personal Communicator のレガシー クライアントが Cisco Client Profile Agent サービスにログインしようとしたことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco Unified Personal Communicator のレガシー クライアントはサポートされないため、アップグレードする必要があります。

NotInCucmServerListError

アラートの説明

このアラートは、IM and Presence ノードが Unified Communications Manager パブリッシャのサーバリストに含まれていないため Cisco Sync Agent の起動に失敗したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

IM and Presence ノードを Unified Communications Manager サーバのサーバリストに追加し、Cisco Sync Agent サービスを起動します。

PEAutoRecoveryFailed

アラートの説明

このアラートは、エラーを Cisco Presence Engine サービスの起動シーケンス中に発生したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

このエラーは、設定に問題がある可能性があります。失敗メッセージで認識された問題を修正します。

PEDatabaseError

アラートの説明

このアラートは、データベースから情報を取得中に Cisco Presence Engine サービスでエラーが発生したことを示します。これは Cisco DB サービスに問題が生じていることを示している場合があります。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

Cisco DB サービスが実行されていることを確認します。Unified RTMT を使用して、Cisco Presence Engine サービス ログでエラーをチェックしてください。詳細については、Cisco TAC にお問い合わせください。

PEIDSQueryError

アラートの説明

このアラートは、IM and Presence Service データベースのクエリーを実行中に Cisco Presence Engine サービスがエラーを検出したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

都合のよいときに Cisco Presence Engine サービスを再起動します。問題が続く場合は、関連するエラーメッセージとログファイルを確認し、Cisco TAC にお問い合わせください。

PEIDSSubscribeError

アラートの説明

このアラートは、Cisco Presence Engine サービスが IM and Presence Service データベース変更通知をサブスクライブできなかったを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

都合のよいときに Cisco Presence Engine サービスを再起動します。問題が続く場合は、関連するエラーメッセージとログファイルを確認し、Cisco TAC にお問い合わせください。

PEIDStoIMDBDatabaseSyncError

アラートの説明

このアラートは、IM and Presence データベースと Cisco Presence Engine とデータベースサービス間の同期が失敗したことを示します (Cisco Login Datastore、Cisco Route Datastore、Cisco Presence Datastore、および Cisco SIP Registration Datastore)。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

都合のよいときに Cisco Presence Engine サービスを再起動します。問題が続く場合は、関連するエラーメッセージとログファイルを確認し、Cisco TAC にお問い合わせください。

PELoadHighWaterMark

アラートの説明

このアラートは、Cisco Presence Engine サービスが CPU 使用率しきい値を超えたことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、次のアクティブサブスクリプションカウンタを確認してください: ActiveSubscriptions、ActiveViews、SubscriptionActiveReceivedFromForeign、および

SubscriptionActiveSentForeign。この状態が続く場合は、クラスタ内の別の IM and Presence Service ノードにユーザを移動することを検討することをお勧めします。

PEMemoryHighCondition

アラートの説明

このアラートは、Cisco Presence Engine サービスがメモリしきい値に達したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Unified RTMT を使用して、次のアクティブ サブスクリプション カウンタを確認してください：ActiveSubscriptions、ActiveViews、SubscriptionActiveReceivedFromForeign、および SubscriptionActiveSentForeign。この状態が続く場合は、クラスタ内の別の IM and Presence ノードに一部のユーザをオフロードします。

PEPeerNodeFailure

アラートの説明

このアラートは、サブクラスタのピア ノードの Cisco Presence Engine サービスが失敗したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

Cisco Presence Engine サービスが動作していることを確認するには、Cisco Unified Serviceability を使用します。詳細については、Cisco TAC にお問い合わせください。

PEsipSocketBindFailure

アラートの説明

このアラートは、Cisco Presence Engine サービスが表示された設定済みインターフェイスに接続できないことを示します。このインターフェイスでは SIP トラフィックは処理できません。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco Presence Engine サービスのリッスン インターフェイスが IM and Presence Service Administration GUI の [アプリケーションリスナー (Application Listener)] ページで正しく設定されていることを確認します。netstat を使用して他のプロセスが同じポートでリッスンしていないことを確認します。

PEStateDisabled

アラートの説明

このアラートは、Cisco Presence Engine サービスが使用できず、トラフィックを処理できないことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

ログファイルをチェックし、Unified RTMT を使用して Cisco Presence Engine サービスをモニタしてください。

PEStateLocked

アラートの説明

このアラートは、管理上、Cisco Presence Engine サービスでトラフィック処理が禁止されていることを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

このアラートは通知専用です。アクションは不要です。

PEWebDAVInitializationFailure

アラートの説明

このアラートは、Cisco Presence Engine サービスが WebDAV ライブラリを初期化できなかったことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco Presence Engine サービスを再起動します。

PWSAboveCPULimit

アラートの説明

このアラートは、CPU 使用率が設定されたしきい値を超えたことが Cisco SIP Proxy サービスで実行中の Presence Web Service モジュールにより検出されたことを示します。この間、CPU 使用率が設定されたしきい値未満に低下するまで、新しい要求はブロックされません。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Unified RTMT を使用して、Cisco SIP Proxy サービスのログの詳細を確認してください。

PWSAboveSipSubscriptionLimit

アラートの説明

このアラートは、サブスクリプションの数が設定された制限を超えたことが Cisco SIP Proxy サービスで実行中の Presence Web Service により検出されたことを示します。この間、Presence Web Service は、サブスクリプションの数が設定された制限を下回るようになるまで、新しい着信 SIP サブスクリプションをブロックします。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP Proxy サービスのログの詳細を確認してください。

PWSRequestLimitReached

アラートの説明

このアラートは、秒あたりの Cisco SIP Proxy サービス要求数の制限に到達したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

着信要求のレートを抑制する必要がある場合があります。

PWSSCBFindFailed

アラートの説明

このアラートは find_scb() へのコールが SCB ルックアップに失敗したことを示す NULL を返したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

PWSSCBInitFailed

アラートの説明

このアラートは、SCB の初期化が失敗したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco SIP プロキシ サービスを再起動します。

ReplicationDefaultIMDomainChangeFailure

アラートの説明

このアラートは、ローカルのデフォルト IM ドメインの変更が失敗した場合に発生します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

[詳細プレゼンス設定 (Advanced プレゼンス Setting)] ページから、ローカルデフォルトの IM ドメイン変更手順を再実行します。

ReplicationIMAddressSchemeChangeFailure

アラートの説明

このアラートは、IM アドレススキームの変更が失敗した場合に発生します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

[詳細プレゼンス設定 (Advanced プレゼンス Settings)] ページから、IM アドレススキームの変更手順を再実行します。

SRMFailover

タイプ

IM and Presence Service

アラートの説明

このアラートは、Server Recovery Manager が自動フェールオーバーを実行していることを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

障害が発生したノードが起動しており、重要なサービスが実行されていることを確認します。

SRMFailed

アラートの説明

このアラートは、Server Recovery Manager が障害状態であることを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

都合の良いときに Server Recovery Manager を再起動します。

SyncAgentAXLConnectionFailed

アラートの説明

このアラートは、Cisco Sync Agent サービスが認証に失敗した場合に発生します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

AXL クレデンシヤルが正しいことと、Cisco AXL Web サービスがリモートの Unified Communications Manager パブリッシャで通知され、実行されているかどうかを確認します。

UASCBFindFailed

アラートの説明

このアラートは find_scb() へのコールが SCB ルックアップに失敗したことを示す NULL を返したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

UASCBGetFailed

アラートの説明

このアラートは、tchtable_acquire_tcb() へのコールが SCB の取得または作成に失敗したことを示す NULL を返したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

XcpCmComponentConnectError

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP Connection Manager が Cisco XCP ルータへの接続に失敗したためにシャットダウンしていることを示しています。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco XCP Connection Manager のログ ファイルで詳細情報を確認します。

XcpCmConnectionsPerIpLimit

アラートの説明

このアラートは、同じ IP アドレスから XCP Connection Manager への同時 XMPP クライアント接続の最大数の制限を示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco XCP Connection Manager のログ ファイルで詳細情報を確認します。

XcpCmPauseSockets

アラートの説明

このアラートは、優れた XCP の内部パケットまたはデータベース要求が設定された上限に達したことを示します。クライアント接続は、保留中の要求がしきい値を下回るまで一時停止されます。ユーザには、問題が解決されるまで遅延が発生します。解決前に設定されたタイムアウトに達した場合、ユーザは接続解除される可能性があります。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

詳細については XCP ルータ ログ ファイルを確認します。XCP Connection Manager からのタイムアウトによるクライアントの切断をモニタします。

XcpCmStartupError

アラートの説明

このアラートは、XCP Connection Manager サービスが起動に失敗したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

CM のログ ファイルで詳細情報を確認します。

XcpCmXmppdError

アラートの説明

このアラートは、XCP Connection Manager (CM) サービスで XMPP インターフェイスにエラーがあることを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

CM のログ ファイルで詳細情報を確認します。

XCPConfigMgrConfigurationFailure

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP Config Manager が正常に XCP 設定を更新できなかったことを示しています。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

根本原因については Cisco XCP Config Manager のログを確認します。Cisco TAC に連絡して、サポートを受けてください。

XCPConfigMgrHostNameResolutionFailed

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP Config Manager で、Cisco XCP ルータがそのノードに接続することを許可するために DNS 名を解決することができなかったことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

ローカルクラスタとリモートクラスタの両方のすべてのホスト名と FQDN の DNS 解決可能性を確認します。DNS が解決可能になった後、Cisco XCP Config Manager を再起動し、次に Cisco XCP ルータを再起動します。

XCPConfigMgrJabberRestartRequired

アラートの説明

このアラートは、バッファ サイズが原因でシステムが停止した後に、Cisco XCP Config Manager が XCP XML ファイルを再生成したことを示します。変更を適用するために、Cisco XCP ルータを再起動する必要があります。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

Cisco XCP ルータを再起動します（そのほうが便利な場合）。

XCPConfigMgrR2RPasswordEncryptionFailed

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP Config Manager が、クラスタ間およびルータ間の設定に関連付けられたパスワードを暗号化できなかったことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

Cisco XCP Config Manager を再起動し、次に Cisco XCP ルータを再起動します（そのほうが便利な場合）。

XCPCongMgrR2RRequestTimedOut

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP Config Manager が XCP ルータに R2R 構成要求を送信したが、XCP ルータが許可された時間内に要求を承認しなかったことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco XCP Config Manager を再起動し、次に XCP ルータを再起動します。

XcpDBConnectError

アラートの説明

Cisco XCP データ アクセス レイヤが DB に接続できませんでした。これはローカルまたは外部のデータベースがダウンしているか、または外部データベースへのネットワーク接続が失われたことを示す場合があります。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

システムトラブルシュータで詳細を確認してください。外部データベースが正常に動作していること、および外部データベースサーバとのネットワーク接続に問題があるかどうかについても確認します。

XcpMdnsStartError

アラートの説明

このアラートは、XCP ルータが Multicast Domain Name Service (MDNS) の起動に失敗したことを示します。これにより、クラスタ内の他のルータに接続障害を引き起こす可能性があります。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

詳細については XCP ルータ ログ ファイルを確認します。

XcpMessArchDBConnectError

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP データアクセスレイヤが dB に接続できなかった場合に発生します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

より多くの情報についてシステムトラブルシュータを確認してください。外部データベースが正常に動作していること、および外部データベースサーバとのネットワーク接続に問題があるかどうかについても確認します。

XcpMessArchDBFullError

アラートの説明

このアラートは、ディスク領域またはテーブルスペースが不足しているために、Cisco XCP データアクセスレイヤが dB にデータを挿入できなかった場合に発生します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

外部 dB のディスク領域またはテーブルスペースを解放してください。

XcpMFTDBConnectError

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP データアクセスレイヤが外部データベースに接続できなかったことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

システムトラブルシュータで詳細を確認してください。外部データベースが正常に動作していること、および外部データベースサーバとのネットワーク接続に問題があるかどうかについても確認します。

XcpMFTDBFullError

アラートの説明

このアラートは、ディスク領域またはテーブルスペースが不足しているために、Cisco XCP データアクセスレイヤが dB にデータを挿入できなかった場合に発生します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

DB のディスク領域またはテーブルスペースを解放してください。

XcpMFTExtFsFreeSpaceWarn

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP File Transfer Manager が外部ファイルサーバの空きディスク領域が少ないことを検出したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

ファイルサーバのディスク領域の10% 未満が残っています。

推奨処置

このアラートは、ディスク領域を15%より大きくすることによってクリアされます。ファイル転送に使われるパーティションから不要なファイルを削除して、外部ファイルサーバの領域を解放します。

XcpMFTExtFsMountError

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP File Transfer Manager が外部ファイルサーバとの接続を失ったことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

External File Server Troubleshooter で詳細を確認してください。また、外部ファイルサーバが正常に動作していること、または外部ファイルサーバへのネットワーク接続に問題があるかどうかを確認します。

XcpSIPFedCmComponentConnectError

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP SIP Federation Connection Manager が Cisco XCP ルータへの接続に失敗したためにシャットダウンしていることを示しています。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco XCP SIP Federation Connection Manager ログ ファイルで詳細情報を確認します。

XcpSIPFedCmPauseSockets

アラートの説明

このアラートは、XCP ルータが XCP SIP Federation Connection Manager (CM) に対して、システムの負荷によりソケットでのリスニングを一時停止するように指示した場合に発生します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

XCP ルータのログ ファイルの詳細を確認してください。XCP Connection Manager からのタイムアウトによるクライアントの切断を監視します。

XcpSIPFedCmStartupError

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP SIP Federation Connection Manager サービスが起動に失敗したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco XCP SIP Federation Connection Manager ログ ファイルで詳細情報を確認します。

XcpSIPGWStackResourceError

アラートの説明

このアラートは、サポートされる同時 SIP Federation サブスクリプションまたは SIP Federation IM セッションが最大数に到達し、Cisco XCP SIP Federation Connection Manager に追加のサブスクリプションまたは IM セッションを処理するために必要なリソースがないことを示しています。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

Cisco XCP SIP Federation Connection Manager に事前に割り当てられた SIP スタック メモリのサービスパラメータを増やします。注：この設定を変更する場合は、使用可能なメモリがあることを確認します。十分なメモリがない場合は、ハードウェア能力の制限に到達している可能性があります。

XcpThirdPartyComplianceConnectError

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP ルータがサードパーティ製のコンプライアンス サーバに接続できないことを示します。これは、ネットワークの問題やサードパーティ製コンプライアンス サーバの設定またはライセンス問題が原因である可能性があります。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

これは、IM and Presence Service で IM が中断される重大なエラーです。サードパーティ製コンプライアンスサーバへのネットワーク接続とサードパーティ製コンプライアンスサーバの設定（ライセンスを含む）を確認します。IM サービスを復元するには、接続失敗の原因が特定されるまで管理 GUI の [コンプライアンス設定 (Compliance Settings)] オプションを [未設定 (Not Configured)] に設定します。

XcpTxtConfComponentConfigError

アラートの説明

このアラートは、XCP コンポーネントが不正な設定を検出した場合に発生します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

コンポーネント ログ ファイルの詳細を確認してください。

XcpTxtConfDBConnectError

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP テキスト会議のデータ アクセス レイヤが外部データベースに接続できなかったことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

詳細についてシステム トラブルシューティング ツールを確認します。外部データベースが正常に動作していること、および外部データベースサーバとのネットワーク接続に問題があるかどうかについても確認します。

XcpTxtConfDBFullError

アラートの説明

このアラートは、ディスク領域またはテーブルスペースが不足しているために、Cisco XCP データアクセスレイヤが dB にデータを挿入できなかった場合に発生します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

DB のディスク領域またはテーブルスペースを解放してください。

XcpTxtConfDbQueueSizeLimitError

アラートの説明

このアラートは、dBrequests の数が設定で指定された最大制限に達したときに発生します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

外部データベースサーバの状態を確認し、ネットワーク経由でアクセス可能であることを確認します。CUP の Cisco XCP Text Conference Manager を再起動します。

XcpTxtConfGearError

アラートの説明

このアラートは、XCP Text Conference Manager (TC) サービスが設定されたコンポーネントをロードできなかったことを示します。これにより、サービスが期待どおりに開始または動作できなくなる可能性があります。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

詳細については、XCP Text Conference ログ ファイルを確認します。

XcpTxtConfTCMessagesMsgIdError

このアラートは、XCP コンポーネントがエラーメッセージを検出した際に発生します。

次の表には、XcpTxtConfTCMessagesMsgIdError カウンタに関する情報が記載されています。

Table 215: XcpTxtConfTCMessagesMsgIdError

| カウンタ | カウンタの説明 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | エラー |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされた場合にアラートがトリガーされます: データベースイベントの table tc_messages テーブルが生成され |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

XcpWebCmComponentConnectError

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP Web Connection Manager が Cisco XCP ルータへの接続に失敗したためにシャットダウンしていることを示しています。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco XCP Web Connection Manager のログ ファイルで詳細情報を確認します。

XcpWebCmHttpdError

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP Web Connection Manager サービスで HTTP インターフェイスにエラーがあることを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco XCP Web Connection Manager のログ ファイルで詳細情報を確認します。

XcpWebCmPauseSockets

アラートの説明

このアラートは、XCP ルータが XCP Web Connection Manager (CM) に対して、システムの負荷によりソケット上でのリスニングを一時停止するように指示した場合に発生します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

XCP ルータのログ ファイルの詳細を確認してください。XCP Connection Manager からのタイムアウトによるクライアントの切断を監視します。

XcpWebCmStartupError

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP Web Connection Manager サービスが起動に失敗したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco XCP Web Connection Manager のログ ファイルで詳細情報を確認します。

XcpXMPPFedCmComponentConnectError

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP XMPP Federation Connection Manager が Cisco XCP ルータへの接続に失敗したためにシャットダウンしていることを示しています。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco XCP XMPP Federation Connection Manager ログ ファイルで詳細情報を確認します。

XcpXMPPFedCmPauseSockets

アラートの説明

このアラートは、システムの負荷が原因で、XCP XCP Federation Connection Manager (CM) がソケットでのリスニングを一時停止するように指示した場合に発生します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

XCP ルータのログ ファイルの詳細を確認してください。XCP Connection Manager からのタイムアウトによるクライアントの切断を監視します。

XcpXMPPFedCmStartupError

アラートの説明

このアラートは、XCP XCP Federation Connection Manager サービスの起動に失敗した場合に発生します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

CM ログ ファイルの詳細を確認してください。

Intercompany Media Engine アラート

BannedFromNetwork

このアラートは、ネットワーク管理者がネットワーク (IME 分散キャッシュリング) でこの Cisco IME サーバを禁止して、この Cisco IME サービスを全体的または部分的に操作不能にしたことを示します。ネットワーク管理者がサーバを禁止することはまれですが、ネットワークへの悪質な攻撃にサーバが使用されていることが検出された場合は禁止します。エラー中にこのアラートを受け取った場合は、すぐに TAC に問い合わせてください。

デフォルト設定

表 216: *BannedFromNetwork* アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-------------|---------|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | アラート |

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 Cisco IME サービスがネットワークから禁止された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

IMEDistributedCacheCertificateExpiring

このアラートは、IME分散キャッシュで使用される証明書が期限切れになるまでの残りの日数を示します。証明書は期限切れになる前に置き換える必要があります。

デフォルト設定

表 217: IMEDistributedCacheCertificateExpiring アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ（重大度） | 警告 |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 Cisco IME の分散キャッシュ証明書の期限切れが迫っている。14 日間。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | 1440 分以内に最大 1 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|---------|
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

IMEDistributedCacheFailure

このカウンタは、IME分散キャッシュの健全性を示します。値ゼロ（赤色）は、IME分散キャッシュに次のような重大な問題が発生していることを示します。

- ネットワークが分割された後で、Cisco IME が問題を解決できない。この場合、検証に失敗する場合があります。
- Cisco IME サービスがネットワークにまったく接続されておらず、ブートストラップサーバに到達できない。

値1（黄色）は、Cisco IME ネットワークで軽微な問題が発生していることを示します。たとえば、ブートストラップサーバ間の接続の問題やCisco IME ネットワークのその他の問題などです。このカウンタが1になった原因を示す可能性のあるすべてのアラームを調べてください。値2は、IME分散キャッシュが正常に動作し、システムは健全であると見なされることを示します。

デフォルト設定

表 218: IMEDistributedCacheFailure アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ（重大度） | アラート |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 IME 分散キャッシュの異常状態 1：ネットワークで軽微な問題が発生 0：ネットワークに問題が発生 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | 60 分以内にアラートを 1 回トリガーする |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|----------|
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

IMESdLinkOutOfService

このアラートは、Cisco IME サービスと Cisco AMC Service や Cisco CallManager Service などの Cisco IME Config Manager サービスとの通信が切断されたことを示します。

このアラートは通常、（メンテナンスのために意図的に、または接続障害が原因で意図せずに）このいずれかのサービスが停止したことを示します。

デフォルト設定

表 219: IMESdLinkOutOfService アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ（重大度） | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 SDLLinkOOS イベントが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

InvalidCertificate

このアラートは、管理者が Cisco IME サーバで IME 分散キャッシュを有効化したものの、有効な証明書の設定を省略したか、不正な証明書を設定したことを示します。

デフォルト設定

表 220: InvalidCertificate アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | アラート |
| 次のサーバでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 無効な証明書が設定された。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

InvalidCredentials

このアラートは、Unified Communications Manager で設定されたユーザ名とパスワードが Cisco IME サーバで設定されたものと一致しないために、Unified Communications Manager が Cisco IME サーバに接続できないことを示します。

アラートには、Cisco IME サーバへの接続に使用されたユーザ名とパスワードに加え、ターゲット Cisco IME サーバの IP アドレスおよび名前が含まれます。このアラートを解決するには、Cisco IME サーバにログインし、設定されているユーザ名およびパスワードが Unified Communications Manager で設定されているユーザ名およびパスワードと一致することを確認します。

デフォルト設定

表 221: *InvalidCredentials* アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | エラー |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 無効または不一致のクレデンシャル。 |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

MessageOfTheDay

Cisco IME ネットワークの管理者がユーザ宛のメッセージを保有している場合、Cisco IME サービスによりこのアラートが生成されます。

デフォルト設定

表 222: *MessageOfTheDay* アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---------------|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | 注記 |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|--|
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 ネットワーク管理者からのメッセージ |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | 1440 分以内に最大 1 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SWUpdateRequired

Cisco IME サーバは、Cisco IME サーバソフトウェアの新規バージョンが必要な場合、このアラートを生成します。このアラートはアップグレードを実行するまで繰り返されます。ソフトウェアアップデートに関するより多くの情報を取得するには、シスコの Web サイトに移動します。重要なアップデートはこのアラートを受信してから数日中にインストールする必要があります。

これらのアップグレードはセキュリティ脆弱性が主な機能上の停止に対応します。場合によっては、重大なアップグレードをすぐに適用されない場合、Cisco IME サーバがネットワークに接続できなくなる可能性があります。

デフォルト設定

表 223: SWUpdateRequired アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | 警告 |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 ソフトウェアアップグレードが必要になった |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|---------------------------|
| 頻度 | 60 分以内に最大 1 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

TicketPasswordChanged

Cisco IME サーバは、管理者が検証チケットの生成に使用されるパスワードを変更する場合、このアラートを生成します。

権限のある管理者がパスワードを変更したことを確認します。不正な変更は、Cisco IME サービスの管理インターフェイスのセキュリティが破られていることを示す場合があります。不正な変更が行われたと判断した場合は、それ以上の不正アクセスを防止するために、Cisco IME サーバの管理パスワードをただちに変更します。管理者パスワードを変更するには、Cisco IME サーバ CLI で `set password admin` を入力します。

デフォルト設定

表 224: TicketPasswordChanged アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | 注記 |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 チケットパスワードが変更された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | Trigger on every poll |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|---------|
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

ValidationsPendingExceeded

このアラートは、Cisco IME サーバ上の保留中の検証の数を示します。この数は、Cisco IME サーバ上の作業のバックログのインジケータを提供します。

デフォルト設定

表 225: *ValidationsPendingExceeded* アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-----------------------|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| 次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化 | 一覧表示されたサーバで有効 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 Cisco IME の保留中の検証が 100 を超えた |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | 60 分以内に最大 1 回のアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

Cisco Unity Connection のアラート

NoConnectionToPeer

(Cisco Unity Connection クラスタ構成のみ) このアラートは、Cisco Unity Connection クラスタサーバが相互に通信できない場合（たとえば、ネットワーク接続が失われた場合）に生成されます。

デフォルト設定

表 226: NoConnectionToPeer RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|--|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| Enable/Disable this alert on following server(s) | Enabled |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 NoConnectionToPeer イベントが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

AutoFailoverSucceeded

(Cisco Unity Connection クラスタ設定) : このアラートは次の条件で生成されます。

- (プライマリステータスのサーバで重大な障害が発生した場合などに) セカンダリステータスのサーバが、ステータスを自動的にプライマリに変更した場合に、ボイスメッセージング機能とクラスタのデータベースを処理する責任を負う場合。このアラートは、次のイベントが発生したことを通知します。

- 最初にプライマリ ステータスだったサーバで重大な障害が発生した。
- 最初にセカンダリ ステータスだったサーバのステータスがプライマリになり、すべてのコールを正常に処理している。
- 機能を停止していたサーバ（前述）がオンラインに復帰し、両方のサーバがボイス メッセージング機能と複製の処理の責任を共有するように、サーバのステータスが自動的に変更された場合。

デフォルト設定

表 227: AutoFailoverSucceeded RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|--|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ（重大度） | 情報 |
| Enable/Disable this alert on following server(s) | Enabled |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 AutoFailoverSucceeded イベントが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

AutoFailoverFailed

（Cisco Unity Connection クラスタ設定）：このアラートは次の条件で生成されます。

- （プライマリ ステータスのサーバで重大な障害が発生した場合などに）セカンダリ ステータスのサーバがステータスを自動的にプライマリに変更しようとしたが、サーバステータスの自動変更が失敗して、セカンダリ ステータスのサーバがセカンダリ ステータスを保持している場合。
- 機能を停止した（たとえば重大な障害が発生した）サーバがオンラインに復帰しない場合。クラスタ内で 1 台のサーバだけが機能しています。

デフォルト設定

表 228: AutoFailoverFailed RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|--|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | エラー |
| Enable/Disable this alert on following server(s) | Enabled |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 AutoFailoverFailed イベントが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

AutoFailbackSucceeded

(Cisco Unity Connection クラスタ設定) このアラートは、プライマリ ステータスのサーバの機能停止の原因となった問題（これにより、セカンダリ ステータスのサーバのステータスがプライマリに変更された）が解決され、両方のサーバが再度オンラインになった場合に生成されます。次に、機能を停止していたサーバがプライマリ ステータスになり、もう一方のサーバがセカンダリ ステータスになるように、両方のサーバは自動的にステータスを変更します。

デフォルト設定

表 229: AutoFailbackSucceeded RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|-------------|---------|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | 情報 |

| 値 | デフォルト設定 |
|--|---|
| Enable/Disable this alert on following server(s) | Enabled |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 AutoFailbackSucceeded イベントが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

AutoFailbackFailed

(Cisco Unity Connection クラスタ設定) : このアラートは、パブリッシャ ノードがオンラインでなく、プライマリ ステータスのサーバが状態を自動的に変更できなかった場合に発生します。

デフォルト設定

表 230: AutoFailbackFailed RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|--|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | エラー |
| Enable/Disable this alert on following server(s) | Enabled |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 AutoFailbackFailed イベントが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|---------|
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

SbrFailed

Cisco Unity Connection クラスタが設定されているとき、2 台のサーバが相互に通信できない場合、両方とも同時にプライマリ ステータス（「スプリット ブレイン」状態）になり、ボイスメッセージング機能処理し、メッセージを各自のメッセージストアに保存しますが、複製は実行しません。ユーザは、メッセージを取得できますが、これらのメッセージが取得されたことを認識するのは 1 台のサーバだけです。

サーバの両方が相互に通信できる時、各ユーザメールボックスの正しい内容と状態を決定することによってこのスプリット ブレイン状態が解決されます。

- 受信した新しいメッセージかどうか。
- 新しいメッセージの MWI がすでに送信済みかどうか。
- どのメッセージを再生したか。
- どのメッセージが削除されたか。

スプリット ブレイン状態の解決に失敗した場合、このアラートが発生します。

デフォルト設定

表 231: SbrFailed RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|------------|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ（重大度） | 情報 |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 SbrFailed イベントが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|---------|
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

DiskConsumptionCloseToCapacityThreshold

このアラートは、Cisco Unity Connection サーバ上のハードディスク使用量が Cisco Unity Connection Administration の [システム設定 (System Settings)] > [詳細設定 (Advanced)] > [ディスク容量 (Disk Capacity)] ウィンドウで指定したパーセンテージまであと 10 パーセントのところまで到達すると生成されます。たとえば、容量のしきい値の制限が 95% の場合、使用率が 85% になると、アラートがトリガーされます。

デフォルト設定

表 232: DiskConsumptionCloseToCapacityThreshold RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|--|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | エラー |
| Enable/Disable this alert on following server(s) | Enabled |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 DiskConsumptionCloseToCapacityThreshold イベントが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

DiskConsumptionExceedsCapacityThreshold

このアラートは、Cisco Unity Connection サーバ上のハードディスク使用量が Cisco Unity Connection Administration の [システム設定 (System Settings)] > [詳細設定 (Advanced)] >

[ディスク容量 (Disk Capacity)] ウィンドウで指定したパーセンテージの制限に到達するか、または超えた場合に生成されます。

デフォルト設定

表 233: *DiskConsumptionExceedsCapacityThreshold* RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|--|---|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | エラー |
| Enable/Disable this alert on following server(s) | Enabled |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 DiskConsumptionExceedsCapacityThreshold イベントが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

LicenseExpirationWarning

Cisco Unity Connection は、ユーザやポートなど、複数の機能のライセンスを提供します。システムは、これらのライセンスを適用します。お客様が期間限定ライセンスを使用して特定機能を試用する場合、このライセンスには有効期限が設定されます。ライセンスの有効期限が来る前に、システムによりメッセージが送信されて、このアラートが発生します。ログには、ライセンスの有効期限までの日数が表示されます。

デフォルト設定

表 234: *LicenseExpirationWarning* RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|----------|---------|
| アラートの有効化 | オン |

| 値 | デフォルト設定 |
|--|--|
| シビラティ (重大度) | クリティカル |
| Enable/Disable this alert on following server(s) | Enabled |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 LicenseExpirationWarning イベントが生成された |
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

LicenseExpired

Cisco Unity Connection は、ユーザやポートなど、複数の機能のライセンスを提供します。システムは、これらのライセンスを適用します。お客様が期間限定ライセンスを使用して特定機能を試用する場合、このライセンスには有効期限が設定されます。ライセンスの期限が来ると、ライセンスが無効になり、このアラートが発生します。

デフォルト設定

表 235: LicenseExpired RTMT アラートのデフォルト設定

| 値 | デフォルト設定 |
|--|--|
| アラートの有効化 | オン |
| シビラティ (重大度) | 情報 |
| Enable/Disable this alert on following server(s) | Enabled |
| しきい値 | 次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 LicenseExpired イベントが生成された |

| 値 | デフォルト設定 |
|---------------|---------------------|
| 期間 | すぐにアラートをトリガーする |
| 頻度 | ポーリングごとにアラートをトリガーする |
| スケジュール | 毎日 24 時間 |
| 電子メールの有効化 | オン |
| トリガーアラートアクション | デフォルト |

システム エラー メッセージ

システム エラー メッセージ

システムエラーメッセージの完全なリストについては、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-system-message-guides-list.html> にある「Cisco Unified Communications Manager システムエラーメッセージ」を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。